

Kyū-Ryō

宮陵

NO.68



一般社団法人神奈川大学宮陵会

CONTENTS

- 01 会長あいさつ 一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 大場憲治
- 02 理事長あいさつ 学校法人神奈川大学 理事長 牧内良平
- 03 学長あいさつ 神奈川大学 学長 兼子良夫
- 04 横浜キャンパス30号館（宮陵会館）竣工
- 07 活躍する卒業生 Part 1●活躍するOB・OG
Part 2●行ってみよう! OB・OGの繁盛店
- 18 神大3世代
- 19 ブロック会紹介（東北ブロック会議）
- 20 地域組織活動報告
- 23 神大の歴史
- 24 課外活動ニュース
- 26 神大ロケット最高記録更新
- 28 宮陵会だより
- 32 「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」 寄付者ご芳名
- 36 地域組織だより
- 60 数字で見る神奈川大学の今
- 62 地域組織一覧

Advertising

- 06 ●神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター
 - 51 ●ベスト資材株式会社
 - 52 ●横浜信用金庫
 - 53 ●株式会社カレンズ
 - 54 ●末廣園
 - 55 ●株式会社千代田
 - 56 ●株式会社ディーエムエス
 - 59 ●株式会社KUパートナーズ
 - 65 ●不二サッシ株式会社
 - 65 ●SKY総合法律事務所
- 裏表紙 ●宇久田進治税理士事務所
株式会社経営センターグロー
裏表紙 ●神奈川大学生協同組合

■ 表紙写真 ■

「宮陵会館」竣工！

念願の「宮陵会館」（横浜キャンパス30号館）がこのたび竣工、本年4月から使用開始されました。地下1階・地上3階、延床面積：660.51㎡の建物は、傾斜地の特性を活かした異なるレベルからのアプローチや、丘を巡り歩くようなスキップフロア構造が特徴。宮陵会事務室、展示や談話など多目的に利用可能なラウンジ、会議室などが設けられています。

卒業生や学生を主に神奈川大学に関わる様々な方の交流・憩いの場となる宮陵会館。活発な交わりや広がる輪のセンターステージとなることが期待されます。[吉原]《4ページに関連記事》

横浜専門学校校歌

作詞 土井 晩翠
作曲 岡野 貞一

一、近代日本の文化の曙光
初めてまばゆく照し、港
港に基おく我等の母校
栄えよ横浜専門学校

二、基は新たな昭和の御代に
四海の思潮の寄せる時に
経世実用めあてとなして
栄えよ横浜専門学校

三、狂と暗とは暫しの悩み
正義は世界の力の本と
信じて勉むる健児のやどり
栄えよ横浜専門学校

四、祖国の誉れと世界の平和
目指して日に日に希望にみちて
向上無窮の使命に進む
栄えよ横浜専門学校

神奈川大学校歌

作詞 神保光太郎
作曲 高田 三朗



一、岩をうち とどろに返す
真白なる 波のゆくえよ
あけそめし 日本の未来
湧きおこる あかつきの歌
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学

二、空あおく 涯てなくあおく
船は航く 遠きわたつみ
ひとすじの 真理の潮路
相寄りて今日も究めん
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学

三、丘に立ち 祖国を想う
混沌の 雲のゆきかい
日に烈し ほのほの決意
あたらしき 歴史の朝よ
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学

会長あいさつ

一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 大場憲治

会長あいさつ



会員の皆様こんにちは、お元気で活躍の事と思います。今年も、多くの卒業生を社会へと送り出し、その卒業生は新たな宮陵会の会員として迎え入れる事に成ります。卒業された皆様には、社会での益々のご活躍と必要とされる人間に成長される事を期待するところです。また多くの新入生も同時に入学されて準会員として迎え入れる事に成ります。新入生の皆様に

は心からお祝いを申し上げると共に、意義ある学生生活を送られる事を願います。新たな会員を迎え、宮陵会も22万人を超える全国でも有数な大きな同窓会組織でございます。是非多くの卒業生におかれましては宮陵会活動に参加して頂いて、神奈川大学の発展に、宮陵会活動にご協力・ご支援をお願い申し上げます。昨年は西日本豪雨被害をはじめ、相次ぐ大型台風

の上陸被害や大阪北部地震、北海道地震など未曾有の災害が発生しました。被害に遭われた多くの会員皆様方に心から謹んでお見舞いを申し上げます。宮陵会は、幾多の困難な時期があつたにも係わらず歴代の会長はじめ、役員皆様方の公私にわたるご協力と会員皆様のご理解・ご協力によって昨年に設立80周年を迎える事が出来ました。1年遅れましたが多くの来賓の皆様方のご臨席を賜り、盛大に宮陵会設立80周年式典・祝賀会を開催する事が出来ました。厚く御礼を申し上げます。今年も、大きな節目の時代を迎える年と成ります。天皇陛下は4月30日をもって退位され、新たに5月1日に皇太子さまが126代目の天皇に即位されます。年号も『平成』から新たな年号へと変わります。宮陵会館については大変ご心配をお掛け致しましたが、3月28日に竣工・落成式を行う運びと成りました。4月から新たな『宮陵会館』に移り、新事務所からスタートする年と成ります。多くの会員皆様を含めた憩いの場と成る様に努めて参りたいと思います。どうぞ多くのご利用をお待ちしております。大学もご承知の通り、新キャンパスの建設が2018年(平成30年)7月30日

に地鎮祭・起工式が行われ工事がスタートしました。みなとみらい21街区のご真ん中に、高さが100メートル21階建、面積が5万平米のキャンパスに5千人の学生が勉学に励む事に成ります。新キャンパス開設に向けて様々な取り組みを進めており、2021年4月の完成を目指して、日本の文化と歴史をしっかりと理解して多様な交流と人類の共生を図り、人間的な魅力あふれるグローバルな人材育成を目指す国際日本学部の設置を構想しております。また横浜キャンパス、中山キャンパスについても、スポーツ施設の整備も含めて図書館も大改修するなど、みなとみらいキャンパスに約400億円、施設の整備改修に170億円かかる聞いております。100周年に向けて様々な計画に600億円の巨額をつぎ込んで進めているわけであり、宮陵会として出来る限りの応援をして参りたいと考えております。どうぞ全国の多くの宮陵会員の皆様に温かいご支援をお願い申し上げます。今年度は新たな代議員(184名)が選出されスタート致しました。本年度の定時総会は6月8日(土)に開催されますが、今年度は役員の変更の年でありまして、選挙で20名

の理事と3名の監事の選出が行われ、新たな役員を中心に宮陵会も新たな年のスタートと成ります。宮陵会地域組織についても町田宮陵会と川崎市宮陵会が再建されました。また多くの活躍している課外活動団体の中でも、特に神奈川大学吹奏楽部は「第66回全日本吹奏楽コンクール大学の部」において、日本一の最多受賞となる通算30回目の金賞を受賞されました。この活躍は、1978年に初の金賞を受賞以来、40年間に渡り携わってきた卒業生や現部員の精進はもとより、ご指導をされている大学関係者、部長・監督・コーチングスタッフ皆さんのご指導の賜物だと感謝申し上げます。吹奏楽部の皆様には益々のご活躍をお祈り申し上げます。また先程申し上げた宮陵会館となる30号館が竣工されることにあわせて、本会の活動をより分かりやすく広く広報していくための本会のロゴマークを準備し進めて行く事にしました。本年度も会員皆様の日頃からのご協力に感謝申し上げます。宮陵会発展のために、更なるご支援をお願い申し上げます。皆様方のご健勝と新たな時代に向けてのご活躍をご祈念申し上げます。

の理事と3名の監事の選出が行われ、新たな役員を中心に宮陵会も新たな年のスタートと成ります。宮陵会地域組織についても町田宮陵会と川崎市宮陵会が再建されました。また多くの活躍している課外活動団体の中でも、特に神奈川大学吹奏楽部は「第66回全日本吹奏楽コンクール大学の部」において、日本一の最多受賞となる通算30回目の金賞を受賞されました。この活躍は、1978年に初の金賞を受賞以来、40年間に渡り携わってきた卒業生や現部員の精進はもとより、ご指導をされている大学関係者、部長・監督・コーチングスタッフ皆さんのご指導の賜物だと感謝申し上げます。吹奏楽部の皆様には益々のご活躍をお祈り申し上げます。また先程申し上げた宮陵会館となる30号館が竣工されることにあわせて、本会の活動をより分かりやすく広く広報していくための本会のロゴマークを準備し進めて行く事にしました。本年度も会員皆様の日頃からのご協力に感謝申し上げます。宮陵会発展のために、更なるご支援をお願い申し上げます。皆様方のご健勝と新たな時代に向けてのご活躍をご祈念申し上げます。

理事長あいさつ

学校法人神奈川大学 理事長 牧内良平

ご挨拶



宮陵会の皆様には、大学経営、運営に格別なご協力を賜わり、心から感謝申し上げます。奨学金への寄付をはじめ、ホームカミングデー、駅伝チームの壮行会・報告会でのご協力など、数々の貢献をされており、この場を借りて衷心より御礼致します。

私は、理事長に就任して1年半になりますが、この間、全国の幾つかの宮陵会ブロック会議に出席させていただきました。北海道（北見）を皮切りに、神奈川（横浜）、九州

（福岡）、中国（松江）、と続き、多くの卒業生の皆様と交歓し、母校への熱き想いに感じ入りました。そして、皆様、共通の思いは、みなとみらいキャンパスと、陸上競技部の活躍への期待でした。

それと各地域組織から異口同音に出た話は、会員が減少し、高齢化が進んでいることへの危惧で、会員を増やす方法を模索しているのが実情でした。その中で、北見宮陵会に藤

沢の出身で北見に憧れて教職に就いた本学卒業生がいて、指導的立場で活躍しているのと、福岡宮陵会に本学陸上競技部出身の教師がいて、いずれも若い会員だったことが救いでした。

母校への熱き想いは、一昨年11月、米田吉盛先生の出身地・愛媛の内子町を訪問、地元の宮陵会会員と交流した時感じたことで、昨年の本誌で書いた通りです。

さて、本学の近況報告ですが、まずは皆様お待ちかねの宮陵会館についてです。本誌が発行される頃には竣工式（3月28日）を終えていると思いますが、東門のプロムナード沿いに、しゃれた建物が完成しました。地下1階、地上3階建て、820㎡の会館には、宮陵会事務所、役員室、会議室、多目的実習室、ベビールームなどがあり、卒業生の交流、憩いの場として大いに活用して頂きたいと思えます。

大学運営に当たっては、新年の仕事始めで教職員にこんな話をしました。今年、昨年の創立90周年を終え、次の100周年、さらには20年、30年先を見据えた「未来創造スタート年」と位置づけ、本学の益々の発展のために取り組むことを呼びかけました。昨年策定した「将来構想実行計画（2018～2028年）」「中長期財政計画（同）」の着実な実

行であり、具体的には、みなとみらいキャンパス計画、横浜・中山両キャンパスを含めたキャンパス新総合計画の推進を図っていくことです。

みなとみらいキャンパスについては、建設工事が進んでおり、年内には21階までの鉄骨が組み上がり、来年10月末には完成予定です。問題は、使う立場から建物内部をどのようなものにするか。実施設計を基本としながらも、早急に結論を出さねばなりません。

例えば、ソーシャルコモンズをコンセプトとする1～3階の低層部。1階の250席のワールドビュッフエ、各種ラウンジ、ファブラボ、展示スペースなどをどのような内容にするのか。ブックカフェから2、3階へと連なる図書施設をどんなものにするのか。さらにはワールドビュッフエだけでなく、7階、21階の飲食施設についてもどのような中身にするのか。1階は外にも開かれたレストランに相応しいものにしなければならぬ。7階は学食専門に。21階は展望の良さを生かしたトップラウンジとして、パーティにも利用できるようにしなければならぬ。どんな業者がそれらに相応しいのか。決めることは、結構あります。

次に、キャンパス新総合計画についてですが、優先的に取り組むこととしたのが図書館の全面改修工事

と、中山キャンパスの総合グラウンド（400mトラック）の改修です。図書館は4月には設計に入り、21年3月には工事を終える予定で、グラウンドの工事は4月から始め、来年3月に完成を予定しています。

最優先で取り組むことにしたのは、図書館は建設から40年経ち、老朽化が激しいのと、トラック改修は、陸上競技部には箱根駅伝で毎年、上位に名を連ね、本学の広告塔の役目を担ってほしいとの願いを込めています。また、2021年に湘南ひらつかキャンパスから横浜に来る女子サッカー部のために、グラウンドに人工芝を貼る工事も行います。

以上、ワンポイントのみお伝えしましたが、取り組むべき課題は山積んでいます。それらに果敢に挑戦していく所存です。年頭所感で、「本学は、みなとみらいキャンパス計画を公表して以来、入学志願者がうなぎ上りに増えており、フォロワーの風が激減していく現実をアゲンストの風ととらえて危機意識を忘れずに、我々の努力でフォロワーの風をさらに強い風にしていこう」。そう訴えま

宮陵会の皆様にもそうした状況をご理解のうえ、今後ともご協力賜るようお願いし、併せて皆様のご健勝を祈念して挨拶とします。

学長あいさつ

神奈川大学 学長 兼子良夫

ご挨拶



の応援をいただきました。特に東神奈川から横浜駅東口にかけての沿道は神大一色となり、神大の応援ここにありとの堂々たる力を全国に知らしめることができました。また、チアリーディング部と管弦楽団による大手町と芦ノ湖畔での応援については、他大学の応援をも凌駕する素晴らしい出来映えであるとして、多くの関係者から毎年高い評価をいただいております。

宮陵会の皆様には、奨学金をはじめとして、本学のさまざまな運営について、日頃より格別なご高配をいただいております。神奈川大学の教職員を代表して、心より感謝申し上げますとともに、宮陵会のますますのご発展を心よりお祈り申しあげます。

今年も年頭より箱根駅伝において、早朝の寒いなか、沿道において神大の幟を持っていただくなどさまざまな形で宮陵会の皆さまに心から

本年3月末には、卒業生の皆様の憩いの場所ともなる「宮陵会館」が六角橋のキャンパスに竣工いたしました。ベビールームなども併設してありますので、本学に戻られたときには、是非ご利用ください。

さて、神奈川大学は、2028年の創立100周年とその後の永続的な発展を見据えて、研究と教育の優位性を未来に向けて生かし、世界を引き付けて未来社会を先導するため、教育組織の改革をはじめとしてさまざまな努力を継続してまいります。

2021年4月に開設予定の「みなとみらいキャンパス」には、グローバルな人材育成をけん引する新学部として国際日本学部（設置届出予定）、外国語学部、経営学部（国際経営学部へ名称変更構想中）を集約し、現在のキャンパスとともに、「横浜の神奈川大学」に本学の発展を託しています。みなとみらい21地区と本学が結びつくことで、オープンイノベーションセンター、観光ラウンジなど、産官学・地域連携をはじめ、多くの文化的・学術的な相乗効果を生み出すことができます。そして、「日本と日本の伝統文化に内在する価値観などを世界に発信する」とともに、「日本から世界に通

用する倫理と共生のための新しい論理をも発信する」ことができると考えています。本学の「みなとみらいキャンパス」を拠点に、日本と世界の多様な学生と多世代の市民が交流する、そんな「国際・日本」が融合した未来「創造・交流」キャンパスとなることを思い描いており、「教育は人を造るにあり」という教育理念のもと、神奈川大学は総合大学・学術機関として、国際都市・YOKOHAMAとともに発展し、多文化理解を通して、広く社会に、そして世界に貢献していきたいと考えています。

今後、大学の存在意義は、いかに時代を先導する力を示すか、いかに人類の未来に貢献できるかに懸かっています。革新的技術の普及・発展に基づく「創造社会」であるソサエティ5.0をはじめとした新しい未来社会を先導する力を示さねばなりません。また、人類共通の課題を考慮した国連のいう持続可能な社会「SDGs」への取組みと、環境と人権そして企業統治に対するESG評価への対応も必須かつ肝要なことと考えております。

近年、大学は、第三者機関による世界標準に基づく評価もされるようになりました。本学は、英国の高等

教育情報誌タイムズ・ハイアー・エデュケーションによる世界大学ランキングで、高い研究力などにより世界の上位5%内の大学に位置付けられています。研究能力をさらに高める努力を継続するとともに、従来の枠組みを超えた文理の融合や産官学の多様な連携を進め、未来社会を先導する新機軸の研究を全面的にバックアップしていきたいと思えます。また、その新しい研究で得た英知をしっかりと教育に反映していきたいです。

加えて、本学が伝統的に重視してきた教養教育により、思考力、判断能力、検索情報を精査するリテラシー能力などの社会人としての基礎力を培い、変容する資本主義社会をしながらに生き抜く実践的能力と国際的感性を身につけた、寛容な心で共生をはかることができる「良識ある市民」を育成し、人類の福祉と未来社会の安定に寄与してまいります。今後の本学の動向にご期待ください。

最後になりますが、本学の希望ある未来の実現に向けて教職員一同全力を尽くす所存ですので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。私のご挨拶といたします。

横浜キャンパス30号館（宮陵会館）竣工！

2019（平成31）年3月28日（木）、大安、関係者が待ち望んでいた横浜キャンパス30号館（宮陵会館）

が完成し、晴天のもと、竣工式、落成式、並びに内覧会が執り行われました。2018（平成30）年2月28日に起工式（地鎮祭）が行われて以来、393日目の竣工です。

竣工式は、宮陵会館1階において、施主である学校法人神奈川大学から牧内良平理事長、兼子良夫学長をはじめ法人役員、事務局管理職、設計・施工担当企業からは「合同会社ミタリ設計」、並びに「岡山建設株式会社」の関係者の皆様、そして本会からは大場会長、間中、会田、春原の三名の副会長が出席して行われ、厳肅のうちに終了しました。

続いて、会場を本館8階に移し落成式が行われました。落成式には、竣工式参加者のほかに、学校法人神奈川大学理事、監事、教学役職者をはじめ、横浜キャンパスマスタープラン推進チームの先生方や近隣自治会長の皆様、宮陵会の名誉役員や理事、加えて神奈川大学後援会、並びに神奈川大学フロンティアクラブの

役員の皆様も加わり、終始和やかな雰囲気の中で進行了しました。

原田浩行総務部長の司会進行で始まった落成式は、はじめに牧内理事長挨拶、大学から設計・施工会社への感謝状・記念品贈呈、設計・施工会社から大学への竣工記念品の贈呈に引き続き、工事関係者からのご挨拶をいただいた後、兼子学長の乾杯のご発声で懇談に移りました。

皆様のご挨拶をご紹介いたしますと、牧内理事長からは、「神奈川大学では現在、国際留学生寮、宮陵会館、みなとみらいキャンパスなど、まさに建設ラッシュで、特に宮陵会館は過去に何度か検討されながらも実現には至らなかつたと伺っておりますが、将来構想実行計画の重点事業であるキャンパス新総合計画の一環として建設を決定したものです。136の宮陵会地域組織の会合などでご利用いただくほか、これを契機として後援会やフロンティアクラブの活動がさらに活況を呈していただければありがたいと思います。」とのご挨拶があり、ミタリ設計代表社員の松林大輔様からは、「神奈川大学OB3

名で起業した弊社に宮陵会館の設計をご下命いただいたことに対し心より感謝申し上げますとともに、積極的

にOB企業を使っていたたく神奈川大学の姿勢はすばらしいことだと思えますし、2年がかりで母校のご要望をかたちにできたことは感謝と安堵の気持ちでいっぱいです。」とお言葉をいただきました。また、岡山建設代表取締役の工藤進一様からは、「宮陵会館の設計は、近年稀にみる難易度で、図面が複雑で驚くとともに読み解くのに苦労しましたが、この施工を完了したことで、弊社としては逆に自信につながりました。」とお言葉をいただきましたことから、斬新なデザインの宮陵会館が多くの関係者のご苦労・ご努力により完成に至ったことが分かった次第です。

また、懇談のなかで本会の大場会長から「大学の将来構想に係る多くの案件のなかで、宮陵会館建設を優先していただいたことに感謝申し上げますとともに、近隣町内会の皆様のご理解のもと、工事関係者のご努力により工事が期限通りに無事故で完了したことに非常に喜んでおります。

今後は、大学のご指導をいただきながら、関係者にとって使い勝手の良い宮陵会館をめざし大切に使用して参りたいと思います。」との謝辞が述べられた。

式の最後には、大学の小林孝吉常務理事から、「大学・宮陵会双方にとって念願の宮陵会館が完成したことは大きな喜びであるとともに、かつて“みやもが丘”と呼ばれた東門ブルームナードの入り口付近に位置する既存の16号館とマッチした建物となっており、関係者の交流の拠点としてご利用いただければありがたいと思います。」とのご挨拶をいただき、閉式となりました。

落成式終了後には、工事関係者のご案内による内覧会が用意され、本日の出席者のほか近隣住民の皆様にも新築なった会館内部をご覧いただいたことで、すべての行事が滞りなく終了することができました。

末筆ながら、これから宮陵会館が卒業生や学生をはじめ神奈川大学に関わる様々な方の交流の場となりますよう祈念いたします。

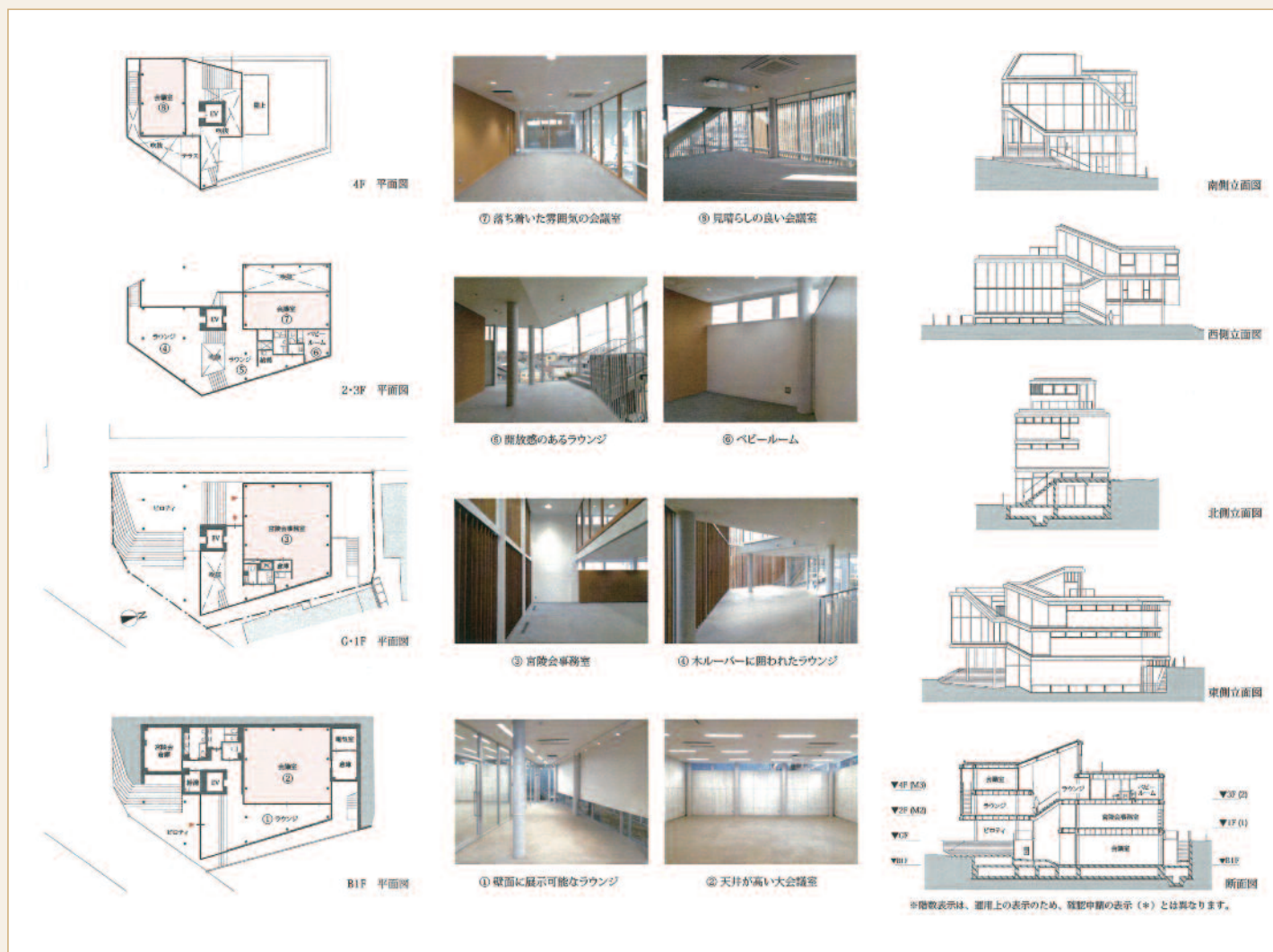
（文責：佐藤武）

宮陵会館の土曜日開館について

2019（平成31）年4月から使用が開始される宮陵会館（大学の施設管理上は30号館）は、卒業生が来校した際に気軽に立ち寄れる場所、卒業生と在学生との交流を促すための開放的な空間として設計されていますので、大学の授業日でもある土曜日（10時～16時）にも宮陵会館を開放し、来校時や各組織の総会などで卒業生の皆様にご利用いただくことができます。また、ご来館いただいた際には、宮陵会関係者が対応させていただきますが、土曜日開館のカレンダーは諸事情により変更する場合がありますので、ご留意願います。

なお、詳しい宮陵会館のご利用方法や土曜開館の変更等につきましては、別途、宮陵会本部のHPでお知らせいたしますので、ご利用の際には必ず事前にご確認願います。

（文責：佐藤武）



学べる講座も学ぶ理由も 100以上



神奈川大学の
生涯学習講座

みなとみらい駅直結！
雨に濡れない好アクセス。

受講生募集中

| ビジネス・経営・社会・経済 | 資格取得 |
| 文化・教養 | PC・語学・ライフスタイル |

神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター
横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワー A14F | TEL.045-682-5553

有限会社 ホテルテトラ 代表取締役 三浦 孝司さん

Koji Miura

●経歴

- 昭和33年4月 北海道函館市生まれ
- 昭和56年3月 法学部法律学科卒業
- 昭和56年4月 東京海上火災入社
- 昭和61年2月 (有)ホテルテトラ代表取締役就任

●現在

ホテル・温泉旅館等、北海道から九州まで25店舗を経営

●会社紹介

父が脱サラで、昭和56年3月にホテルをオープンしました。開業して5年後に創業者の父が急死し、昭和61年に事業を引き継ぎました。当初は赤字会社でしたので資金繰りも大変で、しかもスタート直後にスタッフの女性が8人中5人も辞めてしまい、苦難のスタートでした。

●モットー

「人生2度無し」がモットーです。悔いの無いよう他人より働き、勉強し、頭を使い、大いに働く事を信条と



しています。

●特に記憶に残っている仕事

父から受け継いだ時は6千万円の赤字会社。廃業も考えましたが、2億円の借金をして新しいホテルを建て、新たなスタートを切って立て直しを図りました。

その後函館から札幌、東京へとホテルを進出させました。函館からスタートし、中央での勝負です。経営するホテルが中心都市へ出て行くと、自身自身のステージが上がったと実感し、周囲の見る目も変わって信頼を得たように思いました。

その後事業は軌道に乗り、年商5億円から10億円へと伸びて、今では30億円を達成するまでになりました。札幌、東京進出が明らかにターニングポイントです。

●組織を運営するうえでのポイント

企業は黒字にしないとだめです。毎日戦いです。経営の安定には、特に社員教育に力を入れています。おもてなしの心やサービス精神を持ってお客様に接し、喜んで頂いてリピーター客を増やす事を大切にしています。会社の発展は、社員の成長、経済的な幸せにつながるだけでなく、地域の発展にも貢献します。この方針を幹部、社員隔々まで伝え、会社運営のポイントに

しています。ホテル業は、短期的に儲かる商売ではありません。人に喜んで頂く事をやりがいと感じる心を持った集団を目指しています。

●現役学生へのアドバイス

大学時代は、仲間、先輩から様々な事を学んで欲しい。高校時代とは違い、浪人生もいるので様々な経験をした幅広い年代の仲間に触れ合う事ができ、刺激となり、影響を受ける。それが自分自身の成長につながり、かけがえないものになるのです。

大学時代は、社会人になる前の準備期間です。社会へ出てからが勝負です。卒業してからも一生勉強しなければなりません。学生時代には、自分自身で考える方法、対応力の基礎を身につけて欲しいと思います。先輩としては、神大生大歓迎。ぜひ当社の入社試験に積極的に挑戦して欲しいと思います。

●大学時代の思い出

都会で勉強し、様々な経験をしたいとの思いで神大に入学しました。長崎海星高校野球部でピッチャーをやっていたので、自然に硬式野球部へ入部しました。

当時の野球部には二部の学生ばかりで、昼間の授業に出る部員がおらず授業に全く出られません。頭を切り替え一年で退部し、勉強に重点を置きました。二年から授業へ出席。教職課程を取って加藤ゼミにも入り、会社法を学びました。ゼミでは知識豊富な先生とそれに答える優秀な先輩のやりとりで刺激を受け、自ら勉強するようになりました。大学にはこんなに素晴

らしい人達がいるのかと、感動した思い出があります。

ゼミの存在は有意義で大きなものでした。尊敬できる教授に指導を受け、優秀な先輩、仲間に出会えて勉強できる場です。神大には、求めれば学生の勉強意欲に応える環境と土壌があります。神大に入学して幸運だったと思います。

●大学に期待する事

グローバルリズムが加速化するなか、就職、実社会で、他大学の学生だけでなく外国人と競争し、戦っていく時代が既に来ています。授業、課外活動、その他あらゆる手段を使って、たくましく競争力があり、柔軟性も兼ね備えた社会に通用する人材をぜひ育てて欲しい。特に私自身が大学時代に感動し刺激を受けた、ゼミの有効活用を切に望みます。



取材をしたのは、三浦社長が経営する鶴見駅のほど近くのホテルでした。

ホテルスタッフの皆様は、親切丁寧に接してください、あたたかくておもてなしの心を大切にする社風を感じました。社長は、長身でいかにもスポーツマンタイプの明るく元気でエネルギーが豊富な方でした。楽しそうに学生時代の思い出を話し、熱く経営を語る姿に引込まれ、時間が足りないくらいでした。取材後、銀行担当者と面談、その後羽田空港へ移動し、バンコクへ出発と分刻みの忙しさでした。そんな状況のなか、後輩、同窓のために貴重なお話を頂きました。感謝・感謝です。

(取材・文責/永田)

ターンオン株式会社 代表取締役社長 金野

義勝さん

Yoshikatsu Kinno

経歴

- 昭和19年2月 岩手県大船渡市生まれ
- 昭和45年3月 第Ⅱ部経済学部経済学科卒業
- 昭和45年4月 製薬会社に入社
- 平成14年6月 取締役人事部長で退社
- 平成14年11月 ターンオン株式会社設立（現在 株式会社）

- 平成29年2月 代表取締役社長就任（現任）
- 神奈川県と県商工会議所連合会が共催する「今年度の県優良産業人表彰」を受賞

会社紹介

当社は、コンサート用ペンライトを企画・製造・販売している会社です。会社設立16年目の昨年、販売数150



0万本を突破いたしました。ペンライト関連の特許を5件取得し、ジャンナーズやエイベックスなどの事務所に所属するビッグアーティストのコンサートで販売し、国内で70%以上のシェアを持つています。コンサート用ペンライトは、当初は「一時的な光もの」として画一化され品質も悪く安易に扱われていましたが、当社では、アーティストごとのデザインやコンサートのテーマに合わせたオリジナルデザイン、さらに、電池で光るLED（発光ダイオード）を使ったきれいで明るく壊れない商品を企画・開発・製造して提供したおかげで、今では、コンサートを盛り上げる重要なアイテムになっていきます。販路は各芸能プロダクションだけでなく、全国有名百貨店、家電量販店、官公庁行政機関等にも広がり、また、最近は大手通販サイトで個人が簡単に購入できるため売上が大きく伸びています。様々なペンライトがありますので、「ターンオンペンライト」で検索して是非ご覧ください。会社の規模は、従業員5名、年商13億円です。

● 起業のきっかけと苦労談

絵やデザインが得意で光物の知識が豊富な長男が、芸能プロダクションの知人からペンライトの相談を受けたの

がきっかけでした。私が人事部長の経験から会社全般の運営等を担当すれば2人で会社ができるのではないかと考え、起業しました。当時の芸能プロダクションには、色々な利権が絡み合っていました。様々な方の協力を仰ぎながら地道に解決して信用を得てきました。そして、平成16年京セラドーム大阪で行われた人気グループ「SMA P」のコンサートで初めてSMA P独自のペンライトを使用しました。コンサート会場の思い出を家に持ち帰ることができた。平成28年末の「SMA P」解散まで全国コンサートツアーで使われ続けました。SMA Pで積み上げた信用が業界で口コミとなって広がり、今では、国内外の多くのアーティストがコンサートに取り入れるようになりました。おかげさまでペンライト業界ではナンバーワンの会社に成長しました。2020年の東京オリンピックで、当社のペンライトが活躍することを今は夢見ています。

● 後輩へのメッセージ

「起業しなさい！ その方が夢がありますよ。安定した生き方は確かに楽ですが面白くありません。人生は一回しかないのですから」と言いたいです。私は、製薬会社で安定した生活を送ってきましたが、上司の言うことを聞いて出世する、という生き方に疑問を感じていました。安定したサラリーマン生活を捨てることに不安はありましたが、「苦しいことや難しいことも、でき

ると思つて全力でやる！」をモットーに生きてきました。また、新しい発想を生むために製薬会社で身につけた「なぜ・なぜ・なぜ」を5回繰り返し、真剣に考える！」を実践しています。

このような生き方や考え方は、仕事だけでなく地元町内会の自治会長を14年間務めながら、新しい発想で防犯・減災・高齢者対策・子供の見守り等の地域活動に役立てています。また、横須賀市の中学校でキャリア教育（例えば、仕事についての講演等）のお手伝いで自分の実体験を話す機会にも生かしています。

● 学生へのアドバイス

今の就職事情は、「売り手市場」ですので大企業に比較的に入社しやすいと思われませんが、あえて中小企業を狙われたらどうでしょうか。中小企業には、ものすごいノウハウを持って伸びている会社があります。せっかく大企業に入っても歯車の一つになってしまう、面白くなくてやめてしまう人が多いと聞いています。それでしたら、初めから規模を追わず、自分の興味のある分野で伸びている会社を、いろいろな機会を捉えて自分から調べ、動いて、聞いて、探し当ててください。確かに仕事は多岐にわたり厳しいかもしれませんが、様々な経験ができますし、充実した生活を送れるのではないかと思います。厳しい環境で成長した人は、仮に起業しても成功する可能性が高いと思います。

（取材・文責／内藤）

中央観光株式会社 取締役会長 細谷 憲一さん

Kenji Hosoya

●経歴

- 昭和22年8月 山梨県富士吉田市生まれ
- 昭和45年3月 法学部卒業
- 昭和53年6月 中央観光株式会社入社
- 昭和61年8月 中央観光株式会社取締役
- 平成4年8月 中央観光株式会社代表取締役社長
- 平成14年8月 中央観光株式会社代表取締役会長
- 平成30年5月 旭日双光章受章
- 現在

中央観光株式会社取締役会長
山梨県法人連合会副会長、富士吉田商工会議所常議員、富士五湖観光連盟副会長、山梨県食品衛生協会会長



●会社紹介

昭和37年織物加工販売業 中央加工株式会社設立、昭和46年中央観光株式会社に社名変更し、現在はホテル部門（ホテル鐘山苑）を筆頭に結婚式場から旅行業、レストランなどグループ会社6社。グループ全体で売上高110億円。ホテル鐘山苑は、観光業界の総合専門紙「旬刊旅行新聞」プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選のトップ10の常連。

創業は、4百年ほど前から続く甲斐絹織という織物の会社で、今も少人数で良好な業績を上げています。昭和53年に画期的な結婚式場を創るぞ、という事で、役員の息子たちが呼び戻されました。どこにもない工夫で、式場は業績を上げ、ホテル業も拡大し、主要な事業となりました。

●モットーとされていることは…

本物に勝るものは無いということですが、他にはないオンリーワンの、模倣や借り物ではない商品を開発し、真心を込めてお客様に提供することを最も大切にしています。そうすると、ホテルに宿泊したお客様、結婚式を挙げたお客様や列席されたお客様には感動

し、満足していただけます。また、感動したことは誰かに話したくなるもので、口コミで広がっていただけます。おかげで、ホテルのランキングもそうですが、結婚式場では、一会場あたり年間150組式があれば良いといわれているところ当社では二会場で550組という実績を上げており、高い評価をいただいています。

●特に記憶に残っている仕事

富士五湖初の温泉発掘に成功したことでしようか。もともと目の前が日本一の富士山であるという立地を生かして建てたホテルなので、絶景が自慢ではありましたが「富士山の周りには湯けむり立たず」といわれるように温泉はありませんでした。そこで、その分野の研究者である友人に相談し、地中深く掘れる石油掘削技術の応用によってみごとに温泉を掘り当てることのできたのです。天然の温泉につかりながら、やはり本物に勝るものは無いとしみじみ感じました。その後は、地域ぐるみで活性化させようと、求めに応じた。そのノウハウを地元で公開しました。

●組織を運営する上でのポイント

人に対しては親身になるということですが、私は、経営は人を育てると考えており、そうでないと会社も成長しないと考えています。また、満足はだめで、常に挑戦することが大切です。そ

のためにも、社員の見聞を広げ、育ていくことを心がけています。

●後輩たちへのメッセージ

アドバイス

採用面接などを見ても、最近の学生はおとなしいという印象を持っています。神奈川県大学の建学の精神でもある質実剛健・積極進取であってほしい。すべては興味から始まるものです。得意なものを見つけ、積極的にチャレンジングして、新たな知識を得たり、新たな道を見つけていってほしいと思います。

●大学時代の思い出

学生時代は法学研究部に所属し、その法学研究部が加盟していた文化部連合会の幹部として会計も担当していました。4年生のころには、学生運動が激しくなり解散となってしまいました。が、ほかの部の幹部との活動は、互いに見聞を広げあい、刺激的でやりがいのある活動でした。もちろん所属の法学研究部では、毎年夏に、鎌倉で弁護士について法律相談を行ったり、模擬裁判など様々な活動を行いました。そのころに社会は法で動いているということを知りましたが、確かにその通りだと、会社を経営し、社外の諸団体の役員を務める今日にあっても思いを深くしております。

(取材・文責／堀江)

株式会社エス・ピー・ワイ 代表取締役 佐々木大輔さん

Daisuke Sasaki

●経歴

- 昭和50年5月 静岡県静岡市生まれ
- 平成10年3月 経営学部国際経営学科卒業
- 平成10年4月 静岡信用金庫入庫
- 平成17年10月 長野興産株式会社入社 管理本部長

執行役員管理本部長
執行役員直営事業本部長

- 平成26年8月 株式会社エス・ピー・ワイ設立

代表取締役就任し
現在に至る

●会社紹介

<http://www.spy-consul.com>

地元静岡の静岡信用金庫に入庫し、27歳で信金中央金庫 総合研究所（現：地域・中小企業研究所）に当時信用金庫最年少でトレーニー出向。そ



の後、取引先であった長野興産に入社し、企業上場の一助となるため、管理本部長、執行役員を経て、平成26年、油そば専門店「味の天徳」をFC加盟店として運営するフード事業と温浴施設運営会社向けに運営サポートを受けもつコンサルティング事業を主軸とする、「株式会社エス・ピー・ワイ」を設立しました。現在は、温浴施設へのヘア

ーサロンの出店や乳製品の卸売販売も手掛け、事業拡大をはかっています。

●学生時代の思い出

ゼミナールです。何よりも恩師である青木宗明先生（現：経営学部教授）との出会いが人生を変えてくれました。もともと、青木先生のファンだった私は、先生が担当する講義のほとんどを履修。ゼミナールに入ってからも朝から晩まで研究室にこもり、先生や友人と勉強についてはもちろん、将来のことなど大いに語り合ったものです。当時から「厳しい」で有名な青木ゼミですが、大きく成長させてくれたゼミでもあります。私が大学に在籍していた頃の湘南ひらつかキャンパスは、まだ「平塚キャンパス」という名称で、校舎も61号館（現1号館）と理学部棟、体育館そして小さい部室棟があるのみでした。私を含む当時の学生たちは、部室棟が研究室くらいしか



たて前店舗で来てくれた先輩たちを祝った神大の店長

居場所がなかったんじゃないかな。（笑）1日大学で過ごすことが当たり前で、教員や学生同士のコミュニケーションが深まりやすく、横のつながりもできていた印象です。

●現在の神奈川大学との関わり

青木先生との関係は今も続いています。ゼミ合宿に毎年参加しています。合宿では、平塚祭のイベントのひとつ「経営学部主催ビジネスプラン・コンテスト」のプレ発表を行うのですが、その際の審査員としての役割を担い、一経営者として後輩にアドバイスをおくりまします。現役の学生たちと触れ合うと、20年前に自分が何を考えていたか、どれ程がむしろに頑張っていたかを思い出し、自分の活力にも繋がります。だからでしょうか、アドバイスにもついつい力が入り、熱血指導をしてしまうこともしばしばです。（笑）もう一つ欠かさず行うことがあります。箱根駅伝の応援です。1月3日は、ゼミの後輩たちと大手町のゴール前で選手を応援することが、毎年のルーティンですね。実は、私が就職活動をしていて平成9年は、神大が箱根駅伝で初優勝をした年でもあります。「神奈川大学」の知名度が駅伝のおかげで全国区になった瞬間でした。超就

職氷河期といわれ、良くも悪くも大学名が内定のひとつの決め手になっていた時代に、箱根駅伝初優勝のドラマは私たちにとっても非常に嬉しい出来事でした。

●卒業生、学生へのメッセージ

「神奈川大学は第一志望ではありませんでした」。こういう方、いらっしゃるのではないですか。神奈川大学大好きな私ですが、実はその一人でもあります。しかし、そこで終わっては勿体ない。自ら学びを求め、人との出会いを求めたからこそ、青木先生をはじめ学生時代の友人たち、現青木ゼミの後輩たちと出会うことができました。今は、「神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス」経営学部出身であることを誇りに感じています。そして、神奈川大学に通ったからこそその自信と経歴が、5年前、私を独立しようと決心させたのです。私の経営者としての成長が、神大の価値向上にも繋がると信じています。卒業生のみならず、学生のみならず共に頑張りましょう。

●卒業生特典（卒業生、在校生、学校関係者の方への特典）



油そばをご注文で、神大スベシャルトッピング（ご関係者向け特別トッピング）を無料でプレゼント致します。

※対象店舗は、分倍河原店、横浜三ツ境店、静岡常磐町店の3店舗のみ（本部直営ならびに他FC企業運営店舗は対象外）

（取材・文責／林）

白竜湖グループ 代表取締役 川口 伸二さん

Shinji Kawaguchi

●経歴

- 昭和34年7月 広島県三原市生まれ
- 昭和57年3月 経済学部貿易学科卒業
- 昭和57年4月 東京海上火災保険(株)入社、営業でトップになり社長賞を受賞
- 平成2年8月 (株)白竜湖代表取締役社長就任(現任)
- 平成8年7月 (株)プレスネット代表取締役社長就任(現任)
- 平成20年5月 白竜湖リゾート(株)代表取締役社長就任(現任) その他(有)蔵・(有)川口商事代表取締役社長、(株)FM東広島代表取締役副社長を兼務



●会社紹介

当社グループは、JR山陽本線西条駅(東広島市)から徒歩7分の「ホテルヴァン・コネル」とそのホテルの3階で「憩いの料亭 白竜湖」を営業し、さらに市内で江戸時代末期の建物を改装した「和菜亭 次郎丸」、三原市の白竜湖畔でミシュランガイドに載っている「白竜湖リゾート」の営業を行っています。また、日本タウン誌・フリーペーパー大賞を3年連続で受賞しているフリーペーパー「ザ・ウイークリー プレスネット」を毎週6万部発行しています。年商11億円のグループです。

●一生懸命頑張れば人は成功する!

大学卒業後しばらくは大手損害保険会社に勤めていましたが、25歳で営業トップになったことから天狗になり、上司と意見が合わなくなりました。その時、自分の性格はサラリーマンに向いてないと自覚し、退職しました。そんな折、父が始めた白竜湖リゾートの再建に携わることになり、3年間で黒字化しました。そうこうするうちに、ホテルの3階で飲食店をやらなにかという話が舞い込み独立しました。その飲食店が「憩いの料亭 白竜湖」で、現在の白竜湖グループのスタ

ートになりました。飲食店はずぶの素人で崖っぷちに立たされたこともありましたが、どんなことがあっても事業をやめようとは思いませんでした。私には「一生懸命頑張れば、過去、年齢、性別、学歴を問わず、人は成功する」という一つの確信があったからです。それを証明してみたかった。従業員や家族には苦勞を掛けましたが、よくぞついてきてくれたと感謝しています。飲食業は一人ではできない仕事です。仲間の理解、従業員の成長がなければやっていけません。厳しい経営環境は人が育つ土壌にもなりました。

●当社のモットー

私は当初から「現場にこそすべての答えがあり、明日へのビジョンがある」と考え、現場重視の方針を貫いてきました。当社は、①現場から社長を②経営公開 ③組織をピラミッド方式からオーケストラ方式に、の3つのモットーを掲げています。私はタクトを振るだけで、音を出して演奏会(事業)を成功させるのは従業員、を徹底しています。人材不足の時代に、創業時から共に苦勞した経験豊富な社員が今でも多く在籍しているので順調に業績が伸びています。

●私の人脈の広げ方

求められている人のところに行くと仲良くなる、を基本にしています。私は、有名人や偉い方に対して周りが付度して言えない、例えば面白い発想や自分がやっていることをズバツと言うことにしています。ですから、全員と

は仲良くなれません。しかし、世の中に私のことを面白いと言って気にかけてくださる方がいるので、ありがたいことだと思えます。

●学生時代は人との出会いが一番!

私は、学生時代に様々な人と出会って話をするのが一番大切だと思っています。スマホなどの画像はしよせん情報です。私は人との出会いでこれまでやってきました。学生時代はバイトが中心で成績も悪く卒業するのも大変でした。単位が足りないのでゼミの富岡先生に泣きついたところ、貿易学科なので海外に行つて来いと言われ、約半年間ニューカレドニアへホームステイをしてきました。ニューカレドニアは、かつてはフランスの植民地だったため公用語は仏語です。仏語は話せませんが、見よう見まねで何とかなりました。現地の日系人にはずいぶん助けられました。この経験や人との出会いで物事を俯瞰して見るという意識が芽生え、私の人生の転機になりました。帰国後、自分が見たこと感じたことを日記風に書いて卒論を提出し、無事に卒業することができました。神大の懐の深さが、私のような個人的な人間を育てるのではないのでしょうか。心から神大に感謝しています。今のよう

株式会社 北斗園

代表取締役 時光佐香雄さん

Sakao Tokimitsu

●経歴

- 昭和29年12月 広島県安芸郡熊野町生まれ
- 昭和52年3月 経済学部貿易学科卒業

- 昭和52年4月 広島共和物産(株)入社
- 昭和56年1月 ロサンゼルスでホームステイ

- 昭和57年6月 広電観光(株)入社
一年で主任、二年で組合長、三年で大阪営業所所長

- 平成元年9月 熊野町内筆屋で修行
- 平成3年1月 (株)北斗園を起業し代表取締役就任

●会社紹介

当社は、平成3年に創業し、赤ちゃん誕生を記念して作る「赤ちゃん筆」からスタートしました。書道の筆を手掛けるようになり、今はネイルブ



ラシも主力商品になっています。直販だけでなくネット販売にも実績があり、製造方法の研究も行っています。進取の精神で日々努力しています。

●苦勞談

大学時代は4年間空手部で過ごしました。当時大学は学生運動が激しく休講やロックアウトなどで荒れており、試験はほとんどがレポート提出という時代でした。就職は、貿易学科卒業ということから、外国と関わりのある仕事があったため日用雑貨品卸問屋に入社しましたが、仕事では海外とのつながりはありませんでした。そのため、3年間必死に働いてお金をため、ロサンゼルスに英語を勉強するため1年間ホームステイをしました。ロスでは、アルバイトや中古車を買ってドライブ、テニス、水泳など、語学の勉強というよりアメリカ生活を楽しくできました。帰国後、海外旅行の仕事をしたと思います、旅行会社に就職しましたが、不本意ながら国内旅行部門に配属になり社員旅行の営業をすることになりました。当時この会社では社内教育はほとんどなく、先輩の見様見真似と自己流の営業で走り回りました。

入社4年目に営業の実力を認められて

大阪営業所に所長で異動になりましたが、大阪では知名度の低い会社のため大変な苦勞と悲哀を味わいました。

30歳を過ぎた頃見切りを付け、地元熊野の地場産業である筆屋に修行に入り、筆の基本から勉強を始めました。

筆の世界は、長さ太さが何分何厘の世界で、その感覚に慣れるまで時間がかかりました。また、旧態依然とした古い体質が残っている業界で、変革を嫌うようなところがありました。そこで34歳の時、せっかく身に付けた筆の世界で新しいことに挑戦しようと考えて独立しました。

●若い時の苦勞は将来の糧

起業と言っても筆の原料を買う資金がありません。筆の原料をお客様から頂戴する「赤ちゃん筆(赤ちゃんの誕生を記念して赤ちゃんの産毛をいただき、それから記念筆を作る)」を始めました。この筆は、昔から赤ちゃんの健やかな成長と長寿のお守りとして大事に保管する習慣がありますが、熊野では取り扱っているところは少なく、全国ではかなりの需要があるという情報を持っていました。当初は売れませんでした。以前勤めていた筆屋さんの書道用高級筆を作る職人さんのご厚意で書道筆の卸を始め、コツコツと書道店を回っては特注の筆を作らせてもらい、売れるようになったら定番にしてもらう脇に赤ちゃん筆を置いてもらいました。地道な営業の結果、徐々に商売が軌道に乗ってきました。

十数年前からは、いち早くネット販売を行い、また、熊野では早くから筆の軸に文字を掘るレーザー彫刻機も導入しました。平成23年になでしこジャパンが国民栄誉賞を受賞し、副賞に熊野筆「化粧筆」が選ばれたおかげで大フィーバーしました。本当にありがたかったです。

筆の原料である動物の毛の高騰と職人の高齢化、採用難という時代を迎え、売上が厳しくなることが予想されましたので、原料にPBT(ナイロン)を使用したネイルブラシの生産を8年前から開始しました。当時京都に有名なネイリストがいるという情報から直接連絡し、お会いしていろいろ教えてもらい制作していただきました。当初は5種類でしたが、今では50種類のネイルブラシを取り揃えるまでになり、売上も順調に伸びています。今の課題は職人の技術を機械化すべく研究を続けています。このように情報収集と行動力は、若い時に様々な苦しい経験をしたおかげだと思えます。また、初めての所でも臆せず訪問し、知らない方ともお話をすることが苦にならなかつたのが良かったと思います。「若い時の苦勞は無駄になるものはない!」と確信しています。

●若い人に一言

人生は一度しかありません。就職したら「社長を目指せ!」そして、「仕事は面白く」と言いたいです。

(取材・文責/内藤)

株式会社ユーミック

代表取締役社長

上村 芳久さん

Yoshihisa
Uemura

●経歴

- 昭和33年10月 香川県高松市生まれ
- 昭和58年3月 工学部工業経営学科卒業
- 昭和58年4月 大阪府にある同業会社に修行で入社
- 昭和60年4月 (株)上村メッキ工業所(現ユーミック)入社
- 平成15年10月 代表取締役社長就任

●会社紹介

本社所在地は高松市。昭和41年に父が創業し、52周年を迎えました。当社は、独自の表面処理技術を持ち、長尺油圧ロッドや精密機械部品への研削・研磨・硬質クロムめっき等に強みを持っています。めっきの現場は、3K職場で公害の元凶のように言われてきましたが、環境規制が非常に厳しくな



り、その規制をクリアした企業しか生き残れませんし、労働環境も日々の改善活動や新規設備導入でずいぶん良くなったと自負しております。今の時代めっきがなければコンピューターの大容量化・コンパクト化も叶いませんし、飛行機も飛びません。当社は、工業機械部品表面の機能性を高めて世の中に製品を送り出す縁の下の力持ちの会社です。今年の8月には、油圧式クレーンの大手製造会社からご信頼をいただき、その新工場の一画で当社の強みを発揮することになっていきます。

●「スーパードラッグマン」で

「怒らない社長」を実践！

社長として当然業務報告を受け、最終的な判断と指示をする訳ですが、極力権限は委譲することを心がけています。専務と常務が弟ということもあり、総務・経理は専務に、技術は常務に任せるようにしています。自分は、それ以外の雑用マンで良いからと言って「スーパードラッグマン」を自認しています。重要な会議以外は出席しないようにしています。

また、専務・常務には業務面では厳しさを前面に出してもらい、社長はできるだけ黙って見ているというメリハ

りを付けた社員への対応を取っています。従業員にとって、専務・常務は厳しいが、社長が違った面から見て理解・信頼してくれているという安心感は重要だと考えています。(業をさせてもらっています)

●大学は社会人になるための訓練場

ひよんなきっかけで少林寺拳法部に入部し4年間過ごしたおかげで、社会に出てためになる様々な訓練をすることができました。たとえば、部活で先輩が入ってくると教えなければいけない立場になります。どうしたら練習方法を納得させられるか、やり方を同期と協議しながら実践して来ました。また、私は決して話し上手ではありませんが、人の話を熱心に聞く、聞いてほしいという人の話を親身になって聞いて誠実に対応する、ということも体験しました。これらは、まさに社会に出る前から役に立つことで、学生時代にそれらの訓練ができたことは有益でした。高校時代まではチョイ悪までもいかならない中途半端な生徒でしたが、神大に入ったおかげでいろいろな人の力を借りて自分を変えてもらったし変わる方法の一端を教えて貰えました。

ともかく大学時代は、運動でもアルバイトでも酒でも人との議論でも何でも、活動し経験するだけで身に付く多感な時期です。やれることはどんどん自分から参加して経験することで「人生のひきだし」を増やしてほしいと思います。また、勉強に関しては、社会

に出てからの勉強の方が長いですし、革新的なことを学ぶ機会も多いと思いますので、大学では学び方の練習をしてもらいたいと思います。「人生のひきだし」が増えることで、それらが合わさって別の発想が湧いたり、何かの事象に出会ったときにはいろいろな対処ができるようになります。大学時代は社会に出る前の態勢を整える準備期間にしてほしいと思います。ただし、決して気負うことはありません。

●ジャンプは40歳までに！

今の若い人は私の時と比べると真面目で、評価としては悪いところは少ないのですが平均点の人ばかりで、そこが物足りなく感じています。一歩先に行こうとする意識が低く、今の日常が緩やかに続いてほしい。上がっても緩やかに上がってほしいという気持ちを持ってほしいです。見込みがありそうな社員にキャリアを積まそうと別の部署に異動させようと話をすると、はつきりとは言いませんが、拒否反応を示す人がいます。親に相談する人もいて、つい「君はいつたいどう考えているの？」と聞いてしまいました。次のステージに行くときには、多少無理をしてジャンプをしないと届きません。タイミングとしては、遅くても40歳までには自分からジャンプしてもらいたいと思います。前向きな意識のある方ならどこに行っても通用しますし、そのような人材を企業は求めています。

(取材・文責/内藤)

郷土料理「掬亭」
 (株式会社三奥屋 常務取締役)
 近 聡子さん

●会社紹介

三奥屋(みつおくや)は、1948(昭和23)年、近聡子様の祖父にあたる近才吉氏が「漬物専業」の会社として命名され、2年後に株式会社として登記されました。三奥屋といえば、看板商品「晩菊(ばんぎく)」「牛タン焼きの名脇役「元祖南蛮味噌」」、山形名物の「青菜漬(せいさいづけ)」、「おみ漬」、「赤かぶ漬」、他にも山形の四季を感じさせる浅漬が大変人気です。

ちなみに山形県人がこよなく愛する「おみ漬」は、山形県特産の青菜(せいさい)を細かく刻み、他の野菜とともに漬けた漬物で、余った野菜屑などを無駄にしない手法として近江商人が伝えたことから、近江(おうみ)漬「おみ漬」といわれるようになった、というのが山形県内における定説のようです。

今回取材させていただいた「郷土



料理 掬亭(きくてい)は、店舗建物が高島町指定文化財(建造物の部)の第1号(昭和47年5月指定)で、雪国の民家の傑作ともいえる「中門造りの萱葺(かやぶき)民家」



です。建物

には高島民俗資料館を併設しており、素朴な昔の暮らしを物語るさまざまな民具や民俗資料が数多く展示されており、県内や東北の民芸協会等へ貸出しもされているようです。近聡子様としては、「民俗文化を継承したい」として祖父の才吉が残してくれた掬亭ですので、会社経営と郷土資料としての掬亭の保存をいかに継続するかも課題」とのことでした。

また、ここ数年で東北地方を中心に直営店舗数を閉じ、経営基盤の強化を図ったようです。日本全体がインバウンド需要の恩恵に浴する情報を耳にする昨今ですが、一方では百貨店の集客力や漬物自体の消費数の低下が否めないことから、今後は、ユーザーの嗜好に合わせた郷土食づくりに心がけるとともに、付加価値の高い商品づくりにまい進したいとのこと。現在の一押し商品はT

・1グランプリ(Tは漬物のT)でも準グランプリに輝いた。山形おみづけわさびです。ので、校友の皆様も是非一度ご賞味を！(確かに美味しい)

●在学生へ一言

私は4年間、体育会女子バスケットボール部に所属しておりました。全国各地から集まった仲間と先輩・後輩と共にインカレに出場したことや学生連盟の仕事にも従事できたことは貴重な経験でした。将来、家業を継ぐことを考えておらず、明確にやりたい仕事があったわけではありませんでした。在学時に横浜が大好きになり横浜市内での就職をした訳ですが、今、家業に入り思い悩む時、大学時代の友人に意見を求めたり、相談も仕合いますが、解決以上に励みになります。年を重ねるごとに大学時代の友人は一生ものなのだろうと実感しております。

振り返れば、大学は社会人になる前の大変貴重な時間であり、私はやや部活動に時間を多く使ったものですが、あんなに自分が自分の選択で時間を使える期間はありません。在校生の皆さん是非、思う存分に神奈川大学で学び、遊び、沢山の経験をさせてください。山形に戻ってから、

OB会の先輩方も多くいらっしやう大変お世話になっております。先輩方の大学時代の思い出話をお聞きますとき、世代は違えど皆さん、とても楽しそうに話されます。現在の兼子良夫学長が山形県のご出身ということもあってか、山形県内における神奈川大学の認知度が益々上がっております。駅伝での活躍も毎年楽しみにしておりますが、日本の港・横浜の新しい都市みなどみらい21区に2021年開設される「みなとみらいキャンパス」、このような先進的な環境で山形をはじめ地方の学生も集い学ぶことができるのはとても素晴らしいことだと思いき感動しております、神奈川大学の未来がとても楽しみです。(取材・文責/佐藤武)

●経歴

- 昭和54年1月 山形県東置賜(ひがしおきたま)郡 高島町生まれ
- 平成13年3月 経済学部経済学科卒業
(体育会女子バスケットボール部OG)
- 平成13年9月 (横浜市内)医療機器卸会社に就職
- 平成18年4月 帰省し実家である(株)三奥屋に転職
- 平成29年4月 (株)三奥屋常務取締役就任、直営店の郷土料理「掬亭」の営業に携わる

注) 近聡子さんは、ご結婚されて鈴木姓になられておられますが、商売上は「近(こん)」の方が覚えていただきやすいということから、旧姓の「近」を使われているとのこと。お父様は、同社代表取締役の近清剛(せいご)様。

●郷土料理「掬亭」の店舗情報

- ・場所/山形県東置賜郡高島町糠野目2017 TEL.0238(57)3841
JR高島駅から徒歩15分、車で5分(国道13号線沿い)
- ・メニュー/地元のそば粉十割手打ちそばがお勧め。
(昼ランチあり、夜間は団体のみ)
- ・営業時間/11:00~15:00(そば売り切れ次第)
客席数/40席(イス・テーブル席)
- ・定休日/月、火(祝祭日の場合は営業。団体予約は要相談)
- ・冬季休館/1月~3月(冬季休館中の連絡先:0238(57)2510 三奥屋)
- ・ホームページ/http://www.mitsuokuya.co.jp/

懐石料理「小ぎく」

代表 黒川 弘さん

●お店の紹介

岩手県花巻市は、童話作家・詩人として知られる宮沢賢治の生誕の地であり、宮沢賢治記念館や賢治詩碑などが訪れる場所です。その中心街にある「小ぎく」には、賢治ファンをはじめとする多くの観光客だけでなく、地元企業の方たちや地元民の方々の懇親会、忘年会などさまざまなシーンの飲食処としてご利用いただいております。すっぽん、ふぐを中心とした懐石料理や岩手県の旬の食材を使用したメニューを豊富に取り揃えています。皆さまも、岩手県にお立ちよりの際はぜひお越しください。

●学生時代の思い出

読売新聞が運営する歴史ある奨学生制度の「読売新聞奨学生」として勉学と仕事に励んでいました。「勉



学」と「仕事」の両方を熟すことは、非常に厳しいと同時に、それを熟す充実感には言葉では言いあらわせません。また、そんな中、サークル活動にいそしむ同僚たち、学生運動に参加する闘士たちなど、様々な学生の有り様を見て、体験しました。若い学生時代しか経験できない喜びと苦悩の経験は、現在の私自身の思想にも繋がっています。大学時代の4年間は、今思い返しても、とても大切な時間だったと認識しています。だからです。しょうか。

「止まない雨はない！」が私の座右の銘です。

●家業を継いだきっかけ

もともと家業を継ぐことに興味があり

ましたが、大学を卒業したからには一般企業も経験したいという思いもあり、東北シチズン（現・シチズン時計マニユファクチャリング株式会社）に入社。12年後、地域を代表する繁盛店の経営を夢みて、一念発起、店舗の建て替えと店名を「小ぎく」に変え、新たな気持ちで家業を継ぎました。以来、家族や地元の常連さまをはじめとする多くのお客さまに支えられ約30年。現在に至ります。一番のやりがいは、やはりお客さまからのお褒めの言葉。「このお店は、本物を出してくれるねー」と言われたことは今でも忘れません。また、毎年予約を入れてくれる方。それも、30年間欠かさずです。



●今後の目標

これから先も元気に「小ぎく」を続けて、創業60年、70年と地元で愛されるお店にしていきたいです。皆さま、ぜひ立ち寄りください。

●卒業生特典

神大卒業生と教えてください。ささやかなサービスをさせていただきます。

●経歴

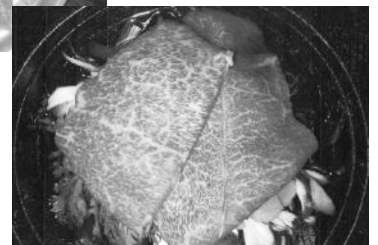
- ・昭和29年3月 岩手県花巻市生まれ
- ・昭和51年3月 経済学部貿易学科 卒業
- ・昭和52年1月 東北シチズン

(現:シチズン時計マニユファクチャリング株式会社)入社

平成元年1月 家業であった「小菊」を継ぎ、現在に至る

●懐石料理「小ぎく」の店舗情報

- ・場所/場所 岩手県花巻市一日市6-10
- ・営業時間/17:30~22:00
- ・ジャンル/すっぽん、ふぐ、懐石・会席料理
- ・定休日/不定期
- ・内観の雰囲気/カウンター席6席、2~5名収容のテーブル席2部屋、17名までの収容可が1部屋。和風の店づくりとなっています。
- ・個室/有
- ・禁煙・喫煙/分煙
- ・連絡先/0198-23-2992
- ・貸切/可 (20人以下可)
- ・駐車場/有
- ・アクセス/東北線花巻駅徒歩10分
新幹線新花巻駅タクシー12分
花巻空港タクシー10分
花巻駅から506m



神大3世代 岡田さん!!

親・子・孫の3世代が神大で学ばれ、昨年第24回ホームカミングデーで大学から表彰された岡田さんご一家にお話が聞けましたので、ご紹介いたします。

この3世代表彰は、平成27年度から始まり平成28年の第22回ホームカミングデーで佐藤佐富夫さんご一家が初めて表彰されました。岡田さんご一家は2組目の表彰になります。



↑ 右から岡田巧久さん、幸紀さん、涼佑さん



↑ 表彰式の風景 (H30.10.7 第24回ホームカミングデー)

親

岡田巧久（のぶひさ）さんは、昭和12年7月東京都目黒区のお生まれで、昭和35年3月工学部電気工学科を卒業されました。御年81歳になられました。大学時代に日本テレビのマスタークンٹرール室で2年半ほどアルバイトをされたことがきっかけで、映像・音響関係の仕事がしたくて東映に技術職で入社され、7年間撮影・録音等の技術管理部門の仕事をした後、光学電子機器設計製造の共同経営会社を経て、37歳で光学電子機器・産業用電子機器の開発・設計・製造、販売を手掛けるアイメックス（株）を創業されました。現在は会長をされています。

子

岡田幸紀さんは、昭和44年2月東京都目黒区生まれで50歳になられました。平成3年3月工学部工業経営学科を卒業し、キリンエンジニアリング（株）に技術者として入社されました。食品製造ライン全体の設計・施工等の仕事を6年間された後、アイメックス（株）に入社され、御父上が70歳を迎えられたのを契機に、2代目社長に就任されました。

孫

岡田涼佑さんは、平成11年8月神奈川県逗子市生まれの19歳です。昨年4月に工学部情報システム創成学科に入学され、現在2年生です。勉学に励むとともにバドミントンサークルに所属し、沢山の仲間ができて充実した学生生活を送っているとのこと。

■ 神大入学の動機は

岡田巧久さんは、子供の時からラジオ少年で、電気や無線に興味があったそうです。高校は大学の付属高校でしたが、

大学には工学部がなかったため進学先を探したところ、通学が便利で憧れの地横浜にある大学、神大を選んだそうです。

岡田幸紀さんは、高校が米田吉盛先生の出身校、攻玉社高校でしたので工学部の推薦枠が1枠ありました。お父様の影響で工学部に興味があり、経営という視点から技術系の勉強をしてみたいと考え、工業経営学科に入学されました。

岡田涼佑さんは、お爺さまの巧久さんが、ぜひ神大に入学してもらいたいというご希望があったそうです。お父様の幸紀さんが、ホームカミングデーに2回も連れていかれるなどして事前に大学の雰囲気を知っていたので、何の抵抗もなく受験され入学されたとのことでした。巧久さんはいよいよ喜ばれ、お父様は入学してホッとされたそうです。

■ 巧久さん・幸紀さんから

涼佑さんへのアドバイス

学生時代にはきちんと勉強してもらいたい。また、企業がグローバル化しているので、英語か中国語は話せるようになってもらいたい。ただし、自由な時間がある学生時代には、国内外の旅行や様々な経験を積んでほしいとのことでした。

■ 神大への期待

学術でも運動でも活躍している神大がメディアに取り上げられると嬉しいものです。研究の充実やスポーツでの活躍を期待しています。また、みなとみらいキャンパス開設を契機に神大が大きく発展するよう祈念しております、とお話しました。

Part 1

活躍するOB・OG



有限会社ホテルテトラ
代表取締役
三浦 孝司さん



ターンオン株式会社
代表取締役社長
金野 義勝さん



中央観光株式会社
取締役会長
細谷 憲二さん



株式会社エス・ピー・ワイ
代表取締役
佐々木大輔さん



ヨイキゲン株式会社
代表取締役
渡邊 信行さん



白竜湖グループ
代表取締役
川口 伸二さん



株式会社北斗園
代表取締役
時光佐香雄さん



株式会社ユーミック
代表取締役社長
上村 芳久さん

Part 2

行ってみよう! OB・OGの繁盛店



郷土料理「掬亨」
株式会社三奥屋常務取締役
近 聡子さん



懐石料理「小ぎく」
代表
黒川 弘さん

活躍する卒業生

第32回東北ブロック会議が 山形国際ホテルで開催される

東北ブロック会議の歴史は、1987（昭和62）年11月に宮城県支部が主管となり仙台市で第1回目が開催され、以後今日まで、東北ブロック内の6県が持ち回りで開催されてきた。2011（平成23）年の東日本大震災時には宮城県会場が使用不能となり開催が危ぶまれたが、急遽順番を代えて山形県湯の浜温泉で開催し、途切れることなく開催されてきたことは、長い歴史を継続してきた東北の力の結晶であろう。

2018（平成30）年11月17日（土）に山形国際ホテル（山形市）で開催された東北ブロック会議は、「山形県宮陵会設立50周年記念式典」と併せた企画として、会長の阿蘇司朗氏（昭31電気）が数年前から準備万端整えてきた東北ブロック会の一大企画である。

ブロック会議は、13時35分から開始され、校歌斉唱に引き続き、東北ブロック会員物故者及び東日本大震災物故者へ献捧を捧げた。阿蘇司朗議長から開会の挨拶が述べられ、来賓並びに県外からの来賓の紹介があった。

東北 ブロック会議

山形県出身の兼子良



▲阿蘇司朗議長の開会挨拶

夫学長から建学の精神に基づいた新たな取組み、新しい時代にふさわしい知の拠点を目指した取組み等、近況を交えてご挨拶があり、続いて本会の大場憲治会長から、2019年春に完成する宮陵会館等、本会の現況報告とご挨拶があった。

ブロック会議の議事は、初めに東北各県代表者から「ブロック会議支部活動現況報告書」に基づき各県の活動について報告され、最後に、次回開催県の岩手県宮陵会宮澤俊次会長から挨拶があり、ブ

ロック会議を閉会した。

続いて15時30分から記念講演として兼子良夫学長の講演があり、「世界の潮流変化と高等教育の役割―神奈川大学の挑戦―」のテーマで熱く語られた。

講演後に記念写真撮影と休憩を挟み、山形県宮陵会設立50周年記念式典に移った。

16時50分から同記念式典が挙行され、阿蘇会長の式辞に続き兼子学長と大場会長から祝辞をいただき、日本九重流詩吟学会皆伝八段範師である阿蘇司朗会長による百瀬健治作の50周年を祝す祝吟が披露された。

17時30分から懇親会が同会場で行われた。来賓を含めて69名の規模となった。

田中英司副幹事長（昭49英文）の軽妙な司会で、初めに乾杯の発声を福島県宮陵



▲前福島県知事の佐藤雄平氏による乾杯



▲山形舞子の祝舞

会顧問で前福島県知事の佐藤雄平氏が声高らかに杯を挙げて開宴となった。

アトラクションは、清野春樹とカントリー&ブルースの演奏で盛り上がり、ひと段落したところで、遠路来訪の福岡宮陵会津田滋前会長と港南区宮陵会庄子忠宏会長、そして岩手県宮陵会福岡勝夫前会長から祝辞が述べられた。宴たけなわの会場にひととき花を添えたのが山形舞子の祝舞であった。中締めの前に飛び入りで舞台上がられた加藤マチャアキさんの山形県歌の独唱が披露された。宴の締めくくりとして小林保博宮城県宮陵会相談役の元気な声で中締めとなり、東北ブロック会議と山形県宮陵会設立50周年記念式典、懇親会がお開きとなった。

なお、50周年にかけける阿蘇会長の熱い想いが実り、同年6月30日に山形市の山銀ホールで、翌7月1日には鶴岡市の荘銀タクト鶴岡に於いて神奈川大学吹奏楽部の特別公演があり、多くの吹奏楽ファンを魅了した。これらの企画を実行された役員諸氏に心より敬意を表したい。

（文責・平能）

川崎市宮陵会の再建成る!!

川崎市宮陵会事務局長 田口澄也(昭53工経)

2019(平成31)年3月9日(土)に、神奈川県横浜キャンパス3号館207講堂を会場にして、川崎市宮陵会の再建のための総会が約40年ぶりに開催されました。



人口が140万人を超える政令指定都市川崎市ですが、1955(昭和30)年頃に結成され、中野一雄さん(昭12横専貿易、昭27経済)が初代支部長に就任されました。その後、同支部長のもとで1959(昭和34)年6月に支部総会が開催され

た後、1978(昭和53)年の「支部長改選中」の情報を最後に現在まで休眠状態が続いていました。一方、職域組織として活動していた「川崎市役所支部」も長らく休止状態が続いていると伺っており、個人情報保護といった社会の流れのなかでの校友組織化の難しさを感じておりました。

このような状況下で、川崎市内在住の卒業生は約4,100名を数えるまでに、宮陵会本部内でも再建を望む声が大きくなってきたことから、2018(平成30)年9月、宮陵会同好組織である卓球部OB会の前事務局長の熊澤明さん(昭48貿易)を委員長とした有志による「川崎市宮陵会再建準備委員会」が立ち上がり、宮陵会本部事務局とも連携を図りながら、本年2月まで計4回にわたる委員会において再建総会に向けた準備を行って参りました。初回の委員会では4名であった委員も4回目には10数名となり、回を追うごとに再建にご協力いただける委員が増えていったことは、非常に心強く有難い思いでした。

この間に、川崎市宮陵会と同様に長年休眠状態であった東京都の「町田宮

陵会」が2018年12月に再建されたとのお話を伺っておりますが、神奈川県内及び近隣地域での再建が連続して実現に至ったことは、宮陵会の組織基盤確立のために再建を支援するという宮陵会本部の事業計画の流れに合致したものととして、大変嬉しく思っております。

総会は、2014(平成26)年に新築された横浜キャンパス3号館の講義室を会場にして、会員26名の他に、ご来賓2名、神奈川県内の地域組織の代表者11名の合計39名の参加を得て開催されました。

神奈川大学の事務職員でもある田口澄也の司会進行のもと、冒頭に、ご来賓の方々をご紹介した後に、熊澤明準備委員長から再建に至った経緯説明やご来賓への謝辞を含めた開会のご挨拶がなされました。続いて、学校法人神奈川大学の佐藤武理事長付審議役、並びに宮陵会本部の会田副会長から、祝辞に加え、大学、宮陵会それぞれの近況を含めたご挨拶を頂きました。

議事に移り、再建のために準備した本会の会則案、役員候補者案、事業計画案についてご審議いただいた結果、議案は全て異議なく承認され、無事に総会を終了することができました。再建後の初代の会長には小林和正氏(昭37機械)が選任された次第です。

その後、神奈川大学名誉教授で神奈川大学発ベンチャー企業の未来環境テ

クノロジー株式会社(MKT)取締役/最高技術責任者でいらっしゃる田嶋和夫先生に記念講演(題名は「三相乳化法とMKTについて」)を行って頂きました。先生からは、三相乳化技術を活用した化粧品開発等の興味深いお話を聴くことが出来て、大変好評でした。

続いて、場所を19号館ラックスホールに移して行われた懇親会は、総会と同様に田口澄也の司会進行のもと、出席者全員から近況報告をいただくなど、終始和やかに進み、最後は恒例の神奈川大学校歌を全員で合唱し、再建に係る全ての予定を滞りなく終了することができました。

最後になりますが、総会にご出席いただきました委員の皆様、ご来賓の皆様、年度末のご多忙の折り駆けつけてくださいました神奈川県内地域組織代表の皆様に対し、衷心より厚く御礼申し上げます。また、宮陵会本部事務局の皆様には、第1回の準備委員会から総会当日まで様々な準備作業について多大なるご支援をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

今後は、神奈川県ブロック会の新たな一員として、県内の地域組織のみならず他の組織の皆様とも連携を図りつつ、宮陵会本部のご指導もいただきながら組織の充実・発展に努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

町田宮陵会の再建 成る!!

町田宮陵会 会長 古家秀紀(昭38貿易)

2018(平成30)年12月16日(日)に、JR横浜線町田駅徒歩5分の「ホテルラポール千寿園」を会場にして、町田宮陵会再建総会が30数年ぶりに開催されました。

東京都の多摩地域南部に位置する町田市ですが、市内の校友による同窓会は、1978(昭和53)年6月に発足し活動を開始しました。ところが、当



時の支部長であった相原誠一さん(昭13横専Ⅱ法)が鎌倉市に転居されたこと等もあり、活動が鈍化し休眠状態になりました。その後、1983(昭和58)年11月に会員22名の出席を得て支部総会を開催し、小山彦三郎さん(昭24法)を新支部長に選出して活動を再開したものの、数年後に再び活動を停止し、現在まで休眠状態が続いていました。

このような状況下で、町田市内在住の卒業生は約1,100名を数えるまでになり、宮陵会本部内でも再建を望む声が大きくなってきたことから、私を代表とした8名の有志による「再建のための世話人会」(以下「世話人会」という。)を立ち上げ、宮陵会本部のご支援もいただきながら、昨年12月16日に再建総会を開催するに至り、約35年間休眠していた「町田宮陵会」の再建を果たすことが出来ました。

総会には会員23名の他に来賓8名、友情出席者5名の合計36名の参加を得て開催されました。

世話人会の松井晋一さん(平9経)

の司会進行のもと、来賓の方々をご紹介した後に議事に移り、世話人会代表の私より、過去の経緯と再建のために準備した本会の会則案、事業計画案、予算案、執行役員候補者案を順次説明して賛否を問うた結果、議案は全て異議なく承認され、総会を終了しました。

その後、母校の名誉教授で町田市民でもある中田(なかた)信哉先生に記念講演(題名は「宅急便の登場と小倉昌男さん」)を行って頂きました。先生からは、最近の学生気質など洒落なお話を交えて講演下さり、大変好評でした。

懇親会は、世話人会副代表の鈴木忠さん(昭44経)の司会進行のもと、まず、宮陵会本部と学校法人神奈川大学を代表して、ご出席下さった佐藤武宮陵会専務理事より再建に対する祝辞と母校の近況について、みなとみらいの新キャンパス建設や学部の再編計画など最新ニュースを話して下さい、またご出席の神奈川県ブロックのご来賓を代表して宮陵会組織の大古参でもある神奈川区宮陵会の久米信行会長より当会の活動再開に対して力強い応援の祝辞を頂きました。

町田市内には多くの卒業生が在住しています。宮陵会本部から教えて頂いた町田市内在住の卒業生数1,123

名の方々に総会の開催案内状を送りましたが、①転居先不明で戻って来たのが26通、②出席申込者が23名、③欠席の返事が52名でした。開催案内状を送る時に、出席者は少なくとも56%、即ち50〜60名位は居るだろう、希望的には10%、即ち80名位の出席者がいるだろうと想定したのですが、結局は23名が現実で2%にすぎなかったことを知りました。これが現実でした。しかし、再建したからには、継続性の維持を念頭におき、会員増強を図りながら発展を目指す所存です。

会員の出席者が少ないことは、開催コストの採算に悪影響が出ます。その為に、町田市外に住む同窓生が、遠路に拘らずわざわざ再建を応援する為に駆けつけて下さり、しかも多額の会費を払って、「友情出席」して下さい5名の方々には大変感謝申し上げる次第です。そして、ご来賓として、当会の再建を祝ってご参加下さった学校法人神奈川大学理事長付審議役・宮陵会専務理事の佐藤武さん、相模原宮陵会の高橋一行会長、神奈川区宮陵会の久米信行会長、藤沢宮陵会の栗田光郎会長、津久井宮陵会の藤井保会長、三浦半島宮陵会の原柳作事務局長、西多摩宮陵会の稲木英生会長及び戸塚・栄区宮陵会の武笠健次会長には、この紙面を借りてお礼を申し上げます。

広島県会 宮陵会

「来て楽しい、来年も来たくなくなる」を コンセプトに百名超えの出席者を目指す

広島県宮陵会事務局長 升田 晃(昭45経)

中国ブロックのなかでも多くの会員数を擁する広島県宮陵会は、休眠状態から再建された2008年11月以来、2019年度で11年目を迎えます。

広島県宮陵会としての歴史は浅いですが、休眠状態となる以前は、横浜専門学校・神奈川大学同窓会から宮陵会広島県西部支部、東部支部へと変遷を遂げ、それぞれの地域で様々な活動を行っていました。そして、宮陵会本部の「ブロック組織等特別委員会」の働きかけもあり、2008(平成20)年11月29日に140名余の出席者のもと開催された再建のための「社団法人宮陵会広島県支部総会」において、再建後の初代会長に当時の広島商工会議所会頭(広島電鉄代表取締役社長)の大田哲哉氏(昭38電)が選任され、総会、懇親会ともに大いに盛り上がりました。

その後、社団法人宮陵会の一般社団法人への移行に伴い、広島県支部から「神奈川大学広島県宮陵会」に名称が変わり、2011(平成23)年度より、当時広島県副知事であった城納一昭氏(昭45法)が会長に就任し現在に至っています。

再建時より、総会・懇親会出席者数目標100名以上という高いハードル設定をクリアするために、再建時に名簿作成委員会、総会準備委員会、出席者増員対策委員会、東部地区活性化委員会、行事

計画委員会の5つの委員会を立ち上げ、出席者目標達成に向けて取り組んで行きました。

現在は、行う事業もほぼ恒例化してきましたので、役員会と企画運営委員会を中心に運営しています。総会・懇親会の準備、イベントの企画・立案、実施は企画運営委員会で行なっています。

メンバーは昭和40年代から平成20年代の卒業生で構成され、年3回の打合せ、2回くらいの飲み会の席でいるような意見を出し合い、総会に向けて準備しています。毎年100名の出席者目標で取り組んでいくために、「来て楽しい、来年も来たくなくなる」をコンセプトとして増員対策を行っています。

組織を活性化させ明るく楽しい会にしていくには、若年層や女性会員の参加者を増やすこと、また懇親会では来て良かった、と思ってもらえる企画が必要と考えています。若年層、女性会員へのアプローチは案内ハガキ以外に会員からの呼びかけ、懇親会の内容を書いた手紙の送付を行なうことにより、少しずつではありますが出席者が増えてきています。いかに楽しい懇親会にしていくかが毎年のテーマですが、内容としては目玉となるイベント、内容等を企画運営委員会で検討しています。

またテーブル席も同年代でまとめていますが、特徴としてテーブル表示を1

番、2番とかではなく大学周辺の地域名で表示しており、具体的には、六角橋、白楽、栗田谷、神大寺、反町、三ツ沢、菊名、妙蓮寺等を表示しています。座られたら懐かしさが出てきて、初対面の方でも「学生時代はどこに住んでいましたか」の話題ですぐに昔話に入れるということもあり、大変好評です。これは全国の宮陵会懇親会でも広島だけではないか、と思っておりますし、イベントも皆さんと一緒に入り込めるもの、を考えています。

10周年記念には、神奈川大学国際経営学科卒でバグパイプの日本の第一人者である五社義明さんの迫力満点の演奏に皆で盛り上がり、昨年度は会員の家族の方で女性デュオによるうっとりするようなオカリナの演奏に聞き入りました。その他にもギターの演奏など、毎回大好評で皆さん楽しみにしております。

また、3年前の広島東洋カープ黒田投手引退の年には、元広島東洋カープ寮長の吉田隆禎氏による講演会で、黒田投手のエピソード、二塁寮長、男黒田を語る」という広島ならではの興味深い話をお聴きすることができました。

総会は、毎年広島市で開催しています。交通事情により広島県東部の方が出席出来にくいということで、3年前から福山でも懇親会を行って親睦を深めています。

現在、県内の会員の方で趣味の会のよなものの立ち上げも検討しており、会員の中にジョギング、マラソンをする方、ロードバイクをする方、楽器の演奏等の方がおられますので、なんとか親睦

を深めることができな、と思っております。

また、趣味の会としては年4回のゴルフコンペを行っています。登録メンバーは28名と多いですが毎回12〜16名位の参加者で楽しくプレーしています。



このコンペの特徴は、参加者が神大のプラウドブルーの応援キャップをかぶっていることです。これも全国の宮陵会での親睦コンペでは広島だけではないか、と思います。これは、再建10周年記念総会・懇親会で出席者に記念品として何を渡すかを検討しているなかの1つに、KUマーク入りの応援キャップがあり、どんな感じかかぶってみよう、と総会前のコンペで参加者全員でかぶってプレーしました。なかなか好評でしたので、10周年の記念品として出席者全員にお渡ししました。以来、ゴルフコンペでは、その応援キャップ着用でプレーしています。

広島県宮陵会としてこれからも「来て楽しい、来年も来たくなくなる」活性化された活動を進めてまいります。今後とも宜しくお願致します。

横浜専門学校と
パイオニア精神の
担い手たち

パイオニアという言葉を目にして、みなさんはどのようなイメージをもたれるだろうか。ここで取り上げるパイオニアとは進取の気象に富んだ開拓者のことであり、開港以来、時代の波頭を切つてわが国の歴史を常にリードし続けてきた横浜の歴史と重ね合わせて、神奈川大学の前身である横浜専門学校では草創期からこの言葉を親しみ、誇りと愛着をもつてこの言葉を好んで用いたようである。

経済学者として名を馳せ、商業教育にも一家言をもつた、ケンブリッジ学派の総帥アルフレッド・マーシャルは企業者を「慣行の軌道を歩む人々」と「新しくかつ改善された事業方法を開拓する人々」に分けて考えているが、横浜専門

遺業燦たり！

社会へ巣立つ吾等の
パイオニアアス

各部の花形總まくり

創設の寄難に三ヶ年卒の學問にも實が結ばれた、先程の無い學校程肩の狭い事は無いものである。第一に社會的に擧げられる凡庸が無いからである。勿論その尺屋たる卒業生の價値に依つて其の程度を批判する事は出来ぬが、或る一部を以て全體を見る事も亦一應肯定する可き事と思ふ。この意味に於て我が學校が今始めて第一回の卒業生を授け、云ふ事は非常に嬉しいことである。だが只單に總まくりと感ぜば卒業生の責任は負つて居ないからである。實に十年の卒業生の責任は重く且大である。實に十年の卒業生が我が母をなして償ひつ社會と云ふ地中へ廣汎なる根を張らしめる爲めには其の最初に練入る者の責任にかつてゐる。一方には最初の卒業生としての責任を負つて衆人注目の的となり方校友會各部の產方の親育ての親として常に親類の責を担ひ各部今日の隆盛に導いたパイオニアアスの遺業に努力と努力に對し滿腔の謝意を表するものである。茲で我等が學業を通じて諸兄を紹介する事も流更意義の無い事でも無いと思ふ。

▲草創期のパイオニア群像 第一回卒業生を語る記事
（『横専学報』第11号、1932年2月15日付）

學校が力を入れていたのは、マーシャルが經濟發展の原動力とみなした後者のパイオニア的人材の育成にあつたことは言うまでもない。そのことを裏付けるように、學生新聞の『横専学報』の紙面にはパイオニアの文字が散見される。そしてまた、パイオニアの見出しのついた記事からは未来へと続く道を切り拓いてゆく若きパイオニアたらんと欲する横浜専門学校生の意気込みが伝わってくる。横浜専門学校とその伝統を豊かに継承した神奈川大学からは幾多の社長を輩出しているが、その底流に実学重視の教育方針は言うに及ばず、そのもとで培つたパイオニア精神が息づいていることは明らかである。『横専学報』第一号（一九三二年二月一日）では、在学中にクラブ活動等で活躍し、卒業後も社会という大海原でパイオニアとしての活躍が期待される第一部（昼間部）の第一回卒業生を紹介しているが、その中には社会に出て成功を収め、宮陵会の理事長や役員として母校の發展のために尽くした先輩諸兄も少なくない。何事も初めは困難である。これらパイオニア精神の担い手たちはその困難にひるまず立ち向かい、困難を克服して大成した人々である。

翻つて、パイオニアを育てた講師陣についてみると、やはりパイオニアがキラ星のごとく勢揃いしている。以下、商業理財科に限ってみるならば、同科の設立に協力し、後輩にあたる多くの優秀な教員を紹介したのが、會計学の大御所の太田哲三教授であり、教授は東京商科大学（現・一橋大学）の前身である東京高等

商業学校の出身で、わが国における公認會計士の草分けの一人である。太田教授はさまざまな面で、横浜専門學校のために力を尽くされており、たとえば、東京商科大学への受験資格の取得に際しても、陰の立役者として本學園の立場を代弁し、實現のために奔走されたことが伝えられている。当事者である東京商科大学もこの問題には無関心でありえず、「天下に広く門戸を開放すること」の是非をめぐって久しく協議が重ねられており、この間の事情については學生新聞である『一橋新聞』紙上で報じられている。結局、関係各位の努力によつて、一九三四年春から横浜専門學校、大倉高等商業學校等二九校に対して入学資格が与えられることになるのである。

官立崇拜とか官学万能と言われた時代にあつて、私学出身の進學者に門戸を閉ざすその旧弊を改め、神戸、大阪の二商大に次いで東京商科大学が入学資格を私立高商等にまで拡大したことの意義は大きい。この英断により他の受験生に伍して実力でこの難関を突破し、晴れて東京商科大学に進学する道が横浜専門學校生にも開かれたのである。このことを受けて同教授は、試験科目は經濟論文、英語、簿記の三科目で、難点は語学であるが、「我と思わん者は今後どしどし受験されるように」と述べて、教室の生徒を叱咤激励している（『横専学報』第二八号、一九三三年二月二五日）。このことはふだん顧みられることはないけれども、やはり重要な業績である。

やがて、この期待にちよび、一九三七

水泳部



神奈川大学から世界へ!

神奈川大学水泳部コーチ／スポーツ戦略室重点強化部専門職
横山 貴

2020年東京オリンピック・パラリンピックを約1年後に控え、4年に一度のスポーツの祭典に向けて、日に日に国内が盛り上がりを見せ、東京を中心に各競技団体の強化施設、各国からのアスリートを迎え入れる選手村、試合会場等の整備が急ピッチで行われています。

2013年9月、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定した日、神奈川大学水泳部は当時、広島での大学日本一を決める日本学生選手権水泳競技大会(以下「全日本インカレ」という。)でシード権争いの真っ最中であり、1年前の2012年に初のシード権を獲得し、各大学の真の実力、チーム力が試される800mフリーリレーにおいて優勝争いができるところまで成長したものの、あと一歩のところまで優勝を逃し、辛酸を舐める年となりました。

それから5年、2018年9月には横浜で開催された全日本インカレにおいて、その雪辱を果たすべく水泳部の卒業生、現役学生の悲願であった800mフリーリレーでの創部初となる優勝、300校の加盟校の中で女子総合準優勝を収めることが出来ました。また、地元横浜開催という大勝負で、誰一人欠けることなく全員が一つとなり過去最高の成績を収められたことは記憶に新しいところです。

神奈川大学水泳部は創部80年を超える部活であり、神奈川大学の歴史と共に歩み、2003年に指定強化部特別推薦枠を頂き、当初は、4年間で関東学生1部に押し上げることができなければ推薦枠を返上する」という公約のもと、推薦初年度をスタートしました。推薦初年度に、未来のオリンピック

ンとなる種田恵(2009年3月経済学部卒業)の入学により、日本水泳界に神奈川大学の存在が広く知れわたることとなりました。

その後、関東男子1部で優勝を収め、全国、そして世界で活躍する学生アスリートを育成するため女子の強化へとチーム方針をシフトし、2012年には神奈川大学が全日本インカレにおいて女子総合5位となったことにより、10数年入れ替わりのなかったシード校に神奈川大学が入る偉業を成し遂げました。注目を浴びる大学になると共に、強豪校としての戦いが2012年よりスタートし、7年連続のシード権を守り続けます。

2016年、水泳部は新たに法人主導の重点強化部として指定を受け、今日に至ります。近年、東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、大学に進学するものの練習環境の拠点をスイングクラブに置き、入学だけを認める大学が増えるなか、神奈川大学は、大学(横浜キャンパス)を拠点として全員でトレーニング行う数少ない大学のひとつです。大学における課外活動については、競技力向上の場としてだけではなく教育の場として最も重要な場である旨、スポーツ戦略室を中心とした指導者全員が自覚しているところです。神奈川大学創立者米田吉盛先生の『教育は人を造るにあり』の考えは、まさに課外活動にも当てはまるものであり、社会に必要とされる人材を学修や課外活動とおして世に送り出すことの重要性を認識しつつ、部活動を通じて教育をしていく姿勢は、プールのサイドで日々、学生、指導者、学校関係者と共に実践されています。そのような学び舎から、2013年

より日本オリンピック委員会オリンピック強化指定選手を数名輩出し、近年では後藤真由子(2018年3月人間科学部卒)が国際大会代表となり、卒業後も神奈川大学をトレーニング拠点として、2020年東京オリンピック、2021年福岡世界選手権を目指しています。また、そんなアスリートを目指し、現在は「水泳をするなら神奈川大学」と日本全国から注目を集める大学のひとつとなりました。

2019年夏季には、学生のオリンピックとも言われるユニバーシアードがイタリア・ナポリで開催されます。前回大会へは本学から4名の選手(陸上競技部、女子サッカー部、水泳部)と3名の指導者を派遣しており、本年も世界で活躍できる学生アスリートを本学から輩出することが重点強化部の一つの使命であり、オリンピック前年における活躍が2020年の東京オリンピックに向けて重要な意味を持つものであると考えております。

1日1日東京オリンピックへのカウントダウンが進むなか、今後も卒業生の皆様に誇りに思っていただけという、国内外で活躍できる学生アスリートを輩出していくと共に、スポーツが本学の発展の一助となるよう更に努力してまいります。2028年に神奈川大学は創立100周年を迎えますが、まだ見ぬ未来のオリンピックアンが活躍できる環境を整え、神奈川大学にふさわしい競技者を育てていくためにも、指導体制を一層強化していきたいと考えております。

最後となりますが、神奈川大学ご卒業の諸先輩の皆様には今後とも温かいご支援、ご声援を賜りますようお願いいたします。

K.A.S (Kanagawa Agricultural Society)



農業は厳しい。 だけどとっても面白い!!

神奈川県湘南ひらつかキャンパスは、横浜キャンパスとは異なり、郊外型キャンパスで周りを多くの自然に囲まれた環境のなかにあります。キャンパスが立地する平塚市土屋地区は周辺の川や丘陵、谷戸、湿地帯が昔の姿のまま残り、四季折々の植物が多様な花や実をつけ私たちを楽しませてくれます。



「K.A.S」(Kanagawa Agricultural Society)は、このようなキャンパスの環境、特性を生かした農業サークルとして、1996(平成8)年に理学部応用生物学科(当時)の学生が中心となって誕生しました。

現在、K.A.Sの部員は、生物科学科(2001(平成13)年4月に応用生物科学科から名称変更)の学生に限らず、「都会では得ることのできない経験」と「緑の中で活動することによる日常にない爽快感」を求めた農業に興味のある学生28名で構成されています。「1から10まで学生主導の農作業をする」という運営方針のもと、キャンパス内の緑地「土屋の杜」に位置する2か所の畑(約250×300坪)を利用し、主に土曜日の午後に活動しています。



部員たちはキャンパスの自然を利用した農作物を作るため、時に顧問である生物学科の安積准教授の指導を仰ぎながら、土の作り方、種の選定、肥料の配合などを考え、種まきから手入れ、収穫までを行っています。収穫した農作物(白菜、安納芋、大根、小松菜、カボチャ等)は、自分たちの調理用の食材として役立てているほか、学生食堂への食材提供も行っており、近年では湘南ひらつかキャンパスの卒業生が集う「湘南ひらつかキャンパスホームカミングデー」において、これらを使用したメニューが振る舞われています。



また、同キャンパスの学園祭である「平塚祭」においては、収穫した農作物や焼き芋を格安で販売し、訪れた方々から大変好評をいただいています。さらに、その他の活動として、平塚市との地域連携交流事業「里地里山再生プロジェクト」への参加があげられます。

この事業は、自然環境豊かな里山を学生と市民の手で蘇らせることを目的として、キャンパス周辺地区の谷戸田(台地や丘陵

地が複雑に入り組んだ谷筋の田圃)で田植え、稲刈り、収穫祭、餅つきを実施するというもので、2015(平成27)年に受審した(公財)大学基準協会による認証評価においても、本学の社会貢献の取り組みとして高い評価を受けています。本学からは例年、横浜、湘南ひらつか両キャンパスで学ぶ受入れ交換留学生を含めた数十名がこの事業に参加しています。K.A.Sの部員はその中心的存在となり活躍しています。



2019(平成31)年3月に卒業する前代表の生物科学科4年塚越圭亮君は、神奈川県農業技術センターが主催する研究会などに出席して自らの専門分野も含めた研さんを積むことで、新しい品種の開発にも意欲を持っているようです。前代表からバトンを引き継いだ生物科学科3年の松崎恭平君は、「湘南ひらつかキャンパスの理学部が横浜キャンパスへ移転する予定の2023年まであと4年しかないので移転までの期間、前任者の意思をしつかり引き継ぎ、キャンパス生活を楽しみたい。」と語っています。

キャンパスの自然がもたらす恩恵と試練に向き合いながら、農作物を育てることを通じて農業の面白さと厳しさを日々実感しながら活動しているK.A.S。この活動で培った経験が、やがて社会に出てからも大きな実りをもたらすものであつてほしいと願っています。(文責/辻 洋一)



神大口ケツ 最高記録更新!!

JINDAI



学生スタッフらによる入念な打ち合わせ。
前日夜から手順通りに準備が進められた。

2018年10月6日、工学部で研究が進むハイブリッドロケットの発射実験が行われ、日本記録に迫る最高高度6204 mに達しました。

今回の実験で使用されたのは、工学部機械工学科航空宇宙構造研究室（主宰高野敦准教授）と公認サークル「宇宙ロケット部」の学生メンバーのチームが約1年かけて共同で新開発したハイブリッドロケットで、高さ約3 m、重量約37 kg、燃料にはプラスチック樹脂と液体酸化剤を用いる小型で軽量のロケットです。

宇宙へ到達するロケットは液体燃料や固体燃料によるものが現在の主流ですが、打ち上げにかかるコストや、安全性、環境性能、制御の容易さ等の面でそれぞれに特性があり、用途によって使い分けられているのが現状です。そこで液体燃料と固体燃料の「良いとこ取り」で、低コストかつ高い安全性を特徴とする次世代のロケットとしてハイブリッドロケットが注目されています。2018年になり、初めてノルウェーの研究チームが高度約100 kmを超えた宇宙空間へ到達しましたが、まだ発展途上の技術であり、日本記録は2013年の北海道大学と電機メーカーの共同開発によるロケットが記録した高度8・3 kmが最高となっています。

「神大ロケット」は研究を開始した2014年は先行する他大学と肩を並べる

高度2 kmを早くも達成。その後も湘南ひらつかキャンパスでのエンジン燃焼実験と機体改良を重ね、5年目となる今回は日本記録の更新を目指し高度10・9 kmを目標に準備が進められました。

実験当日、日本における宇宙開発の拠点でもある秋田県能代市の日本海に面する海岸に特設された発射台に、暗闇の中緊張した面持ちの学生によりロケットが据え付けられると、安全確認、酸化剤注入と手順通りに準備作業は進められました。午前6時、ついにカウントダウンが開始され「ファイヤー！」の声とともに、ロケットは轟音を立てながら夜明け直後の空へ飛び出しました。すぐに雲を突き抜け、肉眼で追うことはできなくなりましたが、ロケットに取り付けられたセンサーからは各種データがリアルタイムにPCへ転送されており、発射から約1分で目標には届かないもののチーム最高記録を達成、数分後には海面に着水し、学生が分乗し待ち構えていた漁船3隻によって無事に機体は回収されました。

今回の実験では日本記録にこそ届きませんでしたが、国内でのハイブリッドロケット開発においてはトップを争うまでに成長した「神大ロケット」チーム。近い将来、KUマークを背負ったハイブリッドロケットが宇宙に到達する日も近いかもしれません。



今回使用されたロケット。宇宙ロケット部の学生代表者の名前をとり「福嶋丸」と命名された。機体の材料費、加工費は約120万円だが、打ち上げのための宿泊費、移動費は自己負担のため支援を募集しているとのこと。

正味財産増減予算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科目	2019年度予算額	平成30年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 財産運用益		2,000	0
基本財産受取利息	2,000	2,000	0
特定資産受取利息	1,000	1,000	0
② 受取会費	113,690,000	113,890,000	△ 200,000
正会員会費	6,090,000	6,090,000	0
準会員会費	107,600,000	107,800,000	△ 200,000
③ 雑収益	380,000	360,000	20,000
受取利息	30,000	10,000	20,000
雑収益	350,000	350,000	0
経常収益計	114,072,000	114,252,000	△ 180,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	8,760,000	8,290,000	470,000
退職給付引当金繰入額	0	200,000	△ 200,000
福利厚生費	1,500,000	1,500,000	0
会議費	1,405,000	855,000	550,000
旅費交通費	7,550,000	4,550,000	3,000,000
通信運搬費	35,240,000	41,455,000	△ 6,215,000
消耗品費	2,252,000	1,652,000	600,000
印刷製本費	7,829,000	9,056,000	△ 1,227,000
慶弔交際費	2,100,000	2,120,000	△ 20,000
賃借料	246,000	246,000	0
諸謝金	600,000	620,000	△ 20,000
支払負担金	6,300,000	6,300,000	0
支払助成金	12,100,000	12,850,000	△ 750,000
支払寄付金	21,000,000	21,000,000	0
給付奨学金	14,000,000	17,000,000	△ 3,000,000
委託費	4,110,000	3,700,000	410,000
雑費	250,000	30,000	220,000
事業費計	125,242,000	131,424,000	△ 6,182,000
② 管理費			
給料手当	8,760,000	8,290,000	470,000
臨時雇用賃金	700,000	200,000	500,000
退職給付引当金繰入額	0	200,000	△ 200,000
福利厚生費	1,500,000	1,500,000	0
会議費	2,300,000	1,490,000	810,000
旅費交通費	4,750,000	4,200,000	550,000
通信運搬費	1,075,000	1,075,000	0
消耗什器備品費	200,000	200,000	0
消耗品費	690,000	570,000	120,000
印刷製本費	1,500,000	1,030,000	470,000
慶弔交際費	1,550,000	1,500,000	50,000
賃借料	246,000	246,000	0
保険料	400,000	400,000	0
諸謝金	300,000	0	300,000
委託費	1,962,000	1,962,000	0
雑費	415,000	305,000	110,000
管理費計	26,348,000	23,168,000	3,180,000
経常費用計	151,590,000	154,592,000	△ 3,002,000
当期経常増減額	△ 37,518,000	△ 40,340,000	2,822,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
80周年記念事業費	3,000,000	11,290,000	△ 8,290,000
移転費	3,000,000	3,000,000	0
経常外費用計	6,000,000	14,290,000	△ 8,290,000
当期経常外増減額	△ 6,000,000	△ 14,290,000	8,290,000
当期一般正味財産増減額	△ 43,518,000	△ 54,630,000	11,112,000
一般正味財産期首残高	259,764,576	314,394,576	△ 54,630,000
一般正味財産期末残高	216,246,576	259,764,576	△ 43,518,000
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄付金			
受取寄付金			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	216,246,576	259,764,576	△ 43,518,000

宮陵会だより

2019年度事業計画
2019年度正味財産増減予算書
2019年度収支予算書
平成30年度理事会開催状況
定時総会
監査

女性会員のつどい
各種委員会開催状況
地域組織総会等開催状況
その他卒業生の集い
新規設立地域組織
再建地域組織

新地域組織代表者紹介
表彰者
本報
本部理事会開催予定
事務局からのお知らせ
ホームカミングデー開催のお知らせ
教育研究奨励助成金採用者
給付奨学生採用者

- ## 2019年度 事業計画・予算書
- 2019年度事業計画
1. 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事業
 - (1) 会員相互の情報共有のための事業
 - ① 会誌「宮陵」第68号の発行。「宮陵会報」第108号・第109号の発行、他広報事業
 - ② 会誌は正会員のみのみ、会報は住所判明者へ送付予定
 - (2) 会員相互の連携を深めるための事業
 - ① 地域組織の活動に対する支援、助成
 - ② 地域組織総会出席時祝金
 - ③ 出張者交通費
 - ④ 資料発送等通信費
 - ⑤ 地域組織総会通信費
 - ⑥ 助成(職域、同期・同好を除く)
 - ⑦ 地域組織設立周年行事経費の助成
 2. 地域組織の活動に対する支援、助成
 - (1) 地域組織総会出席時祝金
 - (2) 出張者交通費
 - (3) 資料発送等通信費
 - (4) 地域組織総会通信費
 - (5) 助成(職域、同期・同好を除く)
 - (6) 地域組織設立周年行事経費の助成
 3. 組織の設立・再建等の支援
 - (1) 新たな地域組織の設立や休眠状態にある組織の再建支援
 - (2) 基準に準拠した設置承認の取消し等
 - (3) 準会員(在学生に対する「宮陵会」広報活動の強化)
 - (4) 神奈川大学の共通教養科目の授業における本会の歴史等についての講義
 - (5) 卒業年次生(4年次)への「会誌」郵送
 4. 新入生准会員への記念品贈呈
 - (1) 神奈川大学の進展と維持に必要な事業
 - (2) 神奈川大学教育振興事業
 - (3) 神奈川大学事業協賛寄付等
 - (4) ホームカミングデーへの協賛
 - (5) 卒業祝賀行事の共催
 - (6) 陸上競技部駅伝報告会協賛
 - (7) 神奈川大学在学生課外活動等支援事業
 - (8) 学生課外活動助成金
 - (9) 学生課外活動助成
 - (10) 学生課外活動費、卒業生指導者交通費等の助成
 - (11) 在学生特別事業
 - (12) 在学生が開催する講演会及びスポーツ大会の記念品提供
 - (13) 神奈川大学「教育振興基金」への指定寄付
 - (14) 給付奨学金
 - (15) 課外活動奨励金
 - (16) 課外活動奨励金
 - (17) 課外活動奨励金
 - (18) 課外活動奨励金
 - (19) 課外活動奨励金
 - (20) 課外活動奨励金
 - (21) 課外活動奨励金
 - (22) 課外活動奨励金
 - (23) 課外活動奨励金
 - (24) 課外活動奨励金
 - (25) 課外活動奨励金
 - (26) 課外活動奨励金
 - (27) 課外活動奨励金
 - (28) 課外活動奨励金
 - (29) 課外活動奨励金
 - (30) 課外活動奨励金
 - (31) 課外活動奨励金
 - (32) 課外活動奨励金
 - (33) 課外活動奨励金
 - (34) 課外活動奨励金
 - (35) 課外活動奨励金
 - (36) 課外活動奨励金
 - (37) 課外活動奨励金
 - (38) 課外活動奨励金
 - (39) 課外活動奨励金
 - (40) 課外活動奨励金
 - (41) 課外活動奨励金
 - (42) 課外活動奨励金
 - (43) 課外活動奨励金
 - (44) 課外活動奨励金
 - (45) 課外活動奨励金
 - (46) 課外活動奨励金
 - (47) 課外活動奨励金
 - (48) 課外活動奨励金
 - (49) 課外活動奨励金
 - (50) 課外活動奨励金
 - (51) 課外活動奨励金
 - (52) 課外活動奨励金
 - (53) 課外活動奨励金
 - (54) 課外活動奨励金
 - (55) 課外活動奨励金
 - (56) 課外活動奨励金
 - (57) 課外活動奨励金
 - (58) 課外活動奨励金
 - (59) 課外活動奨励金
 - (60) 課外活動奨励金
 - (61) 課外活動奨励金
 - (62) 課外活動奨励金
 - (63) 課外活動奨励金
 - (64) 課外活動奨励金
 - (65) 課外活動奨励金
 - (66) 課外活動奨励金
 - (67) 課外活動奨励金
 - (68) 課外活動奨励金
 - (69) 課外活動奨励金
 - (70) 課外活動奨励金
 - (71) 課外活動奨励金
 - (72) 課外活動奨励金
 - (73) 課外活動奨励金
 - (74) 課外活動奨励金
 - (75) 課外活動奨励金
 - (76) 課外活動奨励金
 - (77) 課外活動奨励金
 - (78) 課外活動奨励金
 - (79) 課外活動奨励金
 - (80) 課外活動奨励金
 - (81) 課外活動奨励金
 - (82) 課外活動奨励金
 - (83) 課外活動奨励金
 - (84) 課外活動奨励金
 - (85) 課外活動奨励金
 - (86) 課外活動奨励金
 - (87) 課外活動奨励金
 - (88) 課外活動奨励金
 - (89) 課外活動奨励金
 - (90) 課外活動奨励金
 - (91) 課外活動奨励金
 - (92) 課外活動奨励金
 - (93) 課外活動奨励金
 - (94) 課外活動奨励金
 - (95) 課外活動奨励金
 - (96) 課外活動奨励金
 - (97) 課外活動奨励金
 - (98) 課外活動奨励金
 - (99) 課外活動奨励金
 - (100) 課外活動奨励金
 5. 田吉盛教育奨励金「募金」への指定寄付
 - (1) 神奈川大学教育研究奨励助成事業
 - (2) 神奈川大学の学術研究の進展を目的に、専任教員(含む、特任教員、特別助手、特別助教)のうち神奈川大学の学部卒業生及び大学院修了者を対象とした教育研究奨励助成
 - (3) 神奈川大学「神大スポーツ・文化振興奨励金」募金(案内への協力)
 - (4) 学校法人神奈川大学総務部校友課との連携
 - (5) 本会奨励金の給付事業
 - (6) 神奈川大学「神大スポーツ・文化振興奨励金」募金(案内への協力)
 - (7) 学校法人神奈川大学総務部校友課との連携
 - (8) 本会奨励金の給付事業
 - (9) 給付奨励金
 - (10) 給付奨励金
 - (11) 給付奨励金
 - (12) 給付奨励金
 - (13) 給付奨励金
 - (14) 給付奨励金
 - (15) 給付奨励金
 - (16) 給付奨励金
 - (17) 給付奨励金
 - (18) 給付奨励金
 - (19) 給付奨励金
 - (20) 給付奨励金
 - (21) 給付奨励金
 - (22) 給付奨励金
 - (23) 給付奨励金
 - (24) 給付奨励金
 - (25) 給付奨励金
 - (26) 給付奨励金
 - (27) 給付奨励金
 - (28) 給付奨励金
 - (29) 給付奨励金
 - (30) 給付奨励金
 - (31) 給付奨励金
 - (32) 給付奨励金
 - (33) 給付奨励金
 - (34) 給付奨励金
 - (35) 給付奨励金
 - (36) 給付奨励金
 - (37) 給付奨励金
 - (38) 給付奨励金
 - (39) 給付奨励金
 - (40) 給付奨励金
 - (41) 給付奨励金
 - (42) 給付奨励金
 - (43) 給付奨励金
 - (44) 給付奨励金
 - (45) 給付奨励金
 - (46) 給付奨励金
 - (47) 給付奨励金
 - (48) 給付奨励金
 - (49) 給付奨励金
 - (50) 給付奨励金
 - (51) 給付奨励金
 - (52) 給付奨励金
 - (53) 給付奨励金
 - (54) 給付奨励金
 - (55) 給付奨励金
 - (56) 給付奨励金
 - (57) 給付奨励金
 - (58) 給付奨励金
 - (59) 給付奨励金
 - (60) 給付奨励金
 - (61) 給付奨励金
 - (62) 給付奨励金
 - (63) 給付奨励金
 - (64) 給付奨励金
 - (65) 給付奨励金
 - (66) 給付奨励金
 - (67) 給付奨励金
 - (68) 給付奨励金
 - (69) 給付奨励金
 - (70) 給付奨励金
 - (71) 給付奨励金
 - (72) 給付奨励金
 - (73) 給付奨励金
 - (74) 給付奨励金
 - (75) 給付奨励金
 - (76) 給付奨励金
 - (77) 給付奨励金
 - (78) 給付奨励金
 - (79) 給付奨励金
 - (80) 給付奨励金
 - (81) 給付奨励金
 - (82) 給付奨励金
 - (83) 給付奨励金
 - (84) 給付奨励金
 - (85) 給付奨励金
 - (86) 給付奨励金
 - (87) 給付奨励金
 - (88) 給付奨励金
 - (89) 給付奨励金
 - (90) 給付奨励金
 - (91) 給付奨励金
 - (92) 給付奨励金
 - (93) 給付奨励金
 - (94) 給付奨励金
 - (95) 給付奨励金
 - (96) 給付奨励金
 - (97) 給付奨励金
 - (98) 給付奨励金
 - (99) 給付奨励金
 - (100) 給付奨励金

収支予算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科目	2019年度予算額	平成30年度予算額	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 財産運用収入	2,000	2,000	0
② 会費収入	113,690,000	113,890,000	△ 200,000
正会員会費収入	6,090,000	6,090,000	0
準会員会費収入	107,600,000	107,800,000	△ 200,000
③ 奨学金貸付金回収収入	500,000	2,000,000	△ 1,500,000
④ 雑収入	380,000	360,000	20,000
事業活動収入計	114,572,000	116,252,000	△ 1,680,000
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	125,242,000	131,224,000	△ 5,982,000
給料手当支出	8,760,000	8,290,000	470,000
福利厚生費支出	1,500,000	1,500,000	0
会議費支出	1,405,000	855,000	550,000
旅費交通費支出	7,550,000	4,550,000	3,000,000
通信運搬費支出	35,240,000	41,455,000	△ 6,215,000
消耗品費支出	2,252,000	1,652,000	600,000
印刷製本費支出	7,829,000	9,056,000	△ 1,227,000
慶弔費支出	2,100,000	2,120,000	△ 20,000
賃借料支出	246,000	246,000	0
諸謝金支出	600,000	620,000	△ 20,000
支払負担金支出	6,300,000	6,300,000	0
支払助成金支出	12,100,000	12,850,000	△ 750,000
支払寄付金支出	21,000,000	21,000,000	0
給付奨学金支出	14,000,000	17,000,000	△ 3,000,000
委託費支出	4,110,000	3,700,000	410,000
雑支出	250,000	30,000	220,000
② 管理費支出	26,348,000	22,968,000	3,380,000
給料手当支出	8,760,000	8,290,000	470,000
臨時雇用賃金支出	700,000	200,000	500,000
福利厚生費支出	1,500,000	1,500,000	0
会議費支出	2,300,000	1,490,000	810,000
旅費交通費支出	4,750,000	4,200,000	550,000
通信運搬費支出	1,075,000	1,075,000	0
消耗什器備品費支出	200,000	200,000	0
消耗品費支出	690,000	570,000	120,000
印刷製本費支出	1,500,000	1,030,000	470,000
慶弔費支出	1,550,000	1,500,000	50,000
賃借料支出	246,000	246,000	0
保険料支出	400,000	400,000	0
諸謝金支出	300,000	0	300,000
委託費支出	1,962,000	1,962,000	0
雑支出	415,000	305,000	110,000
事業活動支出計	151,590,000	154,192,000	△ 2,602,000
事業活動収支差額	△ 37,018,000	△ 37,940,000	922,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	0	10,000,000	△ 10,000,000
投資活動収入計	0	10,000,000	△ 10,000,000
2. 投資活動支出			
① 80周年記念事業費支出	3,000,000	11,290,000	△ 8,290,000
② 移転費支出	3,000,000	3,000,000	0
③ 神奈川大学100周年積立金	20,000,000	1,000,000	19,000,000
④ 特定資産取得支出	0	400,000	△ 400,000
⑤ 貸付金減少額	500,000	2,000,000	△ 1,500,000
投資活動支出計	26,500,000	17,690,000	8,810,000
投資活動収支差額	△ 26,500,000	△ 7,690,000	△ 18,810,000
III 予備費支出			
予備費支出	194,048,076	257,566,076	△ 63,518,000
当期収支差額	△ 257,566,076	△ 303,196,076	45,630,000
前期繰越収支差額	257,566,076	303,196,076	△ 45,630,000
次期繰越収支差額	0	0	0

- 「神奈川大学創立100周年記念募金」への協力創立100周年(2028年)を迎える神奈川大学への寄付金の積み立て財政基盤の確立
- 会費納入の促進
- 事業の抜本的な見直しをはじめとして、事業・経費の合理化を検討する横浜キャンパス30号館・宮陵会館の運用
- 宮陵会地域組織総会開催時の会議室利用等に関する広報および運用開始
- 土曜日の開室運営体制の確立と広報および運用開始
- 宮陵会ロゴマークの作製の口ゴマを募集(応募締切4月30日)
- 最優秀賞(1点)・副賞5万円、優秀賞(2点)・副賞2万円を決定し、6月の定時総会にて表彰。口ゴマは宮陵会からの発信物等に広く活用予定。

- 本会事務局体制の強化
学校法人神奈川大学総務部
校友課との連携・協力
- 理事會開催状況
●平成30年5月18日(金) 議案
1. 平成29年度事業報告及び決算に関する件
2. 平成30年度補正予算に関する件
3. 代議員定数に関する件
4. 公益目的支出計画 特定寄附における使途内容変更に関する件
5. 一般社団法人神奈川大学宮陵会表彰規程被表彰者推薦基準細則の改定に関する件
6. 表彰規程に基づく被表彰者の決定に関する件
7. 代議員候補者推薦委員会委員の任命に関する件
8. 設立80周年記念事業特別委員会委員の選任に関する件
●平成30年7月13日(金) 議案
1. 一般社団法人神奈川大学宮陵会表彰規程の改正に関する件

- 平成30年9月21日(金) 議案
1. 平成30年度教育研究奨励助成金採用者に関する件
2. 平成30年度教育研究奨励助成金の定数に関する件
3. 一般社団法人神奈川大学宮陵会教育研究奨励助成募集要領の改正に関する件
4. 地域組織再建の承認に関する件
5. 「宮陵会ロゴマーク作製コンペ」の実施に関する件
●平成31年2月2日(土) 議案
1. 2019年度定時総会の開催に関する件
2. 役員候補者推薦委員会委員の任命に関する件
3. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会ブロック会要領」の一部改正に関する件
●平成31年3月2日(土) 議案

- 平成30年6月9日(土) 議案
1. 平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の決算承認の件
- 平成30年4月20日(金) 平成30年4月23日(月) 平成29年度監査

- 平成30年8月29日(水) 浜松バスツアー
- 平成30年4月18日 総務財政委員会
25日 表彰委員会
23日 80周年特別委員会(小史部門)
- 平成30年5月10日 事業委員会
18日 80周年特別委員会(式典部門)
- 平成30年6月4日 80周年特別委員会(式典部門)
- 平成30年7月3日 代議員候補者推薦委員会
4日 管理委員会
6日 広報委員会
26日 女性委員会
13日 代議員候補者推薦委員会

- 平成31年1月16日 80周年特別委員会(小史部門)
- 平成31年2月4日 役員候補者推薦委員会
25日 総務財政委員会
23日 80周年特別委員会(小史部門)
- 平成31年11月12日 事業委員会
22日 80周年特別委員会(小史部門)
- 平成31年5月31日 80周年特別委員会(小史部門)
- 平成31年10月10日 代議員・役員選挙委員会
24日 代議員候補者推薦委員会
24日 80周年特別委員会(小史部門)
- 平成31年9月5日 事業委員会
7日 80周年特別委員会(小史部門)
- 平成31年8月24日 女性委員会
23日 代議員候補者推薦委員会

地域組織総会等開催状況

3月2日	広報委員会
4日	役員選挙管理委員会
12日	役員候補者推薦委員会
18日	80周年特別委員会 (小史部門)
4月14日	瀬谷・泉区総会 港南区総会 岡山県総会 ラグビー部OB会 総会
5月13日	津久井総会 札幌総会 横浜北総会 秦野市総会 苫小牧総会 写真研究部OB会 総会
6月16日	陸上競技部OB会 総会
6月27日	埼玉県総会
17日	京滋総会 学士山岳会総会 箱根町総会 神奈川大学学内 総会
20日	近畿ブロック会 (和歌山)
23日	愛知みやも会総会 大阪府総会 保土ヶ谷・旭区総 会
24日	空手部OB会総会 愛媛県宇和島地区 会
30日	三浦半島総会 茨城県総会 群馬県総会 群馬東毛総会 鳥取伯耆総会
7月7日	兵庫県総会 会計人総会 栃木県総会 南足柄総会
8日	愛媛県大洲・喜 多・八西地区会
10日	宮城県総会 新潟県総会
11月3日	相模原総会 函館総会 青森県総会 レスリング部OB 会
21日	戸塚・栄区総会 山形県庄内地区会
27日	室蘭総会 千葉県総会 神奈川県ブロック 会
29日	奈良県総会 南区総会 西多摩総会 北陸ブロック会 (石川県)
30日	吹奏楽部OB会総 会
7日	三十路総会
13日	岐阜県総会 社労士総会 旭川総会
20日	工学部応用化学科 同窓会
29日	秋田県鹿角地区会 奈良県総会
22日	高知県総会
15日	静岡西部総会 ツク総会
19日	佐賀県総会
26日	自動車工学研究部 OB会総会
9月1日	北海道ブロック会 (北見)
19日	秋田県総会 鳥取因幡総会 大分県総会 クリエイトメイ ック総会
21日	福岡総会
27日	帯広総会
28日	三重県総会 戸塚・栄区総会 ヨット部OB会総 会
8月5日	バスケットボール 部OB会総会
17日	鹿児島県総会 沖縄県総会 卓球部OB会総会 東北ブロック会 (山形県) 四国ブロック会 (徳島県) 九州ブロック会 (北九州)

その他卒業生の集い

平成30年	山梨中央銀行宮陵 会
5月19日	鹿児島県総会
12月1日	神奈川区総会 (島根県)
25日	同学会上海総会 柔道部OB・OG 会総会
2日	マンドリオンアンサ ンプルOB会総会 町田再建総会
16日	香川県総会 平塚市総会 釧路総会 長崎総会 磯子区総会 愛媛県総会 横浜信用金庫総会 茅ヶ崎・寒川総会 筑豊総会
8日	熊本県総会
17日	珊瑚の会総会
23日	岡山県総会
3月5日	川崎市再建総会 川本工業総会
9日	佐世保総会
15日	川崎市再建総会
27日	山梨中央銀行宮陵 会

再建地域組織

●町田宮陵会
●川崎市宮陵会

新地域組織代表者紹介

山形県	吉野 徹 (47電)
新潟県	小熊 正志 (48経)
石川県	山本 正芳 (47法)
千葉県	立花 久稔 (55英)
大阪府	大石 一二 (45法)
兵庫県	和田 志朗 (48貿)
岡山県	山内 富親 (47経)
鳥取伯耆	岩田 文明 (49法)
高知県	成岡 祐輔 (平2法)
同学会	上海 近藤 和徳 (平10機)
町田	古家 秀紀 (38貿)
川崎市	小林 和正 (37機)
高島屋	中村 敏也 (62経)
社労士	渡部健二郎 (56法)
バスケットボール部OB会	高橋三樹夫 (55法)
硬式野球部OB会	熊谷 貞彦 (40経)
自動車工学研究部OB会	的場 亮輔 (平20機)
マンドリオンアンサンプルOB会	那須 晃一郎 (54法)

表彰者

●功勞表彰
●本部関係

37法	宇野 峰雪 (元副会長)
39法	北野 紘一 (元理事)
31経	野村 博一 (故人)
48経	安東 達雄 (元帯広宮陵会会長)
45法	高橋 治人 (元岡山宮陵会会長)
42経	宮川 文隆 (故人)

感謝表彰

●地域組織関係

46経	高尾 雅幸 (元札幌宮陵会事務局 長)
35機	砥上 忠久 (元岐阜県宮陵会会長)
44貿	林 信正 (元山口県(防長)宮陵 会事務局長)

特別表彰

38貿	大橋 寅治郎 (元タイ国日本人会会長・ 泰日協会学校副会長・ タイ日野販売(株)社長 旭日小綬章受章・通商産 業大臣賞受賞)
37法	宇野 峰雪 (元理事・元組織委員長 平成31年1月22日 参与・元副会長)
31貿	伊藤 貞之 (元石川県宮陵会会長 平成31年2月)

計報

謹んでお悔やみ申し上げます

36貿	西條 利夫 (元理事・広報委員長)
17・9商	深川 敬一 (元熊本県宮陵会会長 平成30年12月29日 矢野 達夫 参与・元専務理事・ 元理事・元組織委員長 平成31年1月22日)

本部理事会開催予定

2019年

5月17日(金)	
6月8日(土)	
7月19日(金)	
9月20日(金)	
11月22日(金)	
2020年	
2月1日(土)	
3月7日(土)	
3月28日(土)	予備日

ブロック会開催予定

7月27日(土)	中国ブロック会 (山口県)
7月28日(日)	近畿ブロック会 (兵庫県)
9月7日(土)	北海道ブロック会 (室蘭)
11月16日(土)	東北ブロック会 (岩手県)
	九州・沖縄ブロック会 (沖縄県)

平成30年度 教育研究奨励助成金

所属	職種	氏名	卒年・学科	修了年・研究科専攻	研究課題
電気電子情報工学科	特別助教	渡邊 騎通	平14電	平16工博前 平19工博後	ジョセフソン接合の作製と外部磁界の3次元走査による接合の評価
物質生命化学科	特別助教	齋藤 美和	平17応化	平19工博前 平22工博後	複合金属酸化物を用いた複合アニオン化合物の創製と機能探索



平成30年度

一般社団法人神奈川大学宮陵会給付奨学生

給付奨学生

■第1期

学部	学科	学年	氏名
外国語	中国語	3年	岩下 楓

■第2期

学部	学科	学年	氏名
経営	国際経営	4年	望月 かおり
外国語	国際文化交流	2年	ザルーク・アーミナ
理	生物科	4年	中西 万里
工	機械工	2年	福島 優希

奨学金

大学院給付奨学生

研究科	専攻	課程	学年	氏名
理学	理学	博士前期	2年	松本 悠輔
工学	電気電子情報工学	博士前期	1年	袴田 拓実
工学	電気電子情報工学	博士前期	1年	彦坂 卓哉
工学	電気電子情報工学	博士前期	2年	鐵田 大輔
工学	応用化学	博士前期	1年	厚木 隆裕
工学	応用化学	博士前期	1年	太田 貴之
工学	応用化学	博士前期	1年	松本 知大
工学	応用化学	博士前期	1年	吉田有生乃
工学	応用化学	博士前期	2年	犬飼 将模
工学	経営工学	博士前期	1年	匂坂 航
理学	理学	博士後期	1年	花塚 真史
理学	理学	博士後期	3年	原田 崇司

「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」寄付者ご芳名（敬称略）

平成三十年三月一日〜平成三十一年二月二十八日現在

課外活動団体へのご支援を賜り誠にありがとうございました。
 お受けいたしました寄付金は、ご指定の課外活動団体に回付し活用させていただいております。
 校友の皆さまのご厚情に心より感謝申し上げます。

●アーチェリー部
 合計一件 一万円
 川西 栄一 昭和34賀

●合気道部
 合計二件 二万五千元
 鈴木 正憲 昭和46経
 匿名 一件

●アメリカンフットボール部
 合計十三件
 二百四十四万一千円
 神奈川大学アメリカンフット
 ボール部OB会

安達 勝之 昭和59機修
 桑田 明孝 昭和58経
 近藤 正教 平成5短商
 坂本富士見 平成元応化

佐藤 信博 平成元建
 清水 玄 昭和59法
 外山 昌宏 昭和59工経
 万谷 哲 昭和60電
 山田 健太 平成17経
 輪島 章司 平成元電
 匿名 二件

●空手道部

合計四件 一万八千元
 大河内博夫 昭和57法
 大田 和哉 平成30自治
 山品 武 昭和31電
 匿名 一件

●弓道部

合計六件 四万一千円
 岡田 孝 昭和44経
 後藤 宣晴 昭和54経
 戸ヶ崎 実 昭和37電
 中村 真人 昭和46工経

松坂 宏昭 昭和59賀
 匿名 一件

●剣道部

合計八件 四万四千元
 加藤 岩雄 昭和38経
 近藤 一 昭和47賀
 齋藤 浩司 昭和60経
 齋藤 学 平成23国経
 高本 康平 平成20電
 登坂 重治 昭和29電
 山根 正巳 昭和50法
 和田 好彦 昭和44工経

●硬式庭球部

合計四件 二万三千元
 熱海 一男 昭和41機
 岡田 勲 昭和42経
 木村 豊 昭和41経
 高田 和明 昭和49機



●硬式野球部

合計四十件
 二十六万八千元
 安達 勝之 昭和59機修

荒瀬 康雄 昭和47英
 石原 教臣 昭和41法
 井手 国男 昭和34電
 今野 昭 昭和38経
 今福 宏和 平成2法
 大門 悟朗 昭和31電
 岡田 光一 昭和49応化
 小川 稔 昭和45応化

川崎太三郎 昭和36法
 川畑 克弘 昭和58法
 小林 照夫 昭和31経
 近藤 範夫 昭和38経
 今野 紀 昭和32電
 坂本富士見 平成元応化
 穴戸 昭博 昭和57経
 芝田 正夫 昭和46応化
 杉山 久一 昭和42法
 鈴木 盛夫 昭和47電
 関川 広男 昭和47法
 曾根 貴之 昭和60経
 高瀬 裕一 昭和61機
 高橋 弘 昭和29経
 戸田 利治 昭和40経
 西原 寿久 昭和37経
 西森 義博 昭和44英
 古尾谷利雄 昭和33経
 松尾 孝 昭和46工経
 松田 正 昭和46経
 間中 晟 昭和44経
 丸山 潤治 昭和48経
 峰尾 文男 昭和35経
 村田 龍也 昭和39経
 矢島 肇 昭和29賀
 匿名 六件

●ゴルフ部
 合計八件 四万一千円
 新井 好幸 昭和31経
 石井 忠 昭和38工経

岩井 昭一 昭和46短商
 菅野富士雄 昭和43法
 鈴木 盛夫 昭和47電
 西山 美一 昭和56経
 松崎 孝一 昭和50経
 匿名 一件

●サッカー部
 合計十五件 十四万八千元
 五百川尚彦 平成6法
 岡本 祥子 昭和46賀
 椛島 悠之 昭和39経
 桑形 貴明 平成17西
 小泉 敏男 昭和42法
 小林美智子 昭和57経
 芝田 正夫 昭和46応化
 庄野 二六 昭和39経
 高橋 弘 昭和29経
 平井 延佳 平成7応生
 宮嶋 和彰 昭和38工経
 匿名 四件

●女子サッカー部
 合計二十五件
 二十一万四千元
 神奈川大学津久井宮陵会
 五百川尚彦 平成6法
 大竹 良一 昭和34経
 荻野 聰 昭和43法
 亀山 修一 昭和50英
 椛島 悠之 昭和39経
 小林 和正 昭和37機
 柴田 一喜 昭和50法
 芝田 正夫 昭和46応化
 関川 広男 昭和47法
 高橋 弘 昭和29経
 長谷 好美 平成28国経
 中村 那詮 昭和33賀
 橋本 裕之 昭和56経

平井 延佳 平成7応生
 宮嶋 和彰 昭和38工経
 森 正美 平成元法
 山本 哲行 昭和35電
 湯口 篤幸 昭和36賀
 吉田 一恵 昭和32機
 匿名 五件

鈴木 邦次 昭和46電
 鈴木 忠仁 平成9国経
 中野 洋一 昭和40機
 西田 立 昭和35経
 野口 浩資 昭和49電
 林 敏男 昭和61機
 本田 廣幸 特別会員
 前田 利雄 昭和44法
 松田 正 昭和46経
 宮嶋 和彰 昭和38工経
 山上 昭道 昭和36賀
 山田 慎吾 平成8国経
 米内山公太 平成19国経
 渡邊 悟 平成23法
 匿名 一件

●山岳部
 合計二十九件
 百二十万八千五百円
 神奈川大学学土山岳会
 神奈川大学G&G計画委員会
 神奈川大学ヒマラヤ委員会
 石井 正幸 昭和49応化
 一色 全央 昭和45経
 小笠原辰夫 昭和52経
 落合 正治 昭和46経
 小野 一忠 昭和42経
 金子 惇信 昭和38機
 北井 巖 昭和35経
 木野 晋良 昭和36賀
 西條 豊明 昭和45機
 柴田 直樹 昭和46機
 白銀 正幸 昭和46経



郷之丸英教 昭和40経
 近藤 範夫 昭和38経
 立神 邦晴 昭和43応化
 橋本 裕之 昭和56経
 藤井 和政 昭和53機
 真島 正夫 昭和34法
 松田 正 昭和46経
 間中 晟 昭和44経
 三島 千明 昭和46賀
 宮嶋 和彰 昭和38工経
 向出 茂 昭和31賀

●柔道部
 合計七件 三万三千元
 工藤 重治 昭和28経
 比那 純 昭和44英
 古角 大樹 平成12国経
 宮嶋 和彰 昭和38工経
 門真大三郎 昭和37経
 匿名 二件

●準硬式野球部
 合計二件 一万一千円
 飯尾 松男 昭和45経
 宮嶋 和彰 昭和38工経

●水泳部
 合計十八件 十二万四千元
 神奈川大学鳥取因幡宮陵会
 岡 一雄 昭和39賀
 奥村 伴也 昭和23電
 奥山 勇 昭和30経
 狩野 七郎 平成22経博前
 川畑 克弘 昭和58法
 木村 豊 昭和41経

●体操部
 合計二件 八千元
 小宮 国男 昭和43電
 鳥羽 良武 昭和48経

●卓球部
 合計七件 六万円
 池本 幸雄 昭和51経
 一戸 英輔 昭和36賀
 河田 郁夫 昭和42経
 照井 寿雄 昭和57経
 松村 嘉之 昭和40賀
 村井 征一 昭和43経
 米原 宏 昭和42経

・課外活動団体毎に、ご芳名を五十音順に掲載いたしました。
 ・ご芳名の公表を希望されていない方については掲載しておりません。
 ・期間内にお申し込み、ご入金の確認ができました皆さまを掲載いたしました。
 ・金融機関の処理事情等により確認が遅れた場合は、本誌次号の掲載となりますのでご了承ください。

●トライアスロン部

- 合計四件 三万五千元
神奈川大学香川県宮陵会
伊藤 秀明 昭和57経
高師健太郎 平成22法
本多 寛 平成3法

●軟式庭球部

- 合計十件 八万一千円
神奈川大学秋田県宮陵会鹿角会
石川伸一郎 昭和38機
陸井 隆夫 昭和41経
小島 重藏 昭和43賀
鈴木 雄誠 昭和49英
高田 利通 昭和51経
津田 純一 昭和48経
鶴田 英雄 昭和36工経
中谷 貞夫 昭和34経
匿名 一件

●軟式野球部

- 合計一件 一万円
川間 公雄 昭和57経

●男子バスケットボール部

- 合計十八件 十七万五千元
神奈川大学千葉県宮陵会
阿蘇 司朗 昭和31電
飯澤 莊平 昭和51法
伊藤 祐貴 平成28経
稲岡 俊浩 平成9賀
今寺 六蔵 昭和31経
打田 一夫 昭和48電
鴨志田守功 昭和38機
菅野 賢一 昭和43経
細野 政弘 昭和39経
塩塚 定雄 昭和48賀
篠原 孝範 昭和46電
西脇 幸二 昭和53賀
平出 功 平成13化博前
間中 晟 昭和44経
森 由彦 昭和53賀
吉村 芳雄 昭和38機
匿名 一件

●女子バスケットボール部

- 合計九件 六万六千元

●男子ラグロクロス部

- 合計二件 一万円
平出 功 平成13化博前
三好 大輔 平成28経

●女子ラグロクロス部

- 合計一件 一万円
河村 隆之 平成5経
平出 功 平成13化博前

●バドミントン部

- 合計四件 二万一千円
坂田 慎也 平成8経
松崎 孝一 昭和50経
匿名 二件

●女子バレーボール部

- 合計四件 二万一千円
伊藤 啓三 昭和36電
岩本 義重 昭和52法
藤井 和政 昭和53機
向出 茂 昭和31賀

●ボウリング部

- 合計三件 三万五千元
井草 有史 平成19自治
祝原 明 昭和49機
黒田 勲 昭和39経

●ポテイル部

- 合計二件 五万円
木谷 健一 昭和47経
小磯 幸芳 昭和51経

●ヨット部

- 合計四件 四万五千元
狩野 七郎 平成22経博前
廣川 忠治 昭和52経
匿名 二件

●ラグビー部

- 合計五件 四万五千元
佐藤 公平 平成28経
更谷 欣之 平成2法
真下 研達 昭和27経
山内 國昭 昭和39工経
吉野 敬造 昭和50法



●陸上競技部

- 合計三百六十二件
三百九十九万五千九百十円
神奈川大学茨城県宮陵会
神奈川大学千葉県宮陵会
神奈川大学津久井宮陵会
神奈川大学戸塚・栄区宮陵会
神奈川大学宮崎県宮陵会
神奈川大学和歌山県宮陵会
神奈川大学高島屋宮陵会
北越銀行宮陵会
神奈川大学電気三四会
神奈川大学陸上競技部OB会
相田 晃輔 昭和60経
青木 一雄 昭和46経
青木 賢三 昭和51経
赤津 敏彦 昭和43経
浅野 博之 昭和43賀
阿蘇 司朗 昭和31電
安達 勝之 昭和59機修
熱海 一男 昭和41機
天野 和彦 昭和41経
新井 好幸 昭和31経

●男子ラグロクロス部

- 荒瀬 康雄 昭和47英
荒家 高志 昭和41経
飯田 秀男 昭和24経
五百川尚彦 平成6法
石井 忠 昭和38工経
石井 正幸 昭和49応化
石川 裕治 昭和42電
石塚慎一郎 平成4機
石原 教臣 昭和41法
石原 稔 昭和53経
井手 国男 昭和34電
伊藤 薫 昭和54法
伊藤 隆夫 昭和36賀
伊藤 紀男 昭和40経
伊藤 久 昭和35経
伊藤 雄二 昭和24経
井上 恵博 昭和36経
井口 淳 昭和62機
今泉 勝彦 平成10経
今西 正和 昭和57法
今野 宏 昭和38経
今福 昭和 平成2法
井本 昭雄 昭和42賀
岩城 知一 昭和57法
岩崎 知一 昭和35機
植木 清明 昭和40経
白井 清 昭和38機
白井 齊 昭和24電
宇高 照季 昭和34賀
内田 靖夫 昭和54法
内村 博隆 昭和50建
梅岡栄二郎 昭和37経
江坂 美香 昭和63経
江崎 信明 昭和38経
大石 光利 昭和48法
大門 悟朗 昭和31電
大川 雄作 昭和48電
大島 治 昭和33経
大竹 良一 昭和34経
大根 幸成 平成3法
大森 敏彦 昭和26経
大森 郁子 昭和48法
大森 孝七 昭和48法
岡田 光一 昭和49応化
岡田 哲雄 昭和48経
岡部 政都 昭和32機
小川 稔 昭和45応化
荻野 聰 昭和43法

●男子ラグロクロス部

- 小田 龍夫 昭和29電
小野里祐治 昭和49機
小畑 清嗣 昭和34経
小畑 雅史 昭和44工経
尾松 英夫 昭和48法
河西 健三 昭和42経
笠原 房男 昭和45賀
風間 光雄 昭和45賀
勝川 哲男 昭和43経
加藤 裕幸 昭和41法
下保 元二 昭和33機
神谷 繁 昭和47賀
狩野 七郎 平成22経博前
川内 文夫 昭和42経
川口 好孝 昭和44経
川崎太三郎 昭和36法
川崎 常治 昭和41機
川崎 義昭 昭和51経
川崎 健治 昭和49機
川島 博道 昭和34法
川村 澄人 平成10経
川本 健次 昭和61応化
菅野 賢一 昭和43経
神農 安雄 昭和37経
岩竹 尉 昭和43賀
菊池 辰郎 昭和35賀
菊池 雄吉 昭和50経
菊池 正夫 昭和37経
北原 正夫 昭和36経
木下 知明 昭和39応化
木村 紀一 昭和45法
木村 朋之 昭和46機
木村 信芳 昭和41経
木村 豊 昭和51賀
工藤 博臣 昭和46電
工藤 豊 昭和46電
黒江 忠幸 昭和34経
黒川 誠 平成2経
黒川 正浩 昭和54法
黒川 正幸 昭和31電
黒飛 勝幸 昭和51経
桑原 紀生 昭和43賀
源馬 幹一 昭和43賀
小池 文彦 昭和54経
小泉 敏男 昭和42法
河野 智 平成5経
幸本 憲昭 昭和44経
後藤 文彦 昭和39賀
小林 一雄 昭和37法

●男子ラグロクロス部

- 小林 伸年 昭和51電
小林 吉雄 昭和60経
小侯 圭司 昭和36法
五味 稔 昭和54経
小宮 国男 昭和43電
小室 正弘 昭和58法
近藤 範夫 昭和38経
近藤 真伸 平成16法
近藤 正教 平成5短商
西條 豊明 昭和45機
三枝 正三 昭和45法
齊藤 孟 昭和34電
坂井 信雄 昭和51応化
坂本富士見 平成元応化
佐々木洋三 昭和33経
佐藤 信一 平成11機
佐藤 節夫 昭和43経
澤田 博夫 昭和41賀
椎橋喜代司 昭和46経
柴田 昭博 昭和57経
柴田 修 昭和53賀
芝田 正夫 昭和46応化
柴田 正信 昭和49経
下川 尚伸 昭和43経
菅原 一郎 昭和19電
菅原 功 昭和31経
菅原 靖浩 昭和39工経
杉浦 律夫 昭和41工経
杉山 久一 昭和42法
鈴木 繁男 昭和40電
鈴木 忠仁 平成9国経
鈴木 龍男 昭和39電
鈴木 宏 昭和29経
鈴木 文臣 昭和50電
鈴木 盛夫 昭和47電
鈴木 正利 昭和37機
須藤 和男 昭和45法
住野真由美 平成14英
清 瑞奈 平成29法
関合 鎮禎 昭和39経
関合 正幸 昭和39経
野田 忠典 昭和49経
野田 浩 昭和41機
野中 義美 昭和33短電
橋本 裕之 昭和56経
長谷川 巖 昭和36経

花上 薫 昭和23電
 浜上 尚 昭和37工経
 早川 哲雄 昭和42法
 林 清一郎 昭和48法
 原田 栄夫 昭和41工経
 樋田 忠義 昭和33経
 日照田信雄 昭和31電
 平山 武 昭和39買
 蛭田 修二 昭和46建
 廣川 三郎 昭和23経
 廣幡 宗俊 昭和49経
 深澤 大志 平成12応化
 深山 嘉伸 昭和41応化
 福井 友春 昭和34経
 福尾 和雄 昭和29短商
 福島 経夫 昭和32経
 福田 裕 昭和48機
 福田 陽一 昭和56買
 福山 泉 昭和61西
 藤井 和政 昭和53機
 藤原 茂志 平成元電
 古井 弘志 昭和51買
 古尾谷利雄 昭和33経
 古川 岳男 昭和62法
 古木 喜雅 昭和61電
 古谷 正治 昭和54法
 古屋 和枝 昭和61買
 古谷 正吉 昭和47買
 堀内 明義 昭和58法
 本多 寛 平成3法
 前田 達夫 昭和22経
 真下 研達 昭和27経
 松島 博文 昭和38電
 松永 高子 昭和45英
 松野 剛 昭和41買
 松野 功行 昭和61機
 松日榮英世 昭和35買
 松本 勇 昭和40買
 松本 豊馬 昭和38買
 松本 教昭 昭和39買
 松本 正彰 昭和39買
 間中 晟 昭和44経
 丸山 潤治 昭和48経
 満足 篤美 昭和40経
 水迫 順一 昭和38買
 光村 太一 平成11国経
 峰尾 文男 昭和35経

宮沢 丈夫 昭和24機
 宮田 東 昭和52買
 向出 茂 昭和31買
 武藤 信一 昭和57経
 村井 征一 昭和43経
 村上 一夫 昭和46経
 村上 朋正 昭和31経
 村瀬 恒雄 昭和53買
 村田 龍也 昭和39経
 目黒 英昭 昭和37経
 百瀬 俊彦 平成28自治
 森脇 晟 昭和44経
 矢島 肇 昭和29買
 安田 政夫 昭和30短商
 安永 肇 昭和42経
 谷内 登一 昭和34経
 山岸 敬明 昭和41買
 山口 浩一 昭和42経
 山口 敏郎 昭和59経
 山崎 昌治 昭和38機
 山下 景次 昭和37買
 山品 武 昭和31電
 山田 房康 昭和48買
 山田 賢 昭和41経
 山本 久男 昭和34経
 横川 貴幸 平成8経
 横山 孝二 昭和56経
 横山 知巳 昭和20機
 横山 盛雄 昭和49機
 横山 信能 昭和47法
 吉田 一憲 昭和32機
 吉田 敬一 昭和59工経
 吉田 曠二 昭和36機
 吉村 一男 昭和44経
 吉村 芳雄 昭和38機
 米木 稔 昭和45法
 若林 秀明 昭和39経
 若林 義人 平成17経工
 脇坂 武浩 昭和59機
 和田 好彰 昭和44工経
 渡辺 完世 昭和45経
 渡邊 紀久 昭和60買
 渡辺 益夫 昭和31経
 匿名 六十四件

井野 裕 昭和46電
 北野 紘一 昭和39法
 後藤 常次 昭和23機
 西森 義博 昭和44英
 匿名 一件

●レスリング部
 合計五件 七万三千元



杉山 久一 昭和42法
 森山 郁夫 昭和51経
 安元 武史 昭和60法
 匿名 二件

●管弦楽団
 合計四件 三万七千元

清水 武次 昭和40機
 西森 義博 昭和44英
 松野 剛 昭和41買
 匿名 一件

●混声合唱団クルアンジェ
 合計四件 三万二千元

小田 隆司 昭和48建
 船越 勝衛 昭和32経
 匿名 二件

●サイクリング愛好会
 合計一件 一万三千元

金澤 優太 平成25法

●茶道研究部
 合計二件 六千元

桂川 幹司 昭和42経
 望月 和良 昭和43機
 矢野喜一郎 昭和55買
 匿名 二件

●Run3
 合計一件 二千元

清 瑞奈 平成29法

●ウインドサーフィン部
 合計二件 二万円

久家 誠司 昭和57応化
 高村 伸司 昭和61買

●アドベンチャークラブ
 合計一件 一万円

橋本 晃邦 昭和54電修

●カレッジ・サウンズ・オーケストラ
 合計六件 三万六千元

伊藤 正幸 昭和43工経

今西 正和 昭和57法
 植木 清明 昭和40経
 桂川 幹司 昭和42経
 鈴木 健史 昭和55法
 松崎 孝一 昭和50経
 匿名 一件

●吹奏楽部
 合計十七件 十四万五千元

伊藤 正幸 昭和43工経
 狩野 七郎 平成22経博前
 今田 正紀 平成16経博前
 近藤 範夫 昭和38経
 芝田 正夫 昭和46応化
 高本 康平 平成20電
 手塚 勝美 昭和42法
 中野 健一 昭和45経
 西森 義博 昭和44英
 早川 正人 昭和53応修
 原 政宏 昭和45経
 肥田 俊明 昭和43経
 前田 益生 昭和40短商
 松本 豊馬 昭和38買
 吉川 崇 昭和42経
 匿名 二件

●写真研究部
 合計三件 四万円

合澤 正純 昭和48経
 千葉 陽史 昭和59経
 服部 晃典 昭和56経

●将棋部
 合計三件 一万八千元

大和田芳朗 昭和49電修
 谷原明日香 平成24経
 野田 忠典 昭和49経

●書道部
 合計一件 五千元

益田 和典 平成4法

●神大フェスタ実行委員会
 合計七件 五万一千元

☆OG会
 神大フェスタ実行委員会OB

今西 正和 昭和57法
 植木 清明 昭和40経
 井草 有史 平成19自治
 榊島 肇 昭和53法
 匿名 一件

●ワンダーフォーゲル部
 合計三件 十万七千元

岩本 義重 昭和52法
 木原 啓一 昭和55法

●国際交流サークルABC
 合計一件 五千元

益子 良一 昭和47法

●法律家のたまご
 合計一件 五千元

益子 良一 昭和47法

●平塚祭実行委員会
 合計一件 一千元

匿名 一件

●スペシャルオリンピックス
 サポートチーム
 合計二件 一万二千元

岩本 義重 昭和52法
 近藤 範夫 昭和38経

●英語研究部(E.S.S)
 合計九件 四万四千元

伊藤 紀男 昭和40経
 工藤 英明 昭和38買
 近藤 範夫 昭和38経
 戸田 利治 昭和40経
 福田 辰也 昭和43買
 松本 正彦 昭和39買
 安永 肇 昭和42経
 匿名 二件

●会計学研究部
 合計三件 一万六千元

狩野 七郎 平成22経博前
 今田 正紀 平成16経博前

中島 祐生 平成2経
 匿名 一件

●私法研究部
 合計三件 一万八千元

足立 良介 平成15法
 森下 正勝 平成19法

●航空工学研究部
 合計二件 四千元

中川 良光 昭和32電
 望月 和良 昭和43機

●自動車工学研究部
 合計二件 五千元

浅間誉志夫 昭和53応化
 匿名 一件

●内燃機関研究部
 合計四件 一万九千元

福田 裕 昭和48機
 本田 進 昭和48機
 吉田 曠二 昭和36機
 匿名 一件

●宇宙ロケット部
 合計三件 一万五千元

中川 良光 昭和32電
 匿名 二件



◎総合合計 九百四十五万二千四百十円(七百三十六件)

「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」募集要領

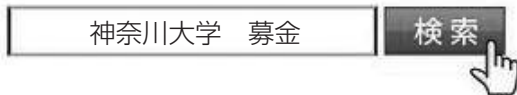
- (1) 募金対象者 本学教職員、卒業生、在学生のご父母、一般、法人・団体等
- (2) 募金額 1口 1,000円 (1団体1口以上1,000円単位)
※賛助する課外活動団体を指定していただきます。
- (3) 申込方法 ①②いずれかの方法でお申し込みください。

①インターネットを利用

神奈川大学公式ホームページにアクセスしてください。
https://www.kanagawa-u.ac.jp/



(スマートフォン、タブレット対応)



〈決済方法〉

クレジットカード、インターネットバンキング (Pay-easy) が利用可能です。

〈クレジットカード決済〉

下記はご利用可能なクレジットカードです。



〈Pay-easy決済〉

インターネットバンキングまたはATMでお振り込みいただけます。



②専用払込取扱票を利用

神奈川大学総務部募金課までご連絡ください。郵送させていただきます。

課外活動団体一覧表

2019年3月現在

番号	体育会	30	バドミントン部	54	管弦楽団	84	IVUSA
1	アーチェリー部	31	バレーボール部	55	ギターアンサンブル部	85	映像研究会
2	合気道部	32	女子バレーボール部	56	混声合唱団クール・アンジェ	87	N.M.K
3	アメリカンフットボール部	33	ハンドボール部	57	GLOBAL☆YEN☆LEAP	89	劇団はこぶね
5	空手道部	34	平塚軟式野球部	58	Cromlech	90	現代視覚文化研究会DESIRE
6	弓道部	35	ボクシング部	59	軽音楽部	91	作画研究会
7	剣道部	36	ボディビル部	61	サイクリング愛好会	92	ジャーナリズム文学研究会
8	硬式庭球部	37	ヨット部	62	茶道研究部	93	手話サークル303
9	硬式野球部	38	ラグビー部	63	写真研究部	94	神大ルーデンス
10	ゴルフ部	39	男子ラグロス部	64	JAZZ研究会	95	フォークス
11	サッカー部	40	女子ラグロス部	65	ジャズ研究所	102	国際交流サークルABC
12	女子サッカー部	41	陸上競技部	66	将棋部	104	法律家のたまご
13	山岳部	42	レスリング部	67	書道部	110	K.A.S
14	柔道部	114	チアリーディング部	68	神大フェスタ実行委員会	111	アカペラサークルJACK
15	準硬式野球部	番号	スポーツ系	69	吹奏楽部	113	平塚祭実行委員会
17	水泳部	43	シャトルズ	70	鉄道研究部	115	KUキャンパス
18	スキー部	44	体同連J.F.C	71	美術研究部	116	スペシャルオリンピックスサポートチーム
19	スケート部アイスホッケー部門	45	湘弓Hand's	72	舞踏研究部	番号	学術系
20	スケート部スピード部門	46	FLAT	73	文藝部	97	英語研究部(E.S.S)
21	スノーボード部	47	メインコート	74	放送研究会KBAS	98	会計学研究部
22	体操部	48	U.V.T.H	75	ポピュラー音楽部	99	私法研究部
23	卓球部	49	Run.3♪	76	漫画・イラスト研究サークル	101	横浜蒼碧法律会
24	テコンドー部	50	el-golazo	77	漫画研究部	番号	工学系
25	トライアスロン部	112	ウインドサーフィン部	78	マンドリン・アンサンブル	105	航空工学研究部
26	軟式庭球部	番号	文化系	79	演劇部M.A.P.	106	自動車工学研究部
27	軟式野球部	51	アドベンチャークラブ	81	ロスガトス	107	内燃機関研究部
28	男子バスケットボール部	52	囲碁部	82	ロックス	108	メカニカルデザイン部
29	女子バスケットボール部	53	カレッチ・サウンズ・オーケストラ	83	ワンダーフォーゲル部	117	宇宙ロケット部

◆お知らせ◆
2018年6月から新しく2団体が課外活動団体に認定されました。
・スペシャルオリンピックスサポートチーム
・宇宙ロケット部
次の団体は廃部になりました。ご支援をありがとうございました。
・劇団「河原乞食」
・Dr. Grip
次の団体は休部中です。
・CLAPPER

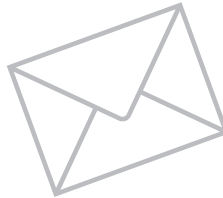
◆大学公式ホームページに課外活動団体の紹介及び活動内容をご案内しています。 <https://www.kanagawa-u.ac.jp/>

トップ画面 ≫ キャンパスライフ ≫ 課外活動

【お問い合わせ先】
学校法人神奈川大学総務部募金課
TEL.045-481-5661 (内線2155) FAX.045-481-2741
E-mail bokin-jml@kanagawa-u.ac.jp

地域組織だより

- 筑豊総会
北九州総会
佐賀県総会
長崎県総会
佐世保総会
熊本県総会
熊本県慶祝会
大分県総会
宮崎県総会
鹿児島総会
鹿儿島県総会
沖縄県総会
同学会上海総会
磯子区総会
神奈川区総会
南区総会
南区総会
土ヶ谷・旭区総会
戸塚・栄区総会
横浜北総会
瀬谷・東区総会
港南区総会
町田南総会
相模原総会
秦野市総会
箱根町総会
平塚市総会
西多摩総会
南足柄総会
三浦半島総会
津久井総会
茅ヶ崎・寒川総会
川崎市再建総会
神奈川大学内総会
川本工業総会
横浜信用金庫総会
高尾屋総会
クリエートメディアック総会
会計人総会
社労士総会
三井物産総会
珊瑚の会総会
工学部応用化学科・物質生命化学科同窓会総会
ボクシング部OB会総会
陸上競技部OB会総会
バスケットボール部OB会総会
空手部OB会総会
柔道部OB・OG会総会
レスリング部OB会総会
ラグビー部OB会総会
卓球部OB会(卓友会)総会
ヨット部OB会総会
学士山岳会総会
硬式野球部OB会総会
写真研究部OB会総会
吹奏楽部OB会総会
自動車工学研究会OB会総会
マンドリンアンサンブルOB会総会



- ① 大学・宮陵会からの出席者
- ② 開催場所
- ③ 参加人数
- ④ 開催コメント
- ⑤ 活動(年間予定)
- ⑥ 次年度総会開催予定
- ⑦ 役員の交代

※組織名称の神奈川大学・宮陵会は省略致しました。
※紙面の関係上、報告書内容を一部編集しております。

北海道ブロック会(北見)

平成30年9月1日(土)

- ① 理事長 牧内 良平
- 秘書室長 馬場 忠志
- 副会長 会田 彰



④ 当日は北見宮陵会の定時総会開催後、北海道内7地域の宮陵会が一堂に会し、第21回北海道ブロック会議を開催いたしました。牧内理事長及び会田副会長から、それぞれの近況報告と将来構想等について話がありました。大学は本年創立90周年を迎え、創立者の建学精神と教育理念のもと、創立100周年に向けた、みなとみらいキャンパスの建設やグローバルな教育を推進することであった。宮陵会も昨年創立80周年を迎え、6月には大学キャンパスで記念式典が挙行されており、来年3月には会員希望の会館が竣工することとであった。各宮陵会から現況報告に続き、HPのスマホ対応などの質疑応答がされた。記念講演では、元冬季五輪カーリング代表選手から「カーリングと私」を演題

- ① 学長 兼子 良夫
- 学長室長 新倉 一禎
- 会長 大場 憲治
- 専務理事 平能 孝一
- 山形国際ホテル
- 69名東北ブロック
- 35名東北総会
- 県内4地区から35名の参加を得、県宮陵会設立50周年記念式典及び東北ブロック会議も併せて開催し、総勢69名、大学からは地元山形県出身の兼子良夫学長、宮陵会からは大場憲治会長のご出席を頂き、東北各県からも多数参加され

東北ブロック会(山形県)

平成30年11月17日(土)

に講話を頂いた。懇親会では現在の大学構内を撮影したスライドを観覧し、校舎などの変遷に思いを寄せたところである。その後、二次会を含め大いに親睦を深めることができた。



- ⑤ 盛大な会となりました。終了後の懇親会も同窓生リーダーのバンド演奏や山形舞子の祝舞等、半世紀を祝う会となりました。
- ⑥ 次年度平成31年度は吉野徹新会長の下、会計年度も4月1日～3月31日とした事から5月18日(土)に予定しております。
- ⑦ 2019年6月30日開催予定
- ⑧ 新会長 吉野 徹
- ⑨ 新事務局長 相田 晃輔

北陸ブロック会(石川県)

平成30年10月6日(土)

- ① 理事長付審議役 花嶋とみ子
- スポーツセンター
- スポーツ戦略室長 勝又 章好
- 副会長 間中 晟
- 35名
- 第22回神奈川大学宮陵会北陸ブロック会には富山・福井の会員も迎え開催。北陸ブロック会議、石川県宮陵会定期総会のと来賓挨拶があり、大学・宮陵会の現況について伺いました。その後スポーツ



- ⑤ 戦略室長勝又章好氏より神大スポーツの現状と戦略について話を聞き懇親会では会員同士の親睦を深めました。
- ⑥ 正月3日 箱根駅伝テレビ観戦会 当地での保護者説明懇談会への参加
- ⑦ 石川県宮陵会総会
- ⑧ 年末役員会・懇親会の開催
- ⑨ 2019年7月20日(土)開催予定
- ⑩ 新会長 山本 正芳
- ⑪ 新事務局長 長戸 実

近畿ブロック会(和歌山県)

平成30年6月23日(土)

- ① 常務理事 小林 孝吉
- スポーツセンター
- スポーツ戦略室長 勝又 章好
- 副会長 会田 彰
- 専務理事 佐藤 武
- ホテルグランヴィア和歌山
- 51名(ブロック会) 22名(総会)
- 本年度は近畿ブロック会と同時開催のため和歌山県宮陵会総会は30分と時間も短縮して来賓挨拶も省略させていただきます。森川会長もブロック会議開催のため、簡



単な挨拶をして席を離れ、浦副会長が代わりに代行致しました。宮陵会発展、存続のため縦に広い和歌山県下、とりわけ南地区の会員の動員・活動計画が急務との認識の基、プランを発表しました。引き続き、木下幹事長より会計報告がなされ満場一致で承認されました。本年度事業計画報告の後、役員改正に移り、すべての現役員の再任が満場一致で承認され、引き続き森川会長体制で行うことになりました。

その後、総員51名様ご出席の近畿ブロック会が開催され、ご来賓として大学より小林常務理事、宮陵会より会田副会長にお越しいただき、大学の近況報告、みなとみらいキャンパスの進展状況や宮陵会の現状と今後の課題などが述べられました。

次に記念講演としてスポーツ戦略室長勝又章好様から「神大スポーツの現状と戦略について」の演題でお話いただき、力強い意気込みを感じて今後の神大スポーツの活



中国ブロック会(鳥根県)
平成30年11月24日(土)

- ① 理事長 牧内 良平
秘書室 胡麻 史奈
副会長 春原正三郎
- ② 松江ニューアーバンホテル
30名
- ③ 今回は中国ブロック会議と鳥根県宮陵会総会を合同で開催
※若年層の卒業生の参加をどうするか ※神奈川大学創立100周年
- ④ 2019年6月22日(土)開催決定
- ⑤ 2019年6月22日(土)新年会予定
- ⑥ 4月 懇親ゴルフ大会

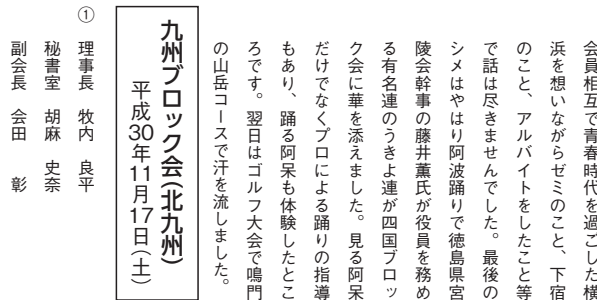
躍が期待されることを確信致しました。
その後、懇親会に移り、沢山の参加を頂いた大阪府宮陵会(15名様・同時総会開催)始め、兵庫県・京滋・奈良県の各宮陵会からもご参加いただき、和やかな雰囲気の中に近畿ブロック会も終了致しました。
H30年度 活動計画
9月・10月 会報発行
10月 懇親ゴルフ大会
H31年 2月2日(土)新年会予定
4月 懇親ゴルフ大会



四国ブロック会(徳島県)
平成30年11月17日(土)

- ① 理事長付審議役 勇 真一郎
工学部建築学科教授 荘本 孝久
副会長 春原正三郎
理事 内藤 正久
- ② グランドパレス徳島
43名
- ③ 平成30年11月17日(土)徳島駅前のホテルグランドパレスで4県持ち回りの四国ブロック会が開催されました。担当する県宮陵会は毎回独自の趣向を凝らし、ご当地の特色を生かしたブロック会になる
- ④ 秋の出雲駅伝への神大の参加を信じて、応援体制の充実をしていくことを確認

年記念募金への協力要請。神大中国五県の方との懇親会を開催。
(元)松江郷土歴史館長の安部登様より松江城が国定に指定されたのは神奈川大学教授(の故)西和夫様の尽力が多であったとの講演がありました。
秋の出雲駅伝への神大の参加を信じて、応援体制の充実をしていくことを確認



九州ブロック会(北九州)
平成30年11月17日(土)

- ① 理事長 牧内 良平
秘書室 胡麻 史奈
副会長 会田 彰

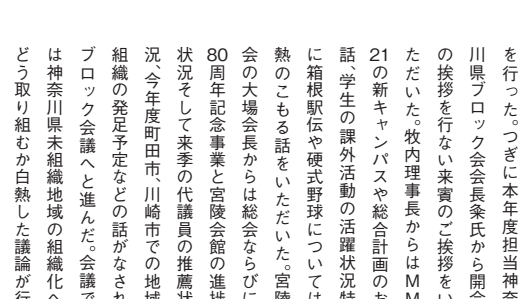
ような努力をしております。43名が参加し大学来賓の勇審議役、宮陵会本部来賓の春原副会長の挨拶及び近況報告に耳を傾けました。みなとみらいキャンパス新設との概要は地方にいる我々にとって新鮮で興味ある話でありました。特にみなとみらいキャンパスは工事が既に着工されており2021年4月開校と目前に迫っております。宮陵会会員として微力ですが、させていただきます。少しも役立てるよう参加者全員が意を新たにしたいところです。
さて、各県会長による現況報告の後に次回2019年は愛媛県で開催と決まりました。引き続き在任孝久工学部教授による講演が行われました。「西日本を襲う大規模災害に対する心構え」というテーマで四国地域が抱える南海トラフと中央構造線の活断層については近々の課題でありタイムリーで、大変有難い講演でした。在任先生には感謝申し上げます。懇親会には会員相互で青春時代を過ごした横浜を想いながらゼミのこと、下宿のこと、アルバイトをしたこと等で話は尽きませんでした。最後のシメはやはり阿波踊りで徳島県宮陵会幹事の藤井薫氏が役員を務める有名連のうきよ連が四国ブロック会に華を添えました。見る阿呆だけでなく踊る阿呆も体験したところです。翌日はゴルフ大会で鳴門の山岳コースで汗を流しました。



福岡宮陵会総会
7月 福岡宮陵会総会に参加

- ① ホテルクラウンパレス小倉
総会25名、ブロック会議70名
- ② 今年は「九州ブロック会議in北九州大会」と同時開催で、前段での総会となりました。地域組織会長の会議では、沖縄県宮陵会会長の阿佐慶様からの提案要望が出されました。「九州ブロック会議」の名称を「九州・沖縄ブロック会議」に変更して欲しいということ
です。満場一致で賛成されました。次に北九州宮陵会会長の田代からの提案です。全部の宮陵会が一つの大きなテーマを掲げて、それに向かって、在学生を巻き込んで、社会貢献や問題解決に一步一步進んでいくことが宮陵会の発展につながるはずで、「まずはテーマ探しから始めてみましょう」(テーマのコンペティションは?)
- ③ 筑豊宮陵会総会に参加
- ④ 熊本県宮陵会総会に参加
- ⑤ 2月 京築ブロック会
2月 役員会観覧会
3月30日 福岡、筑豊、北九州、ゴルフコンペ

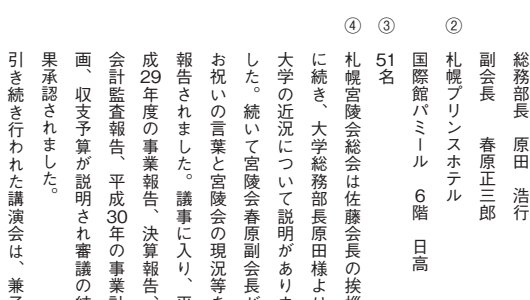
7月 京築ビルル
11月2日 役員会総会準備
11月30日 北九州宮陵会の総会
来年度は全宮陵会のミッションとなるテーマ探しを始めてみようと考えています。宮陵会本部にもこの件を提案して、取り上げて頂くべく努力をしていく。
2019年11月30日(土)開催決定



神奈川県ブロック会
(磯子区・神奈川区・横浜市中区・津久井・茅ヶ崎・寒川・秦野市)
平成30年11月3日(土)

- ① 理事長 牧内 良平
秘書室 胡麻 史奈
会長 大場 憲治
副会長 間中 晟
- ② 神奈川大学横浜キャンパス
ブロック会議1号館301会議室
講演会 3号館B104教室
懇親会 19号館ラクスホール
- ③ ブロック会議23名、講演会約150名、懇親会約80名
- ④ ブロック会はまだ、司会のブロック会事務局の春原氏から、大学および宮陵会からの来賓2名を紹介し、県内各地域組織代表者の紹介を行った。つぎに本年度担当神奈川県ブロック会会長兼氏から開会の挨拶を行ない来賓のご挨拶をいただいた。牧内理事長からはMM21の新キャンパスや総合計画のお話、学生の課外活動の活躍状況特に箱根駅伝や硬式野球については熱のこもる話をいただいた。宮陵会の大場会長からは総会ならびに80周年記念事業と宮陵会館の進捗状況として来季の代議員の推薦状況、今年度町田市、川崎市での地域組織の発足予定などの話がなされブロック会議へと進んだ。会議では神奈川県未組織地域の組織化へどう取り組むか白熱した議論が行

なわれた。その後、元神奈川大学資料編纂室長の澤木氏による「米田吉盛先生の生涯」と題し、創設者の思いが現在に繋がっているという内容の講演をいただいた。懇親会では会長の兼氏の挨拶に続き横浜西・中区会長の大江氏の乾杯により懇親会の宴が賑やかに始められた。地域組織代表者皆様の懇親が進む中、横浜西・中区の事務局局長小國氏による口笛演奏、準会員のロスガトスによるフラメンコの踊りにより華やかさを添え、次期幹事組織の5つの組織が紹介された。さらに会員の懇親が進み、校歌斉唱を行ない、いよいよ宴の中締めとして磯子区中保氏の挨拶により盛會裏に終了した。
2019年度活動計画
2019年2月 引継委員会
4月・10月 幹事組織による会議(適宜)
11月神大フェスタ当日ブロック会議



札幌総会
平成30年5月19日(土)

- ① 学長 兼子 良夫
総務部長 原田 浩行
副会長 春原正三郎
- ② 札幌プリンスホテル
国際館パミール 6階 日高 51名
- ③ 札幌宮陵会総会は佐藤会長の挨拶に続き、大学総務部長原田様より大学の近況について説明がありました。続いて宮陵会春原副会長がお祝いの言葉と宮陵会の現況等を報告されました。議事に入り、平成29年度の事業報告、決算報告、会計監査報告、平成30年の事業計画、収支予算が説明され審議の結果承認されました。
- ④ 引き続き行われた講演会は、兼子

学長の演題「新しい時代にふさわしい「知恵の拠点」を目指して」などとみらいキャンパスにグローバル系学部3学部が集結2021年4月移転予定の説明等ご講演いただきました。

合同懇親会は、保護者説明・懇談会に参加された大学関係者・父母の参加により50名の出席者で開催しました。兼子学長より創立90周年記念事業と100周年への大学展望について挨拶をいただきました。サンビシャスフロイデのコーラス、会員スピーチ、ビンゴゲーム等賑やかな楽しい時間を過ごし恒例の校歌斉唱、記念写真、最後に神奈川大学後援会会長西脇幸二様に締めめの祝杯で終了しました。

⑤ 平成30年5月19日(土)
平成30年度札幌宮陵会総会・講演会・懇親会
平成30年7月14日(土)



札幌宮陵会親睦ゴルフ会
平成30年8月25日(土)
札幌宮陵会納涼会
平成30年9月1日(土) 第21回北海道ブロック会議北見への参加
平成30年9月8日(土)

⑥ 平成30年12月2日(日)
札幌宮陵会親睦パークゴルフ会初事業計画
平成30年12月2日(日)
札幌宮陵会忘年会
2019年5月25日(土)開催予定

函館総会
平成30年11月3日(土)

① 理事長付審議役 専務理事 佐藤 武
② 函館湯の川温泉大黒屋旅館 (S56 24名来賓含む)
③ 函館湯の川温泉大黒屋旅館 (S56 年法律三 三浦孝司氏代表) において、2018年度函館宮陵会第61回定期総会を開催しました。開催にあたり今年8月におこなうことになり、長年にわたり(前)神奈川大学校友会函館支部長としてご尽力された倉増敏行氏の黙祷を執り行いました。
総会では2017年度活動・決算



報告を行った後、ご来賓の佐藤武氏から近況報告と将来のビジョンについて2021年完成予定みなとみらいキャンパスのお話に力が入っていました。また、いつも以上に参加者の意見があり、懇親会にはいつても「函館宮陵会女子会を実施してはどうか?」「横浜キャンパス見学&箱根駅伝応援ツアーの企画はどうか?」など関連なアイデアが飛び出しました。

④ 総会後、顧問宮崎高志氏(S45年貿易卒)の祝杯ご発声とともに懇親会が始まりました。恒例の自己紹介では、長く幹事をされて函館宮陵会運営の中心的存在である大泉博史氏(S51年貿易卒)が函館から離れた本州へ引越されることのお話があり、参加者共々寂しさを感じましたが、機会があったら総会に参加することでお安心しました。また々に藤本照之氏(S54年応用化学卒)、斉藤亮氏(S57年貿易卒)に参加していただきました。今年も作成しました函館宮陵会第61回定期総会記念DVDを観賞し、校歌斉唱、最後の締め

⑤ 2018年6月9日(土) (杜神奈川大学宮陵会 設立80周年記念事業 横浜市2名参加
2018年9月1日(土) 北海道ブロック会 北見宮陵会主幹(ホテル黒部)2名参加
2018年9月11日(火) 幹事会6名参加(シエスタはこでて コミュニティスペースGスクエア)
【予定】
2019年 北海道ブロック会 室蘭宮陵会主幹
2019年 夏季納涼会

⑥ 2019年10月又は11月 函館宮陵会総会
平成30年7月27日(金)

帯広総会
平成30年7月27日(金)

① 経営政策部次長 兼 IR推進課長事務取扱 田島 睦浩
② 専務理事 久米 信行
③ ホテルグランテラス帯広 11名
④ 平成30年の総会は11名の参加により開催されました。本年1月に逝去された前会長の野村博一顧問をしのび、全員で黙祷を行いました。また、野村氏への功労表彰を執り行いました。
⑤ 一、定期総会開催
一、北海道ブロック会議参加
2019年7月 開催予定

室蘭総会
平成30年10月27日(土)

① 情報システム推進部次長 兼 メディア教育課長事務取扱 村山 宏幸
② 専務理事 久米 信行
③ 室蘭市中央町 鳥辰本店 17名
④ 今年も室蘭焼き鳥の店鳥辰で室蘭宮陵会の総会、懇親会を開催しました。大学より村山様、宮陵会より久米様の出席を戴き、むららん焼き鳥、おいしい料理をいただきました。大学より村山様、宮陵会より久米様の出席を戴き、むららん焼き鳥、おいしい料理をいただきました。大学より村山様、宮陵会より久米様の出席を戴き、むららん焼き鳥、おいしい料理をいただきました。大学より村山様、宮陵会より久米様の出席を戴き、むららん焼き鳥、おいしい料理をいただきました。

⑤ 情報システム推進部次長 兼 メディア教育課長事務取扱 村山 宏幸
② 専務理事 久米 信行
③ 室蘭市中央町 鳥辰本店 17名
④ 今年も室蘭焼き鳥の店鳥辰で室蘭宮陵会の総会、懇親会を開催しました。大学より村山様、宮陵会より久米様の出席を戴き、むららん焼き鳥、おいしい料理をいただきました。大学より村山様、宮陵会より久米様の出席を戴き、むららん焼き鳥、おいしい料理をいただきました。大学より村山様、宮陵会より久米様の出席を戴き、むららん焼き鳥、おいしい料理をいただきました。大学より村山様、宮陵会より久米様の出席を戴き、むららん焼き鳥、おいしい料理をいただきました。



⑤ 事最後に全員で校歌を斉唱し一番若い片岡君のエルで懇親会を終えました。2次会には半数が参加しカラオケや話で盛り上がり楽しく室蘭の街も多少潤ったかなという感じでした。

⑥ 会員の高齢化により体調を崩されている方が増え、思うようにイベントが出来なかつた1年でした。来年は参加者が少なくても色々イベントを企画していきたいと思えます。
【開催予定イベント】
1月5日 神大箱根駅伝反省会
9月1日 北海道ブロック会議
10月27日 室蘭宮陵会総会・懇親会

釧路総会
平成31年1月26日(土)

① 研究支援部長 村川 浩幸
② 副会長 間中 晟
③ 釧路センターキャッスルホテル 10名
④ 2018年度神奈川大学釧路宮陵会の総会は、会員10名の参加を得



⑤ て開催致しました。淀川(一)会長の総会挨拶に続き、平成29年度収支決算を報告し会員の賛同を得て議事を終了し、その後、大学より来て頂いた研究支援部長の村川浩幸氏、本部より来て頂いた宮陵会副会長の間中晟氏の二名より、大学の近況、箱根駅伝の事等について、お話しを頂きました。礼木稔顧問の乾杯の音頭で懇親会に入り、大学時代の思い出話、出雲駅伝、全日本大学駅伝、箱根駅伝の話で、大いに盛り上がり親交を深めました。懇親会ではゲーム等を行い、最後に校歌斉唱を行ったあと、再び会うことを約束し、懇親会を終了しました。

苫小牧総会
平成30年5月26日(土)

① 理事長付審議役 田口 澄也
② 副会長 間中 晟
③ グランドホテルニュー王子



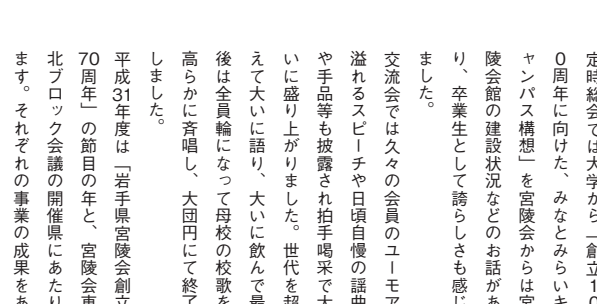
20名(来賓2名を含む) 来賓として理事長付審議役の田口様と宮陵会副会長の間中様に御臨席賜り、総勢20名にて総会を開催いたしました。冒頭、本年4月に逝去されました、歴代会長の本田正行先輩(S31経済卒)に黙祷を捧げたのち、例年通りに伴奏をかき消す大音量にて校歌を斉唱し、桑本昭平会長(S46機械卒)の挨拶で開会致しました。会長による会員訪問及び未入会OBの戸別訪問により、昨年に引き続き会員増強に繋がった報告等一同喝采致しました。続いて御来賓より、みなとみらいの新キャンパスの話題他、大学並びに宮陵会の現状や今後についてご説明を賜りました。諸事審議では、各議案につき満場一致で承認され、本年度行事の参加者を募る説明が行われました。また昨年に新たな取組として初参加いたしました、地域開催の大学OB対抗ボウリング大会に本年度も参加することを確認致しました。その後懇親会、二次会と親交を深め、今年度も和やかに総会を終りました。



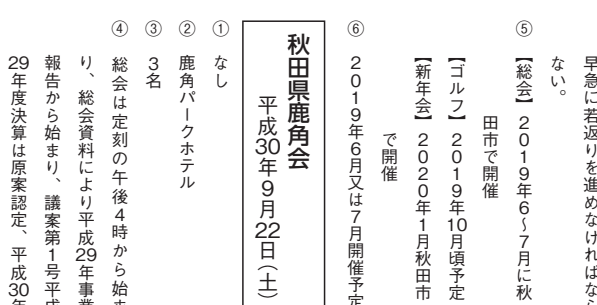
旭川総会 平成30年10月20日(土) 旭川 馨 教育支援センター事務部長 旭 馨 副会長 春原正三郎 旭川トヨヨーホテル 14名 出席者数は少ないが、旭川大学及び宮陵会の発展につなげていければと考えております。 親睦を深めるための新年会やビールパーティー、ゴルフ等を実施していく予定 2019年9月 開催予定



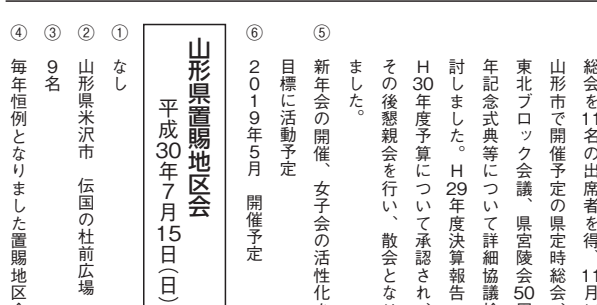
青森県総会 平成30年11月3日(土) 青森 勇樹 教務部事務部長 吉原 勇樹 専務理事 久米 信行 わいん倶楽部 16名 平成30年11月3日(土)総会、懇親会を青森市の「わいん倶楽部」において開催しました。総会では会則の一部改定や役員改選を行い、工藤健新副部長、笠原良太幹事を選出しました。吉原次長様、久米専務理事様から大学・宮陵会の近況報告をいただき、新キャンパスの無事完成を期待しつつ、会員同士も近況報告を行い和気あいあいのうちに懇親会を終りました。 各地区ごとの新年会、暑気払い会等、東北ブロック大会への参加 2020年11月 開催予定



岩手県総会 平成30年11月23日(金・祝) 岩手 厚 学生生活支援部事務部長 高橋 厚 専務理事 久米 信行 盛岡グランドホテル アネックス 延べ25名(うち女性1名) 大学から高橋次長、宮陵会から久米専務理事のご出席をいただき、開催されました。今年の主な活動として新年交賀会を7、8年ぶりに北上市で開催。地元から2名の初参加を獲得しました。 総会以外の大きな行事の開催に向け、役員・幹部による郵便物のシール貼りや封入作業をしながら情報交換と称して、飲み会を定期的に開催しております。 定時総会では大学から「創立100周年に向けた、みなとみらいキャンパス構想」を宮陵会からは宮陵会館の建設状況などのお話があり、卒業生として誇らしさも感じました。 交流会では久々の会員のユーモア溢れるスピーチや日頃自慢の謡曲や手品等も披露され拍手喝采で大いに盛り上がりました。世代を超えて大いに語り、大いに飲んで最後は全員輪になって母校の校歌を高らかに斉唱し、大団円にて終了しました。 平成31年度は「岩手県宮陵会創立70周年」の節目の年と、宮陵会東北ブロック会議の開催県にあたります。それぞれの事業の成果をあげるべく役員一同尽力をつくす所存でございますので、引き続きご指導・ご協力の程、宜しくお願いいたします。



秋田県鹿角会 平成30年9月22日(土) 秋田 鹿角パークホテル 3名 総会は定刻の午後4時から始まり、総会資料により平成29年事業報告から始まり、議案第1号平成29年度決算は原案認定、平成30年度予算も原案可決となり、議案第3号役員選任については別冊のとおり決定いたしました。 ・通年行事(ビールパーティー、新年会等)の開催 ・学生及び父兄との交流会を企画予定。 ・先に学生課に提供した補助要項を活用した学生の本市(鹿角市)での活動を求めたい。 2019年7月 開催予定 新会長 田口 裕 新事務局長 菅原 涼介



山形県置賜地区会 平成30年7月15日(日) 山形 9名 山形県米沢市 伝国の杜前広場 毎年恒例となりました置賜地区会 度予算も原案可決となり、議案第3号役員選任については別冊のとおり決定いたしました。 ・先年度決算報告・H30年度予算について承認され、その後懇親会を行いました。 新年会の開催、女子会の活性化を目標に活動予定 2019年5月 開催予定

ピアノパーティーを今年も開催いたしました。当日は晴天に恵まれ、大変賑やかで楽しい会となりました。また来年も引き続き開催する予定であります。

- ⑤ 毎年7月頃 置賜地区会ピアノティー
- ④ 毎年10月頃 大学対抗球技大会
- ※その他、忘年会、新年会を随時開催
- ③ 2019年7月中旬 開催予定

宮城県総会
平成30年11月10日(土)

- ① 人事部長 手戸 俊彰
副会長 会田 彰
- ② ホテルレオパレス仙台
23名
- ③ 今年度の総会は、例年通り11月第2土曜日の開催となりました。会長挨拶としては仙台北水産会長の島貫さん(S43年卒)の黄綬褒章受章報告、100周年に向けての決意表明がありました。続いて、手戸様より理事長からのメッセージが伝えられました。1982年スタート以来100周年を迎えるにあたり、キャンパスの総合計画について、また宮陵会館スタートの件、大学の現況、第24回を迎えた



ホームカミングデーについてのお話がありました。みなとみらいキャンパスの事前効果があられ、志願者数も伸びているとのことでした。就職率についても90・3%と前年よりアップしており大学院を入れても全体では80%の大学院に乗ったとのこと。全体的にはUターン傾向がみられるようです。プ

ラスバンド、陸上部等の活動についても報告がなされました。詳細についてはHPにかなり詳しく掲載しているのでOBの方々にも是非後輩たちの活躍を日々閲覧していただきたいとのことでした。会田様からはOBの名簿整理が個人情報に阻まれて苦戦している状況が話されました。折あ

らば身近のOB情報に接した場合は本部の方にも連絡いただきたい旨の依頼がありました。新キャンパスの進行状況について報告がありました。

議長選任のもと議事進行があり第1号から5号議案まで了承されました。詳細については通常総会資料を送付しておりますのでご確認くださいませ。議長退席、閉会の後、社会保険労務士豊島事務所代表 豊島正孝様(昭和50年経済卒業)による「働き方改革から見た今後の日本」という講演テーマでご講演をいただきました。まさに現在国会でも議論中のタイムリーな話題でもあり皆さん真剣にメモを取っておられました。講演会の後は恒例の懇親会が会場を移して行われました。皆さんやはり箱根の話題等で例年のように盛り上がり

ておりました。今回は体調の問題にて、毎回参加される方々の欠席も目立っており、次回は皆情報を探り合って若い世代の参加につな

げるよう努力しようという声が上がっておりました。

- ⑤ (1)「宮城県宮陵会総会」の開催
- (2)宮陵会「東北ブロック会議」への出席 平成30年度山形県
- (3)気仙沼大島漁協文庫を巡る旅の開催
- (4)宮陵会事業への女性会員及び若年会員の参加意識の啓蒙
- (5)会員名簿の整理及び管理
- (6)会員間による同業種、異業種の交流及び情報交換の促進
- (7)懇親ゴルフコンペの開催(4月・10月)
- (8)新年懇親会の開催

新潟県総会
平成30年11月10日(土)

- ① 教務部事務部長 笠原 義和
平塚学生課長補佐 岩原 正樹
副会長 春原正三郎
- ② 長岡市 青木 楼
- ③ 22名
- ④ 報告承認事項の後に会長交代について協議、新会長に長岡在住の小熊正志様(昭和48年経済卒)を選出しました。後、来賓のご挨拶、箱根駅伝連覇の折に8区、9区を走られた佐渡出身の岩原正樹様より講演、クラウドブルーの襷で走る数々の思いをうかがい、来年の



箱根駅伝の期待が大きく膨らみました。記念撮影の後、懇親会を開催。長岡の夜に校歌が流れ、歌声が響くまで話は尽きず、再開を約してお開きとなりました。

- ⑥ 11月 総会開催予定
- ⑦ 2019年11月9日(土)開催予定
- ⑧ 新会長 小熊 正志

石川県総会
平成30年10月6日(土)

- ① 理事長付審議役 専務理事 佐藤 武
- ② 居酒屋 酔虎伝
- ③ 37名
- ④ 神奈川大学及び宮陵会より佐藤武氏(S56年卒)を迎えての「千葉の集い」であった。まず初めに物故者への黙祷を行い、その後、役員変更及び昨年度の会計報告を行う。会長を退任された佐藤顧問(S53年卒)及び立花新会長(S55年卒)より挨拶をいただいた。その後、懇親会が開催され、伯耆原聡副会長(S61年卒)の首頭の



もと宴会となる。初参加者のスビーチや余興として菊池慶治氏(H44年卒)がバンド演奏を行った。本年においても、各スポーツ活動報告等もあり、宴会は盛り上がり

- ⑤ 散会となった
- (年間予定)
- ・スポーツ振興のための助成活動
- ・箱根駅伝の沿道応援
- ・校友会参加者増のための活動等
- ⑦ 新会長 立花 久稔

茨城県総会
平成30年6月30日(土)

- ① 研究支援部長 兼 平塚研究支援課長事務取扱 古川 昌博
- ② 専務理事 久米 信行
- ③ 水戸京成ホテル 16名
- ④ 平成30年6月30日(土)水戸京成ホテルにて茨城県総会を開催しました。参加者は16名にて総会、懇親会と楽しい時間を過ごしました。



今回は県西地区開催という事でしたが、役割、準備の都合上急遽水戸にて開催を決め、今後の総会の方向も検討する為、規約改定を総会にかけて審議することになりました。大学、本部からは古川次

- ⑤ 6月 茨城県総会
- 10月 ゴルフコンペ(有志にて)
- 1月 新年会

栃木県総会
平成30年7月14日(土)

- ① 保健管理事務室長 大塚 順子
副会長 春原正三郎
- ② ホテルマイステイズ宇都宮



③ 29名(会員27+大学2)

④ 議事に入る前に、今回から新たに参加となった3名を紹介し、その代表として栃木県議会議員の山形修治氏から挨拶をいただいた。議事においては、昨年度の事業報告として、父母懇談会への出席やゴルフコンペ開催等の報告を行った。また、今年度の事業計画として、10月に本学で開催されるホームカミングデーへの「バస్తゥア」を3年ぶりに提案したところ承認されたため、実施することとなった。

⑤ 栃木県の特長として女性会員の参加があげられ、今回も4名の参加となった。

・7月 父母懇談会へ参加

・7月 総会

・7~9月 運動部等の栃木会館の応援差入れ

・11月 ゴルフコンペ

・12月 役員会及び忘年会

⑥ 2019年7月13日(土)

※創立記念日(7/11)に最も近い土曜日の予定

群馬総会

平成30年6月30日(土)

① 内部監査室長 田島 京子

② 副会長 会田 彰

③ エテルナ高崎 5階 ティラール30名

④ 箱根駅伝予選会、そして正月の箱根路での駅伝チームの活躍を願い

会員の総意を込めて応援ダルマを贈呈くださる様お願いしました。「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに会員皆様のご協力をお願い致します。

平成30年4月 サークル活動「親睦ゴルフコンペ」

⑤ 6月 定期総会・懇親会



8月 サークル活動「飲むうさぎ」

12月 役員会

平成31年2月 新年会

3月 役員会

⑥ 2019年6月29日(土)開催決定

群馬東毛総会

平成30年6月30日(土)

① 広報部長 千葉 陽史

副会長 間中 晟

② 太田グランドホテル

③ 17名

④ 総会を始め、旅行、ゴルフ、母校在学生の活動の応援、新年会等の事業も滞りなく実行でき平成29年度事業報告及び30年度事業計画、予算も全員の拍手で承認。

・今総会にはご多忙の中、大学から千葉広報部長様、宮陵会から間中副会長様のご来席を頂き、大学の近況や、宮陵会本部総会・地方組織の動向などの講話

を頂き大変有意義な総会となりました。みなとみらいキャンパスの件、宮陵会会館建設の件等につ



いはは至近の将来に希望が持てるものであった。

・懇親会も和やかなうちに進み、歓談さらには会長のサックス演奏で盛り上がり最後に神奈川大学校の大会で閉会となりました。

⑤ 4月 新年度第一回役員会

⑥ 6月 第17回太田市大学交流チャリティゴルフ大会

⑦ 群馬東毛宮陵会 平成29年度総会

⑧ 9月 第二回役員会

⑨ 10月 会員懇親ゴルフ会

⑩ 神奈川大学ホームカミングデー参加

12月 第20回太田大学ジャズフェスティバル(神大はカレッジサウンドオーケストラが参加)

1月 平成30年新年会

⑪ 事務局長次長 福元 摩湖

埼玉東総会

平成30年5月27日(日)

① 事務局長次長 福元 摩湖



② 専務理事 久米 信行

③ 浦和ワシントンホテル

④ プリムローズバンケットルーム

⑤ 42名

⑥ 大学及び宮陵会より来賓4名と講演会講師1名そして埼玉東宮陵会会員37名が地元埼玉の浦和ワシントンホテルにて神奈川大学埼玉東宮陵会第二回定期総会を開催した。主催者挨拶、来賓挨拶と進み、総会議事では事業報告・会計報告・監査報告・事業計画・事業予算と順調に進み、最後の報告事項で当会のロゴマークとキャラクターの提案を行い、賛同のうちに記念写真を経て、中町泰子講師による埼玉東草加にちなんだ「煎餅いまむかし」の記念講演会を開催した。講演会は埼玉にまつわる知的好奇心と興味賞をもつて大成功を収め、講演者著書の頒布会のち午後の懇親会へと展開した。

⑦ 懇親会では各人の近況を披露する

⑤ 2018年9月下旬

⑥ わが町自慢ウォーキングpt.3日高編 曼殊沙華紀行

⑦ 2018年10月頃

⑧ 平塚キャンパス見学ツアー

⑨ 2018年11月中旬

⑩ わが町自慢ウォーキングpt.4川越編 蔵の町散策

⑪ 2019年1月3日

⑫ 箱根駅伝治道応援

⑬ 2019年3月中旬

⑭ わが町自慢ウォーキングpt.5岩槻編 城下町を歩く

⑮ 2019年5月26日(日)開催予定

静岡西部総会

平成30年9月15日(土)

① 学生生活支援部事務部長 松沢 隆

② 専務理事 久米 信行

③ オークラクトシティホテル浜松 45F(スカイバンケット)

④ 34名

⑤ 今年の総会は当会員遠山詠一氏の叙勲に伴う記念品の贈呈を行いました。講演会は地元出身の陶芸家山口剛氏を招き、陶芸に関する知識と陶芸を通じて出会った方々のエピソードを軽妙な語り口で話していただきました。懇親会ではビンゴ大会を開き大いに盛り上がりたしだいです。

⑥ 1. 新年会

⑦ 2. 工場見学(酒蔵)



③ 会員親睦のゴルフ愛好会結成と大会の開催

④ 次回総会に向けての準備

⑤ 2019年9月14日(土)開催決定

愛知みやも総会

平成30年6月23日(土)

① 理事長付審議役 勇 真一郎

② 副会長 間中 晟

③ 東京第一ホテル錦



21名
④ 愛知みやも会の定時総会は6月23日(土)来賓に理事長付審議役勇

様、宮陵会副会長長間中様の出席を賜り、東京第一ホテル錦にて開催いたしました。会長挨拶、来賓の紹介の後、議事次第に沿った議題、報告事項など審議され各議題は満場一致にて可決されました。

来賓挨拶では間中様より、宮陵会の現状、80周年式典の報告、宮陵会館の建設についての報告をして戴きました。

又、勇様より大学の現状、みなどみらいキャンパスの説明、100周年に向けての構想、陸上競技部他の活躍と現況、将来計画の報告を戴きました。特に全日本大学駅伝、箱根駅伝に向けての駅伝チームの意気込み等報告して戴き出席者一同優勝へ向けての期待を強く致しました。

その後懇親会に入り、恒例の女性シンガーによるアトラクションを和気藟々の中、楽しみました。その後、集合写真を撮影し、勇様の中締めのお集会となりました。

4月 10月 ゴルフコンペ
4月 9月 役員会
6月 定時総会

岐阜県総会

平成30年10月13日(土)

- ① 情報システム推進部次長 兼メディア教育課長事務取扱 村山 宏幸
- ② 副会長 会田 彰
- ③ 岐阜キャススライン 23名
- ④ 会長挨拶に続き、大学・宮陵会 come 来賓の方よりそれぞれの近況と今後について報告頂きました。その後



後、収支報告、会計報告と続き承認されました。写真撮影後、懇親会に移り、初参加の方に自己紹介をしていただいた後、いつものように和やかに歓談し、交流を深めました。締めで恒例となった会員のウクレレ伴奏により校歌斉唱を行いました、盛況のうちに終わることができました。

三重県総会

平成30年7月28日(土)

- ① 理事長付審議役 辻 洋一 専務理事 平能 孝一
- ② ホテルグリーンパーク津
- ③ 24名(来賓2名含む)
- ④ 本年度の通常総会を、例年通り津駅前「ホテルグリーンパーク津」にて開催いたしました。神奈川大学、また神奈川大学宮陵会からは辻様、平能様のご臨席を賜り、現



在の大学・宮陵会の現状についてのお話を頂きました。例年のごとく、出席出来ない方が若干みえ、参加者数は前年度と比べ同数となりました。出席者の方々はお元気で、それぞれ歓談に楽しい時間を過ごしました。

- ⑤ 平成30年度 活動計画
- ◆目的 世代・地域を越えたネットワーク作り
- ◆目標 交流会出席者毎回20名
- ◆情報発信 神奈川大学三重県宮陵会HPでの情報発信とメールの活用を推進する。年1回会員確認も兼ねて文書にて「総会案内」及び「MIE NEWS」を郵送する

大阪府総会

平成30年6月23日(土)

- ① 常務理事 小林 孝吉
- ② 副会長 会田 彰
- ③ 専務理事 佐藤 武
- ④ 今年度の「近畿ブロック会」は和

※一般社団法人神奈川大学宮陵会
定時総会 林会長 本田出席
6月11日
神奈川大学三重県宮陵会会旗製作
発注
6月13日 会旗完成
6月15日 会旗完成を写真添付により大学宮陵会を通じ報告
6月22日 総会案内発送およびサービスマーク(KU)の使用許可申請、使用許可
7月28日 平成30年度総会・懇親会ホテルグリーンパーク津
10月7日 ※神奈川大学ホームカミングデー林会長出席
11月4日 ※50th全日本大学駅伝対校選手権大会 応援と交流会四日市・津
同日 本部宮陵会役員&本部会
親交流会をホテルグリーンパーク津にて開催
7月5日 第40回交流会
(平成31年)
1月2日~3日 ※95回箱根駅伝
3月 役員会・総会準備 他
平成30年度 第15号MIE NEWS発行
※印は、当会(神奈川大学三重県宮陵会)に関係する行事を表す。

2019年7月27日(土)開催決定

和歌山県総会

平成30年6月23日(土)

- ① 常務理事 小林 孝吉
- ② 副会長 会田 彰
- ③ 専務理事 佐藤 武
- ④ 今年度の「近畿ブロック会」は和

歌山県宮陵会主管で6月に開催するとの報を受け、当会の役員会は総会を新たな試みとして和歌山で同日同所にて開催することに決定しました。当日は直前の「大阪北部地震」の影響も多少ありましたが、16名の参加と67名の委任(欠席を得て開催。総会では主たる議案の「役員改選」で根来会長より新人事案の提案説明があり、提案どおり満場一致で可決された。なお、根来会長(兼任20年)は顧問に就任。

- ① 理事長付審議役 専務理事 佐藤 武
- ② シーサイドホテル舞子ビラ 24名
- ③ 当初34名の出席予定でしたが、西日本豪雨の為、交通が遮断され、10名程度が当日不参加でした。また交通の不便を予想して前日より宿泊された方も数人いらっしゃり当会に対する思いを新たにしました。
- ④ 次年度は近畿ブロック開催担当地区に当たっている為、その準備の他、県内各地での地区集會、新年会、ゴルフ大会等を通して兵庫県宮陵会の会員増を計る。又、大学クラブの当地での活動の補助、大学のアビール等を地元積極的に行う。
- ⑤ 2019年7月28日(日)開催予定
- ⑥ 新会長 和田 志朗

- ⑦ 新会長 大石 一二
- ⑧ 神奈川大学後援会主催の地区父母懇談会に出席 平成30年8月5日ホテル日航大阪
- ⑨ 年間を通じて、近畿地区内で開催される母校出場の諸大会への応援参加(サッカー・シヨートトラックスピードスケート・箱根駅伝等)
- ⑩ 2019年6月15日(土)開催予定



和歌山県総会
平成30年6月23日(土)
近畿ブロック会と合同で開催
兵庫県総会
平成30年7月8日(日)

奈良県総会

平成30年9月29日(土)

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 檀原観光ホテル
- ③ 会員10名

④ 30年度総会は参加会員10名の下、開催。本年度は4名の初参加者があり継続することの大切さを感じた。これを励みとしたい。大学創立100周年の事業構想、宮陵会設立80周年の歩み宮陵会館の建設等々ホットな情報を生で聞いた。

⑤ 第4回会員体験談を実施し何とかシリーズ化することが出来た。懇親会では「お楽しみ？」と題し、会員からのアルトサクスの演奏に酔いしれた。皆で来年の総会参加を確認した。

- ⑥ 9月末〜10月初旬開催予定
- 2019年9月28日(土)開催予定



京滋総会

平成30年6月17日(日)

- ① 理事長付審議役 花嶋とみ子
- 保健管理センター長・特別教授

- ② 専務理事 江花 昭一
- 久米 信行

③ 京都新阪急ホテル

④ 22名

花嶋様より、大学の近況、みなとみらい構想、100年計画等の報告、久米専務理事からは80周年記念、宮陵会館の建設等の報告を頂きました。京滋宮陵会の総会議事に入り、昨年度の活動、会計、監査報告、本年度の活動計画、会計予算について、すべて承認されました。江花教授から「これでOK！中高音の健康管理・健康長寿社会を目指して」と題して講演を頂き、大変に好評でした。全員で写真撮影の後、懇親会には花嶋様、久米様、江花先生、大阪、兵庫より6名の出席を頂き、親睦を回り、校歌、応援歌を歌って、総会を無事に終了しました。今年度も、総会への参加人数が少なく、参加者をどの様に増やすかが、課題として残りました。

- ⑤ 1. 総会の開催
- 2. 新年会の開催
- 3. 役員会の開催
- 4. 会合参加者の発掘：京都、滋賀とともに小グループでの会合

が出来る方策を考えて、地道に進めてみる。

5. 神奈川大学の体育会クラブの関西地区大会時の支援と応



H30年度京滋宮陵会総会 於：京都新阪急ホテル 2018/06/17 14

援。

6. 近畿ブロック会への協力：今年度は和歌山県、来年度は兵庫県が主管する。

7. その他

⑥ 2019年6月16日(日)開催予定

広島県総会

平成30年11月17日(土)

- ① 理事長付審議役 専務理事 佐藤 武

② ホテルセンチュリー21広島 73名

③ 今年度は7月の豪雨災害の影響で出席者が心配でしたが73名の方の出席で例年になく盛り上がりつつありなりました。大学・宮陵会を代表して佐藤武審議役、専務理事にご臨席頂き、大学・宮陵会の近況についてお話し頂きました。なかでもみなとみらいキャンパスの話は出席者全員期待度の大きな内容でワクワク感を覚えました。今年度のイベントとして女性2名でのオカリナ演奏を行いました。うっとり聞き惚れる音色で大好評でした。

- ⑤ ・第12回地域組織総会開催(2019年11月30日)
- ・役員会開催(3月、6月、9月の年3回計画)
- ・企画運営委員会の開催(年4回程度計画)
- ・役員会、企画運営委員会の合同開催(年1〜2回程度計画)
- ・神奈川大学後援会主催の保護者懇談会への出席
- ・一般社団法人神奈川大学宮陵会主催の「全国地域組織代表者会議」への出席
- ・中国ブロック会議への出席
- ・広島県宮陵会親睦ゴルフコンペ開催。(年4回3月、6月、9

岡山県総会

平成30年4月21日(土)

- ① 管財部長 瀬田 高央
- ② 専務理事 平能 孝一

③ ホテルエクセル岡山 40名

④ 総会では来賓のご挨拶の後、議事に移り、現会長の安東達雄が退任し、相談役となり、新会長として山内富親が選任されました。懇親会ではS23年卒専機の後藤さんの乾杯の後、和やかに歓談し、ゴルフコンペの表彰をへて、校歌・寮歌・応援歌を合唱し、記念撮影をして盛況の中、幕を閉じました。

- ⑤ ・同窓会同志の親睦とコミュニケーションを図る
- ・中国ブロックの発展のための支援体制の強化を図る
- ・大学本部との連携を強化する受験生の増加に協力、運動部活動の支援



神奈川大学校友会 第18回 岡山県宮陵会 総会

・同窓会同志のための講演会の開催を企画する

・2〜3か月ごとに幹部及び有志の集いを行う

⑥ 未定

⑦ 新会長 山内 富親

鳥取伯耆総会

平成30年7月7日(土)

- ① 施設部次長 林 幸治
- ② 専務理事 平能 孝一

③ 米子ニューアールホテル 18名

④ 本年度も大学、宮陵会より2人の来賓をお迎えし、第30回総会ならび懇親会が開催されました。近年は山陰地区から母校へ進学する学生が少なくなっており、寂しい気持ちもありますが、定年後にUターンで故郷に帰って来られるOBもおられますので、ぜひ本会に参加いただけたらと思います。また今回で11回目を迎える、地域で活躍するOB特別講演では、とっとりコンベンションビューロー常務理事丸山堅二氏の「コンベンション

による地域経済波及効果」を拜聴いたしました。また2021年に開設される、YOKOHAMAみなとみらい21地区「みなとみらいキャンパス」に新設される、高さ100m超の学び舎を、箱根駅伝の応援も兼ねて訪れることになりました。

⑤ H30年10月13日
箱根駅伝予選会 現地応援
H31年1月2日
箱根駅伝テレビ応援兼新年五例会役員会(2回)時未定

⑥ 2019年7月6日(土)開催決定

⑦ 新会長 岩田 文明

鳥取因幡総会

平成30年9月1日(土)

- ① 施設部次長 林 幸治
- ② 副会長 間中 晟

③ 鳥取シティホテル 22名

④ 今回は会員22名、大学と宮陵会から各1名のご出席をいただきました。横浜みなとみらい21への進出構想や課外活動についての意見交換、そして懇親会での近況報告、2次会でのカラオケバトルと有意義で楽しい会となりました。

⑤ 総会、役員会、交流会



神奈川大学鳥取因幡宮陵会総会 平成30年9月1日 鳥取シティホテル

⑥ 2019年8月又は9月開催予定

島根県総会

平成30年11月24日(土)

中国ブロック会と合同で開催

香川県総会

平成31年1月3日(木)

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② オークラホテル高松



③ 48名

④ 正午から香川県宮陵会の平成最後となる総会を開催した。中村会長の新年と開式の挨拶に始まり、来賓の宮陵会平能専務理事による、大学牧内理事長及び宮陵会大場会長からの挨拶代読と、大学側の近況等をご披露頂いた。続いて岩本前会長の宮陵会感謝状の授与式を行った。前年度活動報告と今年度の活動計画等の議事を終え閉式した。その後は箱根駅伝復路の視聴応援、神大グッズの争奪ゲーム、カラオケ駅伝等を楽しみながら懇談が実施出来た。校歌と追運歌「宮面ヶ丘寮歌」を斉唱し、次回元気に再会を約し名残惜しく解散した。

⑤ 1月3日

H31年度総会・懇親会開催(濱)

神大レポート15号発刊、配布

2月3日 第73回丸亀国際ハーフマラソン応援

4～5月 役員会開催

6月 宮陵会定時総会

7月～8月 夏季親睦会

9月 2019日本学生トライアスロン選手権観音寺大会応援

10月～11月 第25回四国ブロック会議(愛媛県主催)

12月 役員会開催

⑥ 2020年1月3日(金)開催予定

徳島県総会

平成30年11月17日(土)

① 理事長付審議役 勇 真一郎

② 副会長 春原正三郎

③ ホテルグランドパレス徳島

④ 四国ブロック会の前に県総会を開催。島田会長を議長に選出し、議事の進行が行われた。(1)会計報告

⑤ 櫻原会計担当が報告し、岡部監

事が承認した状況を説明(2)新事務局長の選出：坂東事務局長が体調不良の為、退任し、新事務局長に清井敏氏が全員一致にて承認された。(3)出席者全員で自己紹介を行った。

⑤ 親睦会：ゴルフ、ボーリング、釣

⑥ 2019年11月中旬開催予定

⑦ 新事務局長 清井 敏

愛媛県総会

平成31年2月2日(土)

① 理事長付審議役 勇 真一郎

② 国際ホテル松山

③ 17名

④ 大学から勇真一郎様に出発していただき、開催いたしました。大学の現状、そして将来的な構想をお聞きし、また、各地区からの活動報告もあり、大変有意義な総会になりました。ただ、出席人数が少なかつたのが残念でした。

来年は四国ブロック会の担当となりますので、特に若い方も参加できるように内容の総会となるよう

にしていきたいと思っております。

⑤ 2019年6月頃

愛媛県宮陵会宇和島地区会

2019年9月頃

愛媛県宮陵会東予地区会

2019年11月頃

愛媛県宮陵会大洲・喜多・八西地区会

2019年9月～11月(4月以降確定予定)

⑥ 四国ブロック会(愛媛)、愛媛県宮陵会総会

⑦ 2019年9月～11月開催予定

愛媛県宇和島地区会

平成30年6月23日(土)

① なし

② 宇和島国際ホテル

③ 14名

④ 定刻午後4時開催しました。今回の地区会には愛媛県宮陵会より2名、大洲地区会より4名、宇和島地区会より8名の参加者があり、昨年より5名多く、14名の参加者で、より盛り上がりました。1時間後に懇親会に移り楽しい時間をすごしました。又次回の再会を期し、散会しました。

⑤ 地区会開催(6月予定)

愛媛県大洲・喜多・八西地区会

平成30年11月8日(木)

① 理事 栗田 光郎

② 大洲市 たる井

③ 12名

④ 当地区は米田吉盛先生の出身地であり、昨年度開催の米田先生企画展の成功に終結し、当地区会の20周年以後の新たな企画が必要とされ、大学100周年の動きと連動して地区会記念旅行横浜みなとみらいキャンパスを起案し、企画提案推進します。

⑤ 年1回程度の地区会



・有志による「ぎずな公園」の掃除作業年2～3回程度

・宇和島地区会、愛媛県総会、四国ブロック会への積極的な会員参加(交通費補助金の支払)

・会員増員の取組みの為に新しい会員情報の収集に力を注ぐ

⑥ 2019年11月 開催予定

高知県総会

平成30年9月22日(土)

① 事務局次長 明比 卓

② 副会長 間中 晟

③ ホテル日航高知旭ロイヤル

④ 一昨年箱根駅伝を走り、5位に大躍進させてウターンしてきた、陸上競技部駅伝チームOB中平英志君を招き、「私の箱根駅伝」のスピーチを頂いた。栄えある結果を残し、今も所属企業にて陸上競技部を立ち上げ、現役で走る高知県出身の後輩に夢と希望をもらい、改めて高知県宮陵会の結束を誓った。



⑤ 平成30年11月3日(土)四国ブロック会議(徳島)に参加募集をかけた。出来るだけ多く人数で参加

平成31年1月箱根駅伝健闘祝賀会

3月 若手会員懇親会

通年 名簿再作成

⑥ 2019年9月21日(土)開催予定

⑦ 新会長 成岡 祐輔

新事務局長 東富 直隆

福岡総会

平成30年7月21日(土)

① 理事長付審議役 勇 真一郎

② 専務理事 平能 孝一

③ グランドハイアット福岡

④ 26名

⑤ 神奈川大学より理事長付審議役勇様、宮陵会本部より専務理事平能様、九州各地域宮陵会の皆様、福岡の卒業生を迎え、設立70周年記念式典および平成30年度福岡宮陵会総会を無事執り行う事が出来ました。ご出席の皆様、また会の準備を進めてくれました役員の方々に心から感謝申し上げます。平能専務理事様が福岡宮陵会設立のきっかけや出来事などをまとめた講演を通して、卒業生の熱い思いと長



い歴史を感じる事が出来ました。暑い中、倉庫で資料を紐解いて頂いた事に対し重ねて御礼申し上げます。

⑤ 1. 神奈川大学宮陵会定時総会
(設立80周年記念式典)

- 平成30年6月9日
- 2. 福岡宮陵会理事会
平成30年6月21日
- 3. 福岡宮陵会総会
(創立70周年記念式典)
平成30年7月21日
- 4. 北九州宮陵会総会
(九州ブロック会議)
平成30年11月17日
- 5. 新年会
平成31年2月
- 6. 筑豊宮陵会総会
平成31年2月
- 7. 福岡宮陵会理事会 適宜
- ⑥ 2019年7月20日(土)開催予定

筑豊総会

平成31年2月17日(日)

① 理事長付審議役 専務理事



② 佐藤 武
③ 料亭 佐賀屋
④ 14名
⑤ 今年の総会は7月に行つた筑豊宮陵会を存続するのか解散して福岡・北九州の組織に入会するのかのアンケートの結果を基に会の今後を検討した。アンケートの結果は解散合併・組織の拡大維持はほぼ同数であった。今後の組織の方向は役員に一任する。

北九州総会

平成30年11月17日(土)

九州ブロック会と合同で開催

佐賀県総会

平成30年8月19日(日)

① 学生生活支援部事務部長
高橋 厚
専務理事 久米 信行



② グラウンデはがくれ
③ 16名除、来賓
④ 来賓の二人より、宮陵会本部及び大学の最新情報、各地区の情報等をご教示頂きました。予算・決算等の議案は、原案どおり全会一致で承認・可決されました。今回は、多くの初参加者があり、米寿を迎えた会員の祝賀を兼ねた交歓会は大いに盛り上がり、有意義な総会となりました。

長崎総会

平成31年1月26日(土)

① 理事長付審議役 佐藤 武
専務理事 平能 孝一
② 日本料理 更紗
林田義史氏(S50年法卒)経営
③ 13名



④ 佐藤審議役からはみなどみらいキャンパス開設を中心とした大学の現状報告をしていただき、平能専務理事からは長崎宮陵会の設立からの推移をまとめた冊子を配布していただき、改めて鳥原地区に支部があったことや先輩達の足跡をたどることが出来ました。懇親会では自己紹介が始まり、それぞれの席で学生時代や試験の思い出等で盛り上がりました。今回は初参加の申込みが4名あり今後の会の活性化につながると思います。

佐世保総会

平成31年3月15日(金)

① 理事長付審議役 花嶋とみ子
専務理事 平能 孝一
② 佐世保第一ホテル
12名
③ 平成30年度の活動報告及び会計・監査報告を行い、花嶋審議役より現在大学が進められているみなどみらいキャンパスや国際日本学部など大学の将来について語られました。平能専務理事より宮陵会の



現状と各部活動報告と退任のあいさつを兼ねてみなどみらいキャンパス開設と神奈川大学創立100周年記念募金への協力依頼要請。懇親会に入り天草から(元)津久井支部長朝倉さん(元)バンコク宮陵会(元)在任徳永さんも飛び入り参加で大いに盛り上がりました。次回が楽しみです。

熊本県総会

平成31年2月23日(土)

① 管財部長 瀬田 高央
専務理事 平能 孝一
② 鶴屋百貨店東館7階
カーネーションサロン
39名
③ 今回の定時総会は大学より瀬田部



長様、宮陵会より平能専務理事様そして九州各県より多くの役員の方々をお迎えして開催いたしました。みなどみらいの新キャンパスや近々完成する宮陵会館、また今年開催される九州ブロック会議沖縄大会の話題で盛り上がり、懇親会では会員有志によるウクレレ・ギター演奏にフラダンスも加わり、前日開催されたゴルフコンペの表彰式等、終始賑やかな宴となりました。また、ゴルフコンペは今回で12年目を迎え、10名の参加で親睦を深めました。

⑤ 毎月第三水曜日 理事会開催
⑥ 6月 第12回慶祝会(祝いの会)開催
6月16日(日) 熊本地区保護者懇談会参加
11月16日(土) 九州ブロック会議沖縄大会参加
⑦ 通年 各地区会(城北、城南、人吉・球磨、天草)開催
⑧ 通年 ホームページ、SNS等による情報発信

熊本県慶祝会

平成30年6月16日(土)

- ① なし
- ② 城見禮
- ③ 35名
- ④ 平成30年度慶祝会を復興中の熊本城を望める日本料理城見禮にて開催しました。今回の慶祝会は喜寿1名、古希2名、還暦2名、合計5名のお祝いとなりました。長崎宮陵会の高名会長にご挨拶をいただき、お祝の方への記念品贈呈後に祝宴に入り、前日のゴルフコンペの表彰式や、初参加で前々回の箱根駅伝10区を走った中神恒也君の挨拶等で大いに盛り上がりました。会場の大らかな窓越しに熊本城の復旧状況を見ながら、それぞれの近況及び復旧状況等を語り合い、会員相互の親睦を深めたところで校歌を斉唱し、盛会の内に終了しました。



大分県総会

平成30年9月1日(土)

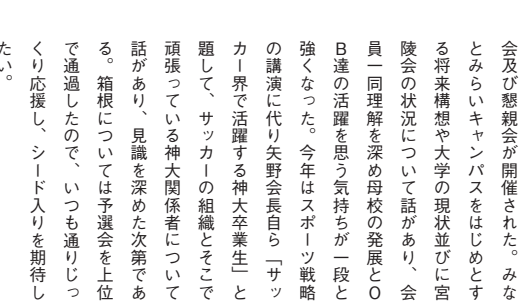
- ① 理事長付審議役 勇 真一郎
会長 大場 憲治
- ② トキハ会館 さくらの間
- ③ 30名
- ④ H30年度総会が9月1日(土)大分市で開催された。参加者は32名。大学創始者米田先生始め、校友物故者に黙祷の後、大分宮陵会会長の挨拶、議事進行、大学の理事長付審議役勇氏、宮陵会会長大場氏からの近況報告、前会長高橋氏への功労表彰と進み、懇親会となった。近年平成卒業の参加者が増え、活気ついている。
- ⑤ 1. 総会準備委員会の開催
2. 平成30年度大分県宮陵会総会の開催
3. 第42回宮陵会九州ブロック会議北九州大会に参加
2019年9月7日(土)開催予定



宮崎県総会

平成30年11月23日(金・祝)

- ① 就職支援部事務部長 能重 幸夫
- ② 副会長 間中 晟
ホテルスカイタワー宮崎駅前
- ③ 20名
- ④ 昨年と同会場で開催された。みなとみらいキャンパスをはじめとする将来構想や大学の現状並びに宮陵会の状況について話があり、会員一同理解を深め母校の発展とOB達の活躍を思う気持ちが一段と強くなった。今年はスポーツ戦略の講演に代り矢野会長自ら「サッカー界で活躍する神大卒業生」と題して、サッカーの組織とそこで頑張っている神大関係者について話があり、見識を深めた次第である。箱根については予選会を上位で通過したので、いつも通りじっくり応援し、シード入りを期待したい。
- ⑤ 平成31年2月 ホームページ開設予定
平成31年4月 懇親ゴルフコンペ
2019年6月 宮陵会定時総会



鹿児島県総会

平成30年11月10日(土)

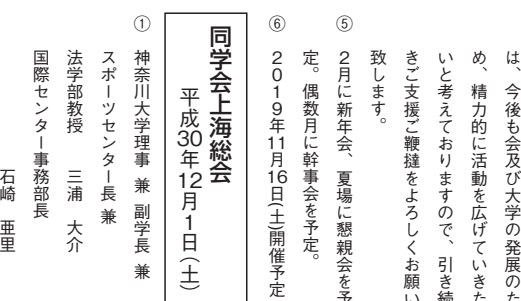
- ① 理事長付審議役 辻 洋一
事務理事 久米 信行
- ② 鹿児島東急REIホテル
- ③ 18名
- ④ 今年は宮陵会本部からの名簿提供を受け例年より多くの総会案内を発送しましたが、結果は例年と変わらずでしたが、平成22年卒の後輩が出席してくれました。いままです社会人野球をしていた関係で出席がかなわなかったようです。今後は出席できそうなお話で大いに期待したいと思います。
- ⑤ 今年度は新年会や花見・ビアガーデンと色々な会を行いました。成果はそれほどありませんでしたが、来年も継続していきたいと考えています。今年は、初めて熊本県宮陵会と合同観光を行い、親睦を深めることが出来ました。このような会も可能な範囲で継続していきたいと考えています。



沖縄県総会

平成30年11月10日(土)

- ① 研究支援部次長兼平塚研究支援課長事務取扱 古川 昌博
副会長 間中 晟
- ② ネットホテル那覇
- ③ 14名
- ④ この度は多くの皆様のご協力の下、無事に総会を終えることができました。また、大学より古川様 宮陵会本部より間中様には、遠方運々お越しいただき、ご挨拶並びにご祝儀を頂戴し、誠に感謝申し上げます。沖縄県宮陵会では、今後も会及び大学の発展のため、精力的に活動を広げていきたいと考えておりますので、引き続きご支援ご鞭撻をよろしくお願い致します。
- ⑤ 2月に新年会、夏場に懇親会を予定。偶数月に幹事会を予定。
2019年11月16日(土)開催予定



同学会上海総会

平成30年12月1日(土)

- ① 神奈川大学理事 兼 副学長 兼 スポーツセンター長 兼
法学部教授 三浦 大介
国際センター事務部長 石崎 亜里
副会長 間中 晟
- ② 巴国布衣
- ③ 18名
- ④ 上海宮陵会は、上海・蘇州など中国華東地区在住の神奈川大学OB(駐在者ならびに留学生)を中心に活動しております。年1回の定期開催の総会および会員の懇親を目的として今回の開催となりました。今回は三浦副学長および石崎部長から今後の中国人留学生のための拠点として上海宮陵会への協力要請も頂いており、今後の上海宮陵会の活動意義を改めて考える会となりました。
- ⑤ 2019年1月 新年会
3月 ゴルフ大会
8月 暑気払い
12月 総会
2019年12月 開催予定





10月：機子祭り
見学会・意見交換会
9月頃：現役学生・OB合同施設



2018/11/25
全額寄附大川有特人志願特謝一

- ① なし
- ② 中華街 廣東飯店
- ③ 9名

南区総会
平成30年9月29日(土)

- 8月25日 幹事会
- 10月7日 ホームカミングデー出席
- 10月12日 総会案内発送作業7名
- 10月13日 箱根駅伝予選会応援
(第3位予選通過)
- 10月27日 神奈川県ブロック会議
参加 神奈川区香原、
亀山他17名
- 11月4日 全日本大学駅伝対校選
手権第10位
- 11月25日 神奈川区総会
- 平成31年1月2日・3日
東京箱根間往復大学駅伝応援



2019年4月
主参加
東京箱根間往復大学駅伝応援に自



2000名に案内を出したところ、

- ① 管財部長 瀬田 高央
- ② 副会長 会田 彰
- ③ 神奈川大学 横浜キャンパス

横浜北総会
平成30年5月19日(土)

- ① 箱根駅伝の応援
- (2)会報等の発行
- (3)スポーツ・文化・地域・社会活動への貢献
- (4)その他

- ③ 22名
- ④ 横浜市社会教育コーナーで大学より古川昌博様、宮陵会より春原正三郎様を迎え、会員22名が参加の総会を開催しました。当会会長兼の挨拶後、御来賓の方々より、みなとみらいキャンパスの現状や宮陵会館のお話があり、平成30年度事業決算監査報告、31年度事業計画予算案が審議され可決成立しました。第二部として硬式野球部監督岸川雄二様の講演がありました。その後、場所を変え懇親会を開き会員相互の親睦を深めました。
- ⑤ 1月2日：箱根駅伝応援（京急戸部駅付近）・新年会
1月27日：平成30年度神奈川大学機子区宮陵会総会
3月下旬：春の親睦会
6月頃：箱根保養所宿泊研修（箱根見学）
7月：納涼会（横浜中華街）
9月頃：現役学生・OB合同施設見学会・意見交換会
10月：機子祭り

- 10月：ホームカミングデー参加
- 10月：ブロック会議（代表参加）
- 12月：忘年会（横浜中華街）
- ⑥ 2020年1月26日(日)開催予定

神奈川区総会
平成30年11月25日(日)

- ① 施設部長 飯田 泰弘
- ② 専務理事 久米 信行
- ③ 神奈川大学 横浜キャンパス 19号館ラックスホール
- ④ 23名
- ⑤ 総会は神奈川区宮陵会会長久米の挨拶に始まり平成29年度活動報告・決算報告がなされ田中監事による監査報告とつぎ29年度決算及び事業報告は承認された。引き続き30年度活動計画・予算の審議がなされ、これも承認された。次に来賓の神奈川大学施設部長飯田泰弘氏による理事長挨拶の紹介、そして大学の状況やMM21新キャンパスの件、それにまつわる寄付

- ① 残念ながら少人数でしたが、午後5時半から総会を開催しました。初めに、会長の挨拶で始まり、大学及び宮陵会からお祝金を頂いた事を伝え、本年度実施事項、会計報告、次年度予定事項等をたんとんと報告し、了承された。引き続き、会の先導である木村一朗さんの乾杯の音頭で懇親会が始まった。会の盛り上げに併い、先導達の思い出話、駅伝を優勝させる会の話、海外で活躍した話、などの話に華が咲きました。午後8時に散会。
- ② 平成30年10月7日(日)
第25回ホームカミングデーに参加
平成30年11月3日(日)
神奈川県ブロック 講演会・懇親会に参加
平成30年12月
会員によるカラオケ忘年会
平成31年1月2日(土)
東京箱根間往復大学駅伝応援に自

- ① 春季懇親会食事会
2019年6月
宮陵会定時総会・懇親会に参加
- ② 2019年9月21日(土)開催予定

保土ヶ谷・旭区総会
平成30年6月23日(土)

- ① 施設部長 飯田 泰弘
- ② 会長 大場 憲治
- ③ 神奈川大学 横浜キャンパス 1号館804会議室
- ④ 懇親会／806室
- ⑤ 24名
- ⑥ 総会は定刻に開始し、議長選出後、議案の審議となり、全ての議案が承認されました。続いて講演会を行い、最先端技術であるAIの現状について、参加者は興味深く拝聴しました。その後、場所を移動し懇親会を行い盛況のうちに終了しました。今回は、創立20周年にあたるため、保土ヶ谷区旭区に在住する全ての卒業生、約3,200名に案内を出したところ、

戸塚・栄区総会
平成30年10月21日(日)



16号館宮陵会談話室

③ 14委任状18名

- ④ 第11回定時総会が会員13名出席、委任状18名提出のもと開催されました。平成29年度事業報告と収支報告、会計並びに監査報告として平成30年度事業計画(案)及び収支予算案はすべて承認されました。ご来臨賜りました瀬田部長様より大学の近況と創立100周年を見据えての展望とM21新キャンパス計画について、会田副会長様から設立80周年記念式典・祝賀会の実施と来春完成する宮陵会館の現況等今後大いに期待される祝辞を頂戴しました。終了後、ラックホールにおいて懇親会が盛會裏に開催されました。
- ⑤ 1. 会員の増強と事業計画を具体化するために役員懇親会の開催(年4回)
2. 会員相互親睦のための旅行、ゴルフ他趣味の会の実施
3. 神奈川大学教授による文化・教養講座の開催
4. 社会地域貢献としての奉仕活動(動鶴見川流域の清掃)

瀬谷・泉区総会
平成30年4月14日(土)

- ① 理事長付審議役 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 16号館第3会議室
- ③ 9名
- ④ 今回の総会は港南区宮陵会と同時開催でした。総会はお互いに別会場を借用し、開催しました。当会の参加者は高齢者が多く、大学の変わりように驚き、構内を見学して回った人もいました。また、佐藤専務理事のMM地区への大学進出の話に大きな希望を持った様です。懇親会は港南区と合同で開催(19号館)お互いの宮陵会委員が初対面にも関わらず、和気藹々の会でした。野球部総監督 古川祐一氏のお話もあり、楽しい会でした。
- ⑤ 1. 総会の開催
2. 本部宮陵会行事に参加
3. 大学行事に参加
4. その他
- ⑥ 2019年5月18日(土)開催予定
7. 定時総会第12回の開催
8. 大学、宮陵会が開催する行事(ホームカミングデー、県プロサッカー会他への参加)
9. その他、緊急必要な事業



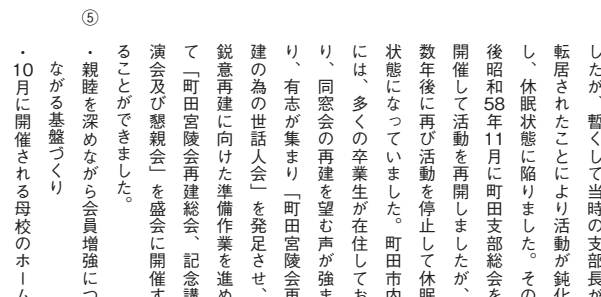
港南区総会
平成30年4月14日(土)

- ① 人事部長 手戸 俊彰
専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 16号館宮陵会談話室
- ③ 15名
- ④ 30年度定時総会は、事業報告、決算報告、監査報告、30年度事業計画、予算案が承認された。29年度は神奈川県ブロック会の担当組織の一つとして運営に協力した。30年度の事業は大学施設探訪として富士見研修所と箱根保養所に泊まりビンボン大会。来年度は、本会設立10周年を迎える記念総会を新築の宮陵会館で開催することを熱烈に希望している。
- ⑤ 1. 総会の開催
2. 本部宮陵会行事に参加
3. 大学行事に参加
4. その他
- ⑥ 2019年4月13日(土)開催決定
7. 納涼会
8. 大岡川清掃ボランティア
9. 富士見高原研修所・箱根保養所旅行
10. 箱根駅伝予選会応援
11. 神奈川県ブロック会
11月10日 米田吉盛先生の墓参会
1月 箱根駅伝2区・9区道道応援



町田再建総会
平成30年12月16日(日)

- ① 理事長付審議役 専務理事 佐藤 武
名誉教授 中田 信哉
- ② ホテルラポール十寿園 36名
- ③ 町田地域の宮陵会支部は相模原支部として昭和53年6月に発足しましたが、暫くして当時の支部長が転居されたことにより活動が鈍化し、休眠状態に陥りました。その後昭和58年11月に町田支部総会を開催して活動を再開しましたが、数年後に再び活動を停止して休眠状態になっていました。町田市内には、多くの卒業生が在住しており、同窓会の再建を望む声が強まり、有志が集まり「町田宮陵会再建の為の世話人会」を発足させ、鋭意再建に向けた準備作業を進めて「町田宮陵会再建総会、記念講演会及び懇親会」を盛会に開催することができました。
- ④ 親睦を深めながら会員増強につながるが基盤づくり
- ⑤ 10月に開催される母校のホーム



相模原総会
平成30年11月3日(土)

- ① 事務局長 永和田隆一
副会長 会田 彰
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 3号館403講堂
- ③ 11名内地域来賓1名
- ④ 1. 会長挨拶(高橋一行)
2. 来賓挨拶(会田彰副会長、山本俊雄南足柄宮陵会会長)
3. 大学近況報告(永和田隆一 事務局長)
- ⑤ カミングデーに参加
・SNSを活用した会員交流の促進や宮陵会HPと連携した当会の行事伝達や会員同士の情報交換方法の検討
・会報の発行
- ⑥ 2019年6月16日(日)開催予定
- ⑦ 新会長 古家 秀紀
新事務局長 旭 馨

秦野市総会
平成30年5月19日(土)

- ① 理事長付審議役 専務理事 佐藤 武
- ② グランドホテル神奈中秦野2階 「東光苑」
- ③ 今年度総会も例年同様に交通の便が良い場所で開催しました。新卒者1名、ご新規様2名、ご来賓を含めて15名の出席がありました。横浜専門学校及び神奈川大学の卒業生のうち、ご住所をお届けいただいている、且つ秦野市内在住の
- ④ 1. 箱根駅伝応援・新年会
2. 近隣宮陵会との交流
3. 総会・懇親会
- ⑤ 2019年5月開催予定
4. 慣例に基づき高橋会長を議長として選出
5. (1)会計報告及び経過報告
(2)予算案・事業計画(案)
(3)役員改選について
(4)その他 高橋会長から学校法人神奈川大学への寄付について提案があり、審議の結果、次期への継続審議としました。





箱根町総会
平成30年6月20日(水)

- ① 専務理事 久米 信行
- ② 箱根湯本 ホテルおかだ
- ③ 8名
- ④ 平成30年6月20日(水)箱根町宮陵会総会を箱根湯本のホテルおかだにて開催しました。来賓として宮陵会専務理事久米様並びに南定柄宮陵会山本会長のお二人にご参加

方々は930名います。返信いただく葉書には心温まるお言葉がつづられており、秦野市宮陵会の地道な活動に對しての支援を感じます。総会では、在学時代の懐かしい思い出話や近況を話らい親交を深めました。

- ⑤ 1. 総会 (5月19日)
2. 神奈川大学富士見高原研修所 親睦旅行 (9月16日~17日)
3. 湘南ひらつかキャンパス大学祭 (平塚祭) 宮陵会出展支援 (10月27日~28日)
4. 第95回東京箱根間往復大学駅伝競走沿道応援 (1月2日~3日)
- 1月2日夕刻新年会



平塚市総会
平成31年1月3日(木)

- ① 理事長付審議役 専務理事
- ② ホテルサンライフガーデン
- ③ 4F 石垣
- ④ 22名

いただきました。村上会長の挨拶から始まり、久米専務理事に大学及び宮陵会の設立80周年記念等の報告をお聞きしました。会長より追加報告で北野紘一さんが宮陵会本部より功労表彰を受賞したお祝いと5月に岡田輝茂元会長がご逝去されたことをお伝えしました。

- ⑤ 1. 箱根駅伝応援
2. 箱根町宮陵会総会
3. 会員募集
- ⑥ 2019年6月19日(水)開催予定



西多摩総会
平成30年9月30日(日)

- ① 副会長 間中 晟
- ② パレスホテル立川 [瑞麟]
- ③ 7名
- ④ 開催時は台風25号のため帰路の交通の乱れもあり、総会は準備した資料により時間を短縮し、会員相互の時間をとり、終了時間を早めに終了しました。出席者は高齢者

の出席辞退や若い者の参加が少なく小規模会合が続いています。円卓テーブルを囲み全員発言で話は盛り上がりました。

- ⑤ 箱根駅伝の応援は例年同様応援ポイントである平塚湘南海岸沿道にて1月2日~3日両日実施、OB、学校関係者等多数参加。応援終了後ホテルに移動、事務局長の進行により総会開会、会長挨拶に続き、佐藤審議役より大学の現状等の説明を受けました。その後事業計画、会計報告を説明、承認を得て総会終了。続いて駅伝応援、懇親会(交流会)に入り、ゴール迄応援、最後に校歌斉唱し終了しました。
- ⑥ 2020年1月3日(金)開催決定



南定柄総会
平成30年7月14日(土)

- ① 理事長付審議役 専務理事
- ② 南定柄女性センター
- ③ 14名
- ④ 会員を増やすことがこの会の課題であります。会員の高齢化も進みました。若い会員を増やすべく努力したい。

・組織拡大を図るため、引き続き会員増員を推進します
・東京箱根間駅伝競走の応援
・会員相互の親睦行事の計画

- ⑤ 盛り上がりました。
- ⑥ 2019年10月頃 開催予定



三浦半島総会
平成30年6月24日(日)

- ① 教育支援センター 事務部長
- ② 旭 馨
- ③ 副会長 春原正三郎
- ④ セントラルホテル横須賀
- ⑤ 58名
- ⑥ 本年度は58名の参加をいただき例年通り3部構成で実施した。第一部総会では6件の議案が上程され、満場一致で承認可決した。第2部の記念講演会では工学部内田教授より神大キャンパスの変遷及びみなとみらいキャンパスの概要等の話があった。第3部の懇親会は現役学生4名の参加に加え、大正琴の余興もあり、和気あいあいの時間を過ごし、参加者一同親交を深めた。

・その他、必要に応じた事業を行う

- ⑦ 2019年7月13日(土)開催予定



津久井総会
平成30年5月13日(日)

- ① 図書館事務部長 堀江美由紀
- ② 専務理事 平能 孝一
- ③ 道志ふれあいセンター
- ④ 8名
- ⑤ 例年のとおり、留学生招待バーベキュー大会と併催することとなった。折角仲間になつてくれた若い会員も多忙なのが今年はゼロ。ため息がつく。大学と宮陵会からご挨拶をいただいた後、会議へ入る。内容は例年のとおりだが、今年「ブロック会議参加者に交通費を支給してはどうか」との発案。それもひとつの案。何人参加してもらえらるか。

1. 会報の発行
2. 総会の開催
3. 母校への寄与米田吉盛教育奨

- ⑥ 例年とおり

学食、スポーツ文化振興会への寄付)

4. 留学生招待バーベキュー大会の開催

⑥ 2019年5月12日(日)開催予定

茅ヶ崎寒川総会

平成31年2月10日(日)

① 理事長付審議役 専務理事

② ラスカ茅ヶ崎 ラスカサロン

③ 39名

④ 会員39名(男38、女1)の参加を得て第10回総会及び懇親会をラスカサロンで開催した。(新規参加者は2名)途中体調を崩した0日を救急車で搬送する出来事もあった(後に病院から自宅に帰宅)が相互の親睦を図ることができた。

⑤ ・総会、懇親会の開催(実質10回目の記念イベントを企画予定)

⑥ 2020年1月~2月 開催予定



川崎市再建総会

平成30年3月9日(土)

① 理事長付審議役 佐藤 武

名譽教授 田嶋和夫

副会長 会田 彰

5. 宮陵会活動への参画
⑦ 新会長 小林 和正
新事務局長 田口 澄也

神奈川大学学内総会

平成30年6月20日(水)

① 常務理事 小林 孝吉

専務理事 佐藤 武

② ホテル横浜キャメロットジャパン 4階フェアウインド(総会)

③ 4階フロンティア(懇親会)

④ 総会出席者 42名

⑤ 平成29年度活動報告、会計報告ならびに監査、役員改選(案)、平成30年度活動計画(案)、予算(案)について審議され、いずれも賛成多数で可決した。引き続き懇親会に移り、ご来賓の方々より挨拶をいただいた後、会食をしながら会員の近況を報告しあつたりと、親睦を深めた。毎年好評のピニング大会では人間科学部卒で古本興業所属のお笑い芸人、あいすけ、さんをお呼びし、大いに盛り上がった。

⑥ 2018年6月20日

⑦ 学内宮陵会総会・懇親会(於ホテル横浜キャメロットジャパン)

⑧ 2018年8月頃

⑨ 毎年好評懇親企画の実施

⑩ 2018年10月7日

⑪ ホームカミングデーにおける企画

⑫ 2018年10月27、28日・11月3、4日

⑬ 平塚祭・神大フェスタでの活動

⑭ 2019年1月2、3日

⑮ 箱根駅伝応援(於各応援重点ポイント)東神奈川他(予定)

⑯ その他
・役員のみならず、諸イベントの会員参加人数増大を実現する。
・自発的な非会員の参加も奨励し



(会費制等)活動力強化を図る。

・他の地域組織との連携、イベントの開催の検討。

・HPの再構築。

川本工業総会

平成31年3月27日(水)

① 専務理事 平能 孝一

② 神奈川県立かながわ労働プラザ

③ 定期総会 4階 会議室

④ 懇親会 9階 「味彩」

⑤ 11名

⑥ 2018年度定期総会を開催するにあたり、宮陵会本部より平能専務理事をお迎えし、宮陵会の運営や母校に関する丁寧なご報告を頂いた。総会は2018年度事業報告・2019年度事業計画、新役員報告を行い、職域組織ならではの活動を行ない、母校と神奈川



大学宮陵会の発展につなげることを確認した。新規会員2名の自己紹介と記念撮影を行った。引き続き、懇親会に移り、会食をしながら近況報告を行い、有意義な時間をすした。

① 2019年6月 定時総会参加

② 2019年10月 ホームカミング

③ 2019年10月 デー参加

④ 2019年10月 幹事会開催

⑤ 2019年12月 宮陵会本部訪問

⑥ 2019年12月 本会定期総会・懇親会開催

⑦ 2020年3月 幹事会開催

⑧ 2019年12月 開催予定

⑨ 2019年12月 新事務局長・井田 篤良

横浜信用金庫総会

平成31年2月8日(金)

① 副会長 春原 正三郎

② 桜木町ブリーズベイホテル

③ 36名

④ 第一部の総会、第二部の懇親会と二部構成にて開催しました。第一部では活動報告、決算報告、大学の近況報告を行い、第二部の懇親会では新会員の紹介やピンゴなどで会員間の親睦を深めました。

⑤ 2020年2月に総会及び懇親会を開催する予定です。

2020年2月頃 開催予定

高島屋総会

平成31年2月22日(金)

① なし(事後報告)

② 九州自慢 横浜ハマボールイアス店 8名

③ 30年定時総会は事業報告、決算報告、及び31年度事業計画案の承認をした。みなとみらい新キャンパス開設に向けて期待感が高いことや箱根駅伝でのシード権獲得、好成績達成を望む声が大きかったことなど大学を応援する話題で大いに盛り上がった。

④ 31年度は積極的な事業計画に取り組みたい。特に親睦活動とボランティア活動に力を入れる。

⑤ Jリーグ観戦、プロ野球観戦、映画鑑賞を計画し会員の親睦を図る。店回りのゴミ拾いのボランティアに参加し活動する。次回総会及び懇親会を11月上旬とする。

⑥ 2019年11月1日(金)開催予定

⑦ 新会長 中村 敏也

⑧ 新事務局長 佐藤 和子

クリエイトメディアック総会

平成30年9月1日(土)

① 副会長 春原 正三郎

② 神奈川大学 横浜キャンパス

③ 1号館 806会議室

④ 12名

⑤ 平成30年9月1日、宮陵会より春原副会長のご出席をいただき第30回クリエイトメディアック宮陵会の総会を神奈川大学1号館806教室にて開催しました。

⑥ 当宮陵会は本年度設立30周年を迎え、周年記念として開催しました。総会及び懇親会では春原副会長様より大学や宮陵会の近況等お



話をいただき、楽しく有意義な総会となりました。

会計人総会

平成30年7月12日(木)

- ① 工学部建築学科教授 内田青蔵
専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス
1号館308会議室

社労士総会

平成30年10月13日(土)

- ① 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス
1号館308会議室
- ③ 25名

④ 総会は昨年度の事業報告、収支決算報告、役員改選を審議し、出席者全員が了承しました。研修会は、本学菊池和彦准教授による「宗教法人の特殊性」についてご講演をいただいた。親睦会は本学法学部より公文孝佳法学部長、山崎公士教授、菊池和彦准教授、宮陵会より佐藤専務理事にご出席をいただきました。会計人宮陵会をはじめ交流のある社労士会、早大



(稲門会、学習院校友会、立大(セントポール会)、日大稲門会)の代表者のご出席を仰ぎ、和やか、盛大に催すことができました。

- ⑤ 今年も10月7日の本学ホームカミングデーに労務相談コーナーを出展しました。卒業生より年金、高齢者の雇用等の問い合わせがあり、懇切丁寧に対応させていただきました。来年は更に法学部と協力して昨年まで行っていた在学生に対して職業としての社労士社会に必要な労働に関する諸知識をご紹介できる場を提供していきたい。
- ⑥ 2019年10月 開催予定
- ⑦ 新会長 渡部 健二郎

三十路総会

平成30年10月7日(日)

- ① 専務理事 佐藤 武



- ② 神奈川大学 横浜キャンパス
20号館207教室
4名
- ③ 三十路宮陵会総会
- ④ 定時総会の報告(専務理事より)
・宮陵会館建設が大部遅れていたが、その後順調に進み三月竣工式の運びとなった。
・三十路会会計報告
・三十路会の今後について。会員各位が高齢のため継続が中止か次年度の検討議題となった(会長交代も同様)。なお、中止になっても同好会は続ける。四季位は集まって食事会を開きたいとの事。

珊瑚の会総会

平成31年3月5日(火)

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス
19号館ラックスホール
36名
- ③ 36名
- ④ (昭和35年卒の会)珊瑚の会も平成29年度出席者41名、30年度出席者は36名、今回が第28回であり、



ベスト資材株式会社

<http://www.best-material.co.jp>

主要営業品案内

- 屋根・外装工事
- サイディング用出隅及び金具製造販売

代表取締役 杉山 久一 (昭和42年・法卒)



- 本社●
〒370-0303 群馬県太田市新田小金井町329
TEL:0276-57-2868(代)・FAX:0276-57-0568



- 首都圏営業所●
〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-10 トップ南流山1F
TEL:04-7189-7725(代)・FAX:04-7189-7726

神奈川大学昭和35年卒 校友会
珊瑚の会 第28回総会
2019.3.5



- ⑤ 一番の若手が81歳。当然出席者は減少しており、今後の継続も議論が上がっております。
- ① 4月、10月のゴルフ会
- ② 5月仙石保養所での懇親会
- ③ 8月浅草演芸ホールでの落語観笑会
- ④ 9月翌1月の幹事会
- ⑤ 10月ホームカミングデーの参加
- ⑥ 箱根駅伝の応援
- ⑦ 3月の次期総会、役員改選
- ⑧ 2020年3月5日 開催予定

工学部応用化学科・物質
生命化学科同窓会総会
平成30年10月20日(土)

- ① 会長 大場 憲治
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 23号館208教室
- ③ 21名
- ④ 宮陵会の地域組織に加入して初めての同窓会であった。宮陵会から大場会長のご臨席をいただき、第16回総会を開催することができ



ボクシング部OB会総会
平成30年11月17日(土)

- ① 理事 手塚 正
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 1号館806教室
- ③ 32名
- ④ 今年度のOB総会は若手のOBに参加してもらうという意向から、卒業して10年以内のOBは懇親会費を免除しました。若手OBのOB会への参加、部への支援、年会費について、新入部員の勧誘についてなど参加して頂いたOBより多くの意見を頂くことができました。
- ⑤ 同窓会の名称を応用化学科同窓会から応用化学科・物質生命化学科に改称すること、会則の規約改正、新役員(任期2年)の選任等を議決した。
- ⑥ 平成31年6月に第17回総会の開催を予定している。
- ⑦ 2019年6月1日(土)開催予定

陸上競技部OB会総会
平成30年6月16日(土)



- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 1号館301教室
- ③ 21名
- ④ 平成30年度陸上競技部OB総会はOB21名の出席で開催されました。冒頭、宮陵会専務理事平能孝一様からご挨拶を頂戴し、岡部勝美会長を議長として議事進行に入りました。総会終了後、神奈川大学学長 兼子良夫様、宮陵会専務理事 平能孝一様、陸上競技部現役部員107名を迎え懇親会を行いました。兼子良夫様、平能孝一様をはじめ来賓の皆様から現役部員に向けて激励のお言葉を頂戴しました。最後には全体で校歌斉唱をし、OB・学生との交流を持つことが
- ⑤ 4月 関東大学トーナメント試合 案内
- ⑥ 11月or12月 ボクシング部OB総会

バスケットボール部OB会総会
平成30年7月14日(土)



- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 総会 16号館 宮陵会談話室
- ③ 懇親会 19号館 ラックスホール 12名
- ④ 平成30年度の神奈川大学バスケットボール部OB会総会は、体調のすぐれない方、仕事や用事、遠方で参加出来ない方等で、参加者が少なかった。総会では長年に渡り副会長・会長を務めて頂いた紺野
- ⑤ 平成30年度活動計画
- (1) 長距離ブロック 駅伝チーム・長距離チーム 支援強化
- (2) 短距離ブロック 短距離・跳躍・投擲 支援強化
- (3) OB会内の懇親交流促進
- (4) OB会と現役選手との懇親交流の促進
- (5) 陸上競技部及びOB会の政治的環境整備



たしかな明日のお手伝い

《よこしん》では、地域の皆様の暮らしや事業のニーズに幅広くお応えして、さらに親しまれる金融機関を目指しています。日々の業務を通じ、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、引き続きご愛顧願います。



URL. <http://www.yokoshin.co.jp>

〒231-8466 横浜市中区尾上町2丁目16番地1 TEL.045-651-1451(代表)



⑦ 新会長 高橋 三樹夫

- (4) 卒業生を送る会開催 31年2月
- (5) OB会会報の発行 30年8月・31年2月

- (2) 総会・懇親会開催 7月
- (3) 神大2部バスケットOB・OG会の開催 31年1月
- (4) 卒業生を送る会開催 31年2月
- (5) OB会会報の発行 30年8月・31年2月

⑤ (1) 現役応援と応援後の懇親会

- 4月中旬 県大学春季大会
- 5月中旬 関東大学春季大会
- 6月上旬 関東大学新人戦
- 7月中旬 全日本県予選会
- 9月上旬 関東大学リーグ戦
- 10月下旬 県大学秋季大会
- 12月上旬 インカレ

政弘会長から勇退の申し入れがあり、高橋三樹夫さんへの会長の交代が決まった。高橋新会長からは会の発展の為に尽力していきたい旨の挨拶があり、若い世代の会への参加者を増やすことを今後の課題としていきたいと抱負を語った。懇親会では、久しぶりに会うメンバーが懐かしそうに、現役の上半期の活躍と秋から始まるリーグ戦をネタに酒を飲み交わす姿が見られた。



H 31年度公募制推薦実技審査立会

- 10月27日(土)
- 神奈川県武道館主管校運営ホロ
- 神奈川県大学空手道選手権大会
- 10月20日(土)
- 10月8日(月) 関東大会応援
- 10月8日(月) F I S U世界大学空手道選手権大会 in K O B E 寄付
- 7月19日 22日

- ④ 今年度創部78年を迎え、大学からの公募推薦部として5年目に入り、5月5日武道館での東日本大学選手権大会にてベスト16の成績を挙げるまでになり創部80周年に向けて尚一層の精進をして現役部を支えて行きます。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いします。

- ③ 総会12名、懇親会29名 (内学生18名)
- ④ 今年度創部78年を迎え、大学からの公募推薦部として5年目に入り、5月5日武道館での東日本大学選手権大会にてベスト16の成績を挙げるまでになり創部80周年に向けて尚一層の精進をして現役部を支えて行きます。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いします。

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 19号館ラックスホール
- ③ 総会12名、懇親会29名 (内学生18名)
- ④ 今年度創部78年を迎え、大学からの公募推薦部として5年目に入り、5月5日武道館での東日本大学選手権大会にてベスト16の成績を挙げるまでになり創部80周年に向けて尚一層の精進をして現役部を支えて行きます。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いします。

空手部OB会総会
平成30年6月23日(土)



1. 会報の発行

- ⑤ 次年度活動計画については、上記の総会で審議され、下記の通り決定した。

- 3. 平成31年度事業計画
- 4. 平成31年度予算
- 2. 平成30年度決算報告および会計監査報告
- 1. 平成30年度事業報告

- ④ 当会の平成30年度総会を開催し、下記の議案について審議を行い事務局提案内容で承認された。
- ③ 会員14名、準会員23名
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 17号館215教室

- ① 欠席
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 17号館215教室
- ③ 会員14名、準会員23名
- ④ 当会の平成30年度総会を開催し、下記の議案について審議を行い事務局提案内容で承認された。
- ⑤ 次年度活動計画については、上記の総会で審議され、下記の通り決定した。

柔道部OB・OG会総会
平成30年12月1日(土)

- ④ 65回目になるラグビー部OB会総会は宮陵会から副会長の会田彰様、大学から常務理事の日野昌也
- ③ 55名
- ② 神奈川大学 中山キャンパス
- ① 副会長 会田 彰

ラグビー部OB会総会
平成30年4月29日(日)

- 適宜OB会家族でのパーベキュー等、食事会
- 3月 卒業生送別会
- 2月 会報発行
- 1月 役員打合せ
- 2020年
- 11月 OB総会、箱根保養所宿泊
- 9月 役員打合せ
- 5月 リーグ戦観戦

- ⑤ 2019年
- 2019年
- 5月 リーグ戦観戦
- 9月 役員打合せ
- 11月 OB総会、箱根保養所宿泊
- 2020年
- 1月 役員打合せ
- 2月 会報発行
- 3月 卒業生送別会
- その他 LINEでの交流
- 適宜OB会家族でのパーベキュー等、食事会

- ④ 今回役員が変わり開催場所を湘南ひらつかキャンパスへ移してから5年目となりました。参加人数がまだ少ない事が課題ではあるが、ご年配のOBの方も参加頂き、刺激となりました。現役生も良い成績を残している為、OBとして支えていけるよう、今後も活発に行動して参加人数を増やしていきたいです。

- ④ 今回役員が変わり開催場所を湘南ひらつかキャンパスへ移してから5年目となりました。参加人数がまだ少ない事が課題ではあるが、ご年配のOBの方も参加頂き、刺激となりました。現役生も良い成績を残している為、OBとして支えていけるよう、今後も活発に行動して参加人数を増やしていきたいです。
- ③ 19名
- ② 神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 1号館201号室

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 1号館201号室
- ③ 19名
- ④ 今回役員が変わり開催場所を湘南ひらつかキャンパスへ移してから5年目となりました。参加人数がまだ少ない事が課題ではあるが、ご年配のOBの方も参加頂き、刺激となりました。現役生も良い成績を残している為、OBとして支えていけるよう、今後も活発に行動して参加人数を増やしていきたいです。

- ⑥ 2019年12月7日(土)開催予定
- 5. 宮陵会内ホームページの充実
- 4. 宮陵会活動への参加
- 3. 柔道部(現役)への支援
- 2. 地区総会報告会の開催(九州宮崎県宮崎市を予定)

レスリング部OB会総会
平成30年11月3日(土)

- 総合ギフト事業・記念品・販促品・中元品・歳暮品
ノベルティグッズ・名入タオル、名入うちわ他
- 総合印刷事業・名入カレンダー・ポスター・チラシ類
- 酒類販売事業・国産・輸入各種酒類の詰合せセット他
- 即日葬祭返礼品事業・カタログギフト・クッキー紅茶セット・コーヒー詰合せ他
- お手元供養事業・お仏壇・仏具関連商品他



創業 明治37年(1904年)

株式会社

カルends

代表取締役 木村 仁 (昭和48年賢卒)

〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-21-1 TEL (045) 784-6011(代) FAX (045) 784-6010
http://www.calends.co.jp E-mail: info@calends.co.jp





様そして名誉教授の齊藤直樹様の出席を賜り開催された。総会については議事案を審議し、総て承認された。総会終了後の現役を含めた懇親会においては、OB・現役とも交流を深め、有意義なひと時を共有することが出来た。また昨年度より始めた、総会前の神大と招待チームとの交流試合は、観戦したOBも大いに盛り上がりがあった。恒例のOB戦は7月1日に開催を計画し、

⑤
1. 現役への支援
2. 2021年の創部90周年に向けての準備活動
・記念行事、記念発行物の企画検討
3. OB会員維持拡大のための施



策
・「宮陵クラブだより」の発行
・地区OB会の継続実施及び会員ネットワークの拡大
4. その他
・幹事会の定期開催
・「父母会」への支援
・公募制推薦入試への協力
・現役の試合観戦、応援
・「夏期ラグビーフェスティバル」の開催（30年度は7月1日予定）
⑥
2019年4月28日開催予定

卓球部OB会(卓友会)総会
平成30年11月10日(土)

① 専務理事 平能 孝一
神奈川大学 横浜キャンパス
19号館ラックスホール
③ 49名(総会37名+懇親会12名)

④ 本年度の総会は神奈川大学宮陵会から専務理事 平能孝一様にご出席いただき、大学の現状と将来への展望や宮陵会の活動などお話しただきました。また新たに卓球部顧問に就任された東郷佳朗先生と同じく卓球部部長に就任された齋藤祥夫様からは卓球部の活動状況の説明がありました。議案では平成29年度の活動報告の承認と平成30年度の活動計画案の一部見直しをして承認されました。懇親会では準会員・現役幹部も合流して楽しいひと時を過ごすことができました。

⑤
1. 会員の現住所把握の継続
2. 会員への総会の状況報告
3. 親睦卓球交流会・懇親会の開催（平成31年7月14日(日)予定）
4. 関東リーグの「応援&懇親の会」の開催
5. 卓球部の活動に対する支援金の支出
6. 定例総会の開催
⑥
2019年11月9日(土)開催決定

ヨット部OB会総会
平成30年8月5日(日)

① 副会長 春原 正三郎
② 葉山マリナー エメラルドルーム 29名
③ 今年度のOB総会は葉山マリナーで開催いたしました。高知県や兵庫県など遠方からの参加者も含め29名のOB・OGの参加がありました。総会終了後は恒例のクルージング及び試乗会、バーベキューを行い、大いに盛り上がりしました。特にヨットの試乗会の際には470級ロンドン五輪代表選手の前田竜之介氏を特別ゲストとして招待し、オリンピックセーラーの

同期会・同窓会・OB会・ホームカミングデー等のご予約承っております。

和食 末廣園

お食事・鮮魚・天ぷら・うなぎ・地酒・ご宴会
<https://suehiroen.com/>

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川3-9-1
 定休日：毎週月曜日

<https://www.facebook.com/suehiroen/>
 @suehiroen
 suehiroen391@gmail.com

JR 東神奈川駅
 市営バス 六角橋
 東白楽駅
 東急東横線
 六角橋商店街
 白楽駅

営業時間 (昼の部) 11:30~14:00 (夜の部) 17:00~22:00
 ご予約 2名様から80名様迄ご予約可能
 Tel.045-432-2492



技術の高さに現役部員は大いに刺激を受けておりました。
2019年8月4日開催予定

学土山岳会総会
平成30年6月17日(日)

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 1号館301会議室
- ③ 11名
- ④ 宮陵会より平能専務理事、大学より新任の島部長のご臨席を賜り、17回目の定期総会を開催した。専務理事からは宮陵会の現状と今後の宮陵会の運営方針等の報告を頂き、その後議案審議となったが、次年度事業計画の中で「G&G計画」の一環としてマナスル遠征隊を送り出す計画に不明瞭なところがあり、綿密な計画を再度練り直



す様指摘を受ける。新入部員については、スポーツクライミングに14名、アルパインに5名と19名が入部し、近年まれにみる大所帯となり、喜ばしい結果となった。
⑤ アルパイン部門においては新入部員の体力、技術の強化
・スポーツクライミング部門においては東京オリンピックに向けての体力、技術の強化
・「G&G計画」達成に向け、マナスル遠征隊の登頂成功
・現役学生に対する指導体制の強化

硬式野球部OB会総会
平成30年11月17日(土)

- ① 専務理事 久米 信行
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス 19号館ラックスホール
- ③ 18名
- ④ 付議された議事は全て承認され、新役員を選出が行われ、熊谷貞彦が新会長に就任した。懇親会では4年次生と来季のスタッフを招待し、労をねぎらうと共に来季の活



躍を願って交流は盛り上がり盛会のうちを終了した。
⑤ 現役支援を中心に激励会、リーグ戦の応援をはじめ、会員の親睦を計る行事(ゴルフコンペ)等を企画している。
⑥ 2019年11月16日(土) 開催予定
⑦ 新会長 熊谷 貞彦

写真研究部OB会総会
平成30年5月26日(土)

- ① 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学 箱根保養所
- ③ 11名
- ④ 5月の箱根で久々の開催となりました。例年は6月第1土曜日のため、梅雨入りの場合もありお天気に左右されます。今年は参加者のほとんどが役員でもあり、事前にSNSにて議論した内容を顔を合わせての会議となり、中身について掘り下げた議論ができました。地域組織としての未来を描けるよう方策を探しています。40〜50才のOBの参加を願います。

塗装・防水のことなら 何でもご相談ください。

国土交通大臣許可(特-28)第442号
(社)日本塗装工業会会員

株式会社 千代田

代表取締役 北條 さとし
(神大工学部応用化学科49卒)

取締役会長 北野 紘一
(神大法39卒) レスリング部OB会名誉顧問



工場の鉄骨塗りかえ

工場床厚塗塗装

内装工事

ほか改修工事なんでもOK

本社 〒240-0035
横浜市保土ヶ谷区今井町159-201
電話 045(355)6008(代表)
FAX 045(355)6011
営業所 東京都墨田区東向島4-39-14
電話 03(3614)3583
FAX 03(3614)3589
出張所 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1-322-19
電話 0460(82)0377



⑤ 平成31年6月サマーコンサート

④ O B会名誉会長遠山詠一氏が平成30年4月29日の叙勲で旭日双光章を授与されましたので、その時の様子などが報告されました。とても名誉ある出来事でした。その他10月27日尼崎で開催される「第66回全日本吹奏楽コンクール」に寄せる期待など話が盛り上がりました。

③ 20名

② 20号館202教室

① 専務理事 佐藤 武

神奈川大学 横浜キャンパス

⑥ 2019年5月25日(土)開催予定

吹奏楽部OB会総会

平成30年10月7日(日)

⑤ 例年、6月に総会を開催して以降は12月の「横浜三大学写真連合写真展」への協賛参加となります。その間は自前のSNSの中にて日記交換や写真発表などでの交流となります。会員が北海道から九州まで散らばっているため、直接会っての活動は限られています。

④ 平成30年12月2日、横浜山下公園前にある神奈川県民ホールに於いて神奈川大学マンドリンアンサンブル第47回定期演奏会が開催されました。終了後に同じくOB会を開きました。規約の改定、会計及び活動報告が発表され満場一致で承認されました。最後に参加者から一般質問や提案があり貴重な意見として今後の活動に活かしていく予定です。OB会終了後は場所を移し立食パーティーを開催、卒業生と現役生、共々和やかに親睦を深め新たな出発を誓い合いました。

⑦ 新会長 射場 亮輔

⑥ 2019年度中に開催予定

⑤ 2019年度のOB会総会を開催する。

④ OB会の今後の運営について協議し、協議の結果、今後の本会の運営に必要な事項を役員会にて協議することとした。次いで、新役員体制について協議し、新役員体制を決定した。

③ 9名

② 7号館31教室

① 副会長 会田 彰

神奈川大学 横浜キャンパス

⑦ 新事務局長 永田 翔吉

⑥ 2019年11月23日(土)開催予定

⑤ 2019年12月2日(日)

④ マンドリンアンサンブルOB会総会

平成30年8月26日(日)

③ 9名

② 7号館31教室

① 副会長 会田 彰

神奈川大学 横浜キャンパス

⑦ 新事務局長 永田 翔吉

⑥ 2019年度中に開催予定

⑤ 2019年度のOB会総会を開催する。

④ OB会の今後の運営について協議し、協議の結果、今後の本会の運営に必要な事項を役員会にて協議することとした。次いで、新役員体制について協議し、新役員体制を決定した。

③ 9名

② 7号館31教室

① 副会長 会田 彰

神奈川大学 横浜キャンパス

⑦ 新事務局長 永田 翔吉

⑥ 2019年度中に開催予定

⑤ 2019年度のOB会総会を開催する。

④ OB会の今後の運営について協議し、協議の結果、今後の本会の運営に必要な事項を役員会にて協議することとした。次いで、新役員体制について協議し、新役員体制を決定した。



⑦ 新事務局長 池田 典弘

⑥ 2019年11月23日(土)開催予定

⑤ 2019年12月2日(日)

④ マンドリンアンサンブルOB会総会

平成30年8月26日(日)

③ 9名

② 7号館31教室

① 副会長 会田 彰

神奈川大学 横浜キャンパス

⑦ 新事務局長 永田 翔吉

⑥ 2019年度中に開催予定

⑤ 2019年度のOB会総会を開催する。

④ OB会の今後の運営について協議し、協議の結果、今後の本会の運営に必要な事項を役員会にて協議することとした。次いで、新役員体制について協議し、新役員体制を決定した。

③ 9名

② 7号館31教室

① 副会長 会田 彰

神奈川大学 横浜キャンパス

⑦ 新事務局長 永田 翔吉

⑥ 2019年度中に開催予定

⑤ 2019年度のOB会総会を開催する。

④ OB会の今後の運営について協議し、協議の結果、今後の本会の運営に必要な事項を役員会にて協議することとした。次いで、新役員体制について協議し、新役員体制を決定した。

③ 9名

② 7号館31教室

① 副会長 会田 彰

川島ロジスティクスセンター

ディーエムエスの 通販ソリューション

ロジスティクス
最新機器で生産性を向上

フルフィルメント
周辺業務をワンストップ

プロモーション
売上の拡大に貢献

<http://www.dmsjp.co.jp>

●公式フェイスブックページ開設中
<http://www.facebook.com/DMScorp>

株式会社 ディーエムエス

本社 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-11 千代田小川町クオスタ Tel. 03-3293-2970
 大阪支社 〒571-0015 大阪府門真市三ツ島 5-36-1 Tel.072-883-3300
 福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-27 第16岡部ビル2F Tel. 092-471-7321

2019年度 定時総会の開催について

2019年度定時総会を下記の日程で開催いたします。

定時総会は、2018年度に実施しました代議員選挙で選出された代議員(社員)をもって行います。

代議員の方には、別途ご通知申し上げます。

正会員は、定時総会を傍聴することができます。

傍聴を希望される正会員の方は、卒業年次・学科、氏名、住所、電話・FAX番号等をご記入のうえ、定時総会傍聴希望と記載して、FAXもしくは郵送にて**5月30日(木)**までにご連絡ください。

なお、定時総会終了後の懇親会にもご参加の場合は、その旨をあわせて記載のうえ、会費として2,000円を当日ご用意願います。

58頁「卒業生情報登録・変更申請書」の用紙をご利用いただいても結構です。

記

- 日 時／2019年6月8日(土) 午後3時
- 場 所／神奈川大学横浜キャンパス 16号館セレストホール
- 報告事項／①平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)事業内容報告の件
②2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)事業計画及び予算
- 決議事項／第1号議案 平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)決算承認の件
第2号議案 役員(理事20名、監事3名)選任の件

事務局よりのお願い

●住所等の変更について●

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

①神奈川大学ホームページ

卒業生ひろば <http://alumni.kanagawa-u.ac.jp/> ⇒ 卒業生情報登録・変更のご案内

②郵送・FAX等

58頁の「卒業生情報登録・変更申請書」に必要事項をご記入の上、下記の宮陵会事務局までお願いいたします。

③E-mail

下記の宮陵会事務局E-mailでも変更可能です。

※登録いただきました情報につきましては、皆様の個人情報の重要性を深く認識し、「学校法人神奈川大学プライバシーポリシー」に従い適正な保護管理に努めます。

●地域組織代表者・事務局担当者の皆様へ●

県民功労、大臣表彰、褒章、叙勲等をうけられた会員の方がございましたら、事務局までお知らせください。

一般社団法人神奈川大学宮陵会事務局

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学内

TEL.045-481-5661 FAX.045-413-0791

E-mail kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp

第25回 ホームカミングデー 開催日がきました

- 日程：2019年10月13日(日)
午前10時受付開始
- 場所：神奈川大学横浜キャンパス内

詳細は後日、神奈川大学ホームページにてお知らせいたします。ご友人、ご家族とお誘いのうえ、懐かしい母校を終日お楽しみください。



神奈川大学ホームカミングデー実施事務局(総務部校友課)

TEL.045-481-5661(代表) FAX.045-481-2741

E-mail sotsugyo-info@kanagawa-u.ac.jp

● 卒業生情報登録・変更申請書 ●

本人照合、確認のため、以下項目は必ずご記入ください。

記入日	年			月			日		
卒業年月	卒業年			卒業月					
卒業学部・学科	学部			学科					
フリガナ									
氏名	(姓)			(名)					
フリガナ									
卒業時氏名	(姓)			(名)					
生年月日	西暦			年			月		
				日生			性別		男 ・ 女
日中確認の取れる電話番号									

登録・変更する項目に (レ点チェック) をご記入のうえ、該当する箇所のみご記入ください。

個人情報

<input type="checkbox"/> 氏名	フリガナ				(姓)	(名)			
<input type="checkbox"/> 住所	〒								
<input type="checkbox"/> 電話番号	電話番号				携帯電話				
<input type="checkbox"/> メールアドレス	種別	自宅			・ 携帯		・ 会社		
	@								

勤務先情報

<input type="checkbox"/> 勤務先概要	名称								
	所属				役職				
	業種				職種				
<input type="checkbox"/> 勤務先住所	〒								
	電話番号								

その他

<input type="checkbox"/> ゼミ・研究室									
<input type="checkbox"/> 課外活動	クラブ・サークル名称				役職				

通信欄

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



大学の研究力を日常にも
 そんな想いから誕生した
 PROUD BLUE コスメティックシリーズ
 人と環境にやさしい特許技術
 「三相乳化」で毎日を健やかに
 神奈川大学のゆるぎない技術・研究力で
 あなたの日常をサポートします



このマークは
 「三相乳化技術」を用いて
 作られたことを表しています

神奈川大学の研究力から PROUD BLUE コスメティックシリーズが登場!!

Yahoo!ショッピングから
 全国発送いたします。

PROUD BLUEコスメティックシリーズ

- センシティブモイスチュアクリーム 2,500円 (税込)
- モイスチュアジェル (美容ジェル) 2,500円 (税込)
- モイスチュアローション (化粧水) 2,000円 (税込)
- モイスチュアハンドクリーム 1,300円 (税込)

(お買い上げ5,000円以上で送料無料)

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/ku-partners/>

オンラインショップは、学校法人神奈川大学
 が100%出資する事業会社 (株) KUパート
 ナーズが運営しています。



《商品の内容に関するお問い合わせ》

未来環境テクノロジー株式会社 (神奈川大学発ベンチャー) 電話:045-488-3830 FAX:045-481-6077



35,228名



総入試志願者数

推薦系入試、給費生試験、一般入試、その他さまざまな試験制度で神大入学を志願した方の総数(2019年度試験)、前年比1.372名増となりました。

132校



国際交流協定校数

海外の大学・機関との学術・文化交流をいっそう推進するため、大学間・学部間協定の締結を積極的に進めています。アジア・欧米を中心に38ヶ国、132の協定校ならびに7の提携校と活発な交流を行っています。*2019年4月現在

192,920,000円



科研費配分総額

人文・社会科学・自然科学等全ての分野にわたり、基礎から応用まで学術研究を格段に発展させることを目的とする競争的研究資金が科学研究費補助金で、独創的・先駆的な研究に助成されます。私立大学の中では49位。*2017年度

1,001+位



世界大学ランキング

英国のタイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE)による「THE世界大学ランキング2019」において、1,001+位(日本の私立大学では16位タイ)に。世界の高等教育機関約23,000のうちランquin大学は1,258大学(上位5.5%)のみです。

24位



施設設置・立地環境が良い大学

アンケート調査「受験生が評価する大学(私立大学編)」による。2021年に予定されるみなとみらいキャンパスの開設後はランクアップの可能性もあるかもしれません。*出所「大学探しランキングブック2019」(大学通信)

14位



地域貢献に積極的だと思われる大学

アンケート調査「社会人が評価する大学(私立大学編)」による。キャンパスごとに地域との様々な連携事業を年間を通して積極的に推進していることの評価と思われます。*出所「大学探しランキングブック2019」(大学通信)

22位



社長の出身大学(全企業)

東京商工リサーチ調べによる社長の出身大学ランキング(2016年12月)によると、全企業中で神大出身の社長は2,266名、国公私立全大学中22位。一部上場企業の社長は5名で51位。*出所「大学ランキング2019」(朝日新聞出版)

96.52%



就職率

2017年春卒業の学部生対象。就職率は、就職希望者に占める就職者の割合。売り手市場が続き、高いポイントになっています。卒業生2,000名以上の大学としては全国31位。*出所「大学ランキング2019」(朝日新聞出版)

2位



人気企業就職H.I.S.

2018年3月卒業生15名が就職。H.I.S.は海外旅行を中心に企画・販売・手配を行う総合旅行会社。格安航空券販売で若者の海外渡航をバックアップ、世界70か国以上に拠点を持つ人気企業です。*出所「大学ランキング2019」(朝日新聞出版)

189講座



生涯学習講座開講数

神奈川大学みなとみらいエクステンションセンターを中心に、文化・教養、ビジネス・社会・語学・資格取得など、社会人にも開かれた多彩な講座を予定しています。このほか在学生を対象にした資格取得講座も開講。*2019年前期講座

151組織



宮陵会地域組織数

宮陵会は国内各地や海外の地域ごと、またはその他様々な業界、大学時代の同期・同好組織というように、地域組織が全国各地でそれぞれ独自の活動を行い校友同士の親交を深めています。*2018年度現在

50億円



創立100周年募金目標額

2028年の創立100周年に向けて、永続的な発展、未来社会・グローバル世界へ貢献する学園の発展を目指す資金に充てるため「みなとみらいキャンパス開設整備募金」「グローバル教育・研究推進募金」「スポーツアスリート育成募金」を実施。

数字で見る神奈川大学の今

1928年の横浜学院開校に始まり、昨年創立90周年を迎えた神奈川大学。

常に時代を先導する教育・研究活動を重ね、多くの卒業生を輩出してきました。

総合大学として発展した現在の姿を、いくつかの数字にスポットを当てて紹介します。

415,247m²



校地面積

90年の歴史を有する横浜キャンパスは105,737m²、自然環境豊かな湘南ひらつかキャンパスは309,510m²。ちなみに、附属中・高等学校のある中山キャンパスは173,668m²あります。※2018年5月1日現在

20学科



設置学科数

大学に7学部20学科2プログラム、大学院に8研究科10専攻。文系系、理工学系様々な分野の学問を学べる総合大学です。2020年度には国際日本学部(設置構想中/3学科構成)も開設、学びの幅がさらに広がります。※2019年度

1,861名



教職員数

内訳は専任教員474名、非常勤講師1,031名、事務職員356名。教職員が連携しながら、大学運営を担っています。今後新学部や新キャンパス開設によりさらに増加となる見込みです。※2018年5月1日現在

18,431名



在学生数

学部在籍+大学院在籍者数。横浜キャンパス14,530名、湘南ひらつかキャンパス3,901名。学部収容定員数16,920名は私立大学全国18位の規模となっています。※2018年5月1日現在

64.2%



関東出身学生割合

在学生の出身校所在地割合。内訳は神奈川県44.9%、東京都10.0%、その他関東9.3%。地元神奈川県出身者が次第に増えつつも出身校は全都道府県に存在。関東以外では中部・東北エリアの出身者が多くなっています。※2018年度

475名



外国人留学生数

本学で学ぶ外国人留学生は増加しており、経済学部を筆頭に全学部で在籍。出身国は、中国・韓国・ベトナムなどアジア諸国を中心に世界から学生が集っています。※2018年度

228,890名



卒業生・修了生総数

1931(昭和6)年3月の第二部第1回卒業生以来、学部、大学院、専門学校、短期大学部・専攻科の卒業・修了者の合計。同窓会会員数は、私立大学で全国17位のランキングとなっています。※2019年4月1日現在

35,228名



総志願者数

推薦系入試、給費生試験、一般入試、その他様々な試験制度で神大入学を志願した受験生の総数(2019年度試験)、前年比1,372名増となりました。給費生試験・一般入試での「全国一斉試験」は、現在は国内主要20都市で実施されています。

8,000,000円



4年間の給費生最大給付額

理工系学部、自宅外通学者の場合。文系学部は最大680万円。いずれも入学金を除く初年度納入金全額免除(2019年度入学者の場合)。2019年入学のための給費生試験は、合計9,620名がチャレンジされました。



刻まれる歴史、
受け継がれる都市の記憶



本社

〒212-0058 川崎市幸区鹿島田1-1-2
(新川崎三井ビルディング)
TEL 044-520-0034

横浜支店

〒220-8116 横浜市西区みなとみらい2-2-1
(横浜ランドマークタワー16階)
TEL 045-210-9080

～神大ロースクール卒業生が設立した法律事務所です～



左から、新開弁護士、川村弁護士、横山弁護士。

- 私たちは、神大生とその卒業生の皆様にとって、「いちばん身近な法律事務所」を目指しています。
 - 「迅速な対応」でサポートいたします。
- お気軽にご相談ください！



弁護士(神奈川県弁護士会所属)

新開 崇弘 / 川村 宜禎 / 横山 朗

川崎市川崎区東田町6-2 ミヤダイビル5階

JR川崎駅東口から徒歩約7分・京急川崎駅から徒歩約5分
(川崎市役所本庁舎向かい)

相続・遺言

借金問題

離婚問題

借地借家

交通事故

企業法務

刑事事件

その他民事一般

ご相談・お問い合わせはこちらまで

TEL : 044-221-5171
MAIL : info@sky-law.com

※平日夜間・土日のご相談も承ります。
(電話受付は、平日9:30~17:30)





宇久田進治税理士事務所

(東京地方税理士会第28726号)

TEL.0466-36-0627 FAX.0466-33-4892

株式会社 経営センター グロウ

TEL.0466-36-1140

〒251-0042 藤沢市辻堂新町1-1-2
クロスポイント湘南6F
JR辻堂駅北口徒歩3分

昭和43年 神奈川大学 貿易学科卒

[会計・税務関連]

- 税務申告、相続申告
- 会計、経理指導
- 税務相談
- 事業再生、事業閉鎖など

[GROW 関連]

- 相続シミュレーション
- リスクマネジメント
- 事業承継
- 会社設立、会社支援
- 出店計画など

こ 神大は、いつ来ても懐かしい……

■神大オリジナルグッズの注文専用サイト

湯飲み、クッキー、まんじゅう、ボールペンなどのオリジナルグッズが神大生協のホームページからご購入いただけます。

また、KUオールインワンジェル、KUモイスチュアハンドクリーム、KUモイスチュアUVミルクも取り扱っております。

[オリジナルグッズ注文専用サイト]

<http://www.ku-coop.org/shopping/>

検索

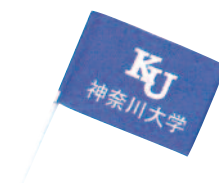
■OB OG会やゼミの同窓会・イベントは神大生協で

OB・OG会や仲間同士の同窓会を母校、神奈川大学で開催してみませんか？皆さまのご利用をお待ちしております。

[お申し込み・ご相談]

TEL:045-481-3600 担当 岡崎

E-Mail:seikyou@ku-coop.org



神奈川大学生生活協同組合